

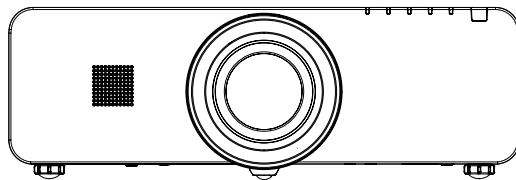
取扱説明書

詳細編

液晶プロジェクター

業務用

品番	PT-EZ570	PT-EZ570L
	PT-EW630	PT-EW630L
	PT-EW530	PT-EW530L
	PT-EX600	PT-EX600L
	PT-EX500	PT-EX500L



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書は、品番末尾のアルファベットの有無に関わらず共用です。

L なし：標準投写レンズ付き、L あり：投写レンズ別売

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ ご使用の前に“安全上のご注意”（ 6～9 ページ）を必ずお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- RoomView、Crestron RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。Crestron Connected は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では®や TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを ( 00 ページ) のように示しています。

用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレス / ワイヤードリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

ダイレクトパワーオフ機能

- ▶ ダイレクトパワーオフ機能により、投写中でもコンセントから電源プラグを抜いたり、電源ブレーカーを落としたりすることができます。

接続性の向上

- ▶ HDMI 端子を搭載し、高品質の映像や HDMI の音声に対応しました。

プレゼンテーションに便利な機能

- ▶ デジタルズーム機能により、プレゼンテーション中に重要な部分を拡大表示できます。

シャッター機能

- ▶ 投写映像の表示が不要な場合に、本機の電源を入れたまま黒スクリーンにするシャッター機能を搭載しました。また、シャッターマネージメント機能を用いてタイマー設定することにより、シャッターを開け忘れても、本機の電源が入ったままの状態にならないようにすることができます。

* この機能は、PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみです。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞ 22 ページ)



2. 本機と外部機器を接続する
(☞ 32 ページ)



3. 電源コードを接続する
(☞ 33 ページ)



4. 電源を入れる
(☞ 35 ページ)



5. 投写する映像を選択する
(☞ 38 ページ)



6. 映像の映り具合を調整する
(☞ 38 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意6

はじめに

ご使用になる前に 10

本機の運搬について..... 10

本機の取り扱いについて..... 10

本機の設置について..... 10

セキュリティに関するお願い..... 12

廃棄について 12

本機の取り扱いについて..... 12

付属品の確認..... 14

別売品 15

各部の名称とはたらき 16

リモコン 16

本体 18

本体操作部およびインジケータ 19

接続端子部..... 20

リモコンの使い方.....21

電池を入れる、取り出す 21

リモコンコードを指定する..... 21

準備

設置する22

投写方式..... 22

設置オプションについて (別売品)..... 22

投写レンズの取り付け / 取り外し方..... 23

投写関係..... 24

アジャスター脚の調整 31

接続する32

接続の前に..... 32

接続例 32

基本的な使い方

電源を入れる / 切る.....33

電源コードの接続..... 33

〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータについて... 34

電源を入れる..... 35

暗証番号を入力する..... 36

電源を切る 37

投写する38

投写する映像を選択する..... 38

映像の映り具合を調整する..... 38

リモコンで操作する39

〈SHUTTER/AV MUTE〉ボタン 39

入力信号を切り換える..... 39

〈MENU〉ボタン..... 40

〈AUTO PC ADJ〉ボタン..... 40

〈VOLUME〉ボタン..... 40

〈IMAGE SELECT〉ボタン..... 40

〈MUTE〉ボタン..... 40

〈IMAGE ADJUST〉ボタン..... 40

〈P-TIMER〉ボタン..... 41

〈ECO〉ボタン..... 41

〈SCREEN〉ボタン 41

静止機能を使う..... 41

〈D.ZOOM〉ボタン..... 41

〈LENS SHIFT〉ボタン..... 41

〈KEYSTONE〉ボタン..... 42

〈ZOOM +/-〉ボタン..... 43

〈FOCUS +/-〉ボタン..... 43

〈INFO〉ボタン..... 43

〈P IN P〉ボタン 43

調整と設定

オンスクリーンメニューについて.....44

メニュー画面の操作方法..... 44

メインメニュー 45

サブメニュー 45

「入力」について.....47

インプット 1 47

インプット 2 47

インプット 3 47

「自動 PC 調整」について49

自動 PC 調整..... 49

「手動 PC 調整」について50

トラッキング..... 50

総ドット数..... 50

水平位置..... 50

垂直位置..... 50

コンピューター情報..... 51

クランプ..... 51

画面領域 H..... 51

画面領域 V..... 51

リセット..... 51

データ消去..... 51

メモリー..... 51

「画質モード」について52

ダイナミック..... 52

標準..... 52

リアル..... 52

シネマ..... 52

ナチュラル..... 52

イメージ 1～10..... 52

「画質調整」について.....53

コントラスト..... 53

明るさ..... 53

色の濃さ..... 53

色合い..... 53

アイリス..... 53

色温度..... 54

赤..... 54

緑..... 54

青..... 54

オフセット..... 54

デイトライトビュー	54
画質	55
ガンマ補正	55
ノイズリダクション	55
プログレッシブ	55
リセット	55
メモリー	55
「スクリーン」について	56
ノーマル	56
フル	56
ワイド (16:9)	56
ズーム	56
リアル	56
ピットリワイド	56
カスタム	56
カスタム調整	57
デジタルズーム +	57
デジタルズーム -	57
台形補正	57
天つり	58
リア投映	58
スクリーンアスペクト	58
リセット	58
「サウンド」について	59
音量	59
内蔵スピーカー	59
消音	59
「設定」について	60
言語	60
メニュー / メニューポジション	60
インプットボタン	60
オンスクリーン表示	61
バックグラウンド	61
ロゴ	61
ピクチャーインピクチャー	62
HDMI 設定	63
DVI 信号レベル	63
ランプパワー	63
ファン制御	63
シンプルモード	64
リモコンコード	64
リモコン受光部	64
ECO マネージメント	64
パワーマネージメント	65
スタンバイモード	65
ダイレクトオン	65
プレゼンテーションタイマー	65
セキュリティ	66
シャッター	66
クローズドキャプション	67
映像遅延制御	67
フィルターカウンター	68
テストパターン	68
初期設定	68
「インフォメーション」について	69
インフォメーション表示	69

「ネットワーク」について	70
プロジェクター名	70
ネットワーク設定	70
ネットワークコントロール	70
ネットワークステータス	71
ネットワーク初期設定	71
ネットワーク接続	72
WEB ブラウザからのアクセス方法	73

点検と部品交換

インジケータの表示について	87
インジケータが点灯したら	87
お手入れ / 部品交換	91
お手入れ / 部品交換の前に	91
お手入れ	91
部品交換	93
故障かな !?	96



その他

付録	98
PJLink プロトコルを使用する	98
LAN 経由の制御コマンドについて	99
シリアル端子について	101
その他の端子について	104
ピクチャーインピクチャーのリスト	106
対応信号リスト	107
仕様	112
外形寸法図	114
天つり金具取り付け時の注意事項	114
保証とアフターサービス	115
保証書 (別添付)	115
補修用性能部品の保有期間	115
修理を依頼されるとき	115
さくいん	116







安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。






■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

   	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

警告

電源について	
異常・故障時には直ちに使用を中止する	
 電源プラグ を抜く	<p>■ 異常があったときは、電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音が発生したとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、 配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 半年に一度は電源プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。) ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p> <p>■ 付属の電源コード以外は使用しない (付属の電源コードを使わないと感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない (感電の原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>



警告 (つづき)

ご使用・設置について



- **放熱を妨げない**
 [布や紙などの上に置かない (吸気口に吸着する場合があります)、風通しが悪く狭い所に押し込めない]
 (内部が高温になり、火災の原因になることがあります。)
 ⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 50 cm 以上離して設置してください。
- **排気口には手やものを近づけない**
 [手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない]
 (排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。)
- **カーペット・スポンジマット・毛布などのやわらかい面の上で本機を使用しない**
 (内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。)
- **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない**
 (火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。)
- **荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない**
 (落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。)
- **使用中は投写レンズをのぞかない**
 (投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。)
 ⇒ 使用中に本機から離れる場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
- **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**
 (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
 ⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
 ⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
- **レンズキャップを取り付けたまま投写しない**
 (火災の原因になることがあります。)



分解禁止

- **分解や改造をしない**
 (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。)
 ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

警告
高圧注意
<p style="font-size: 0.8em;">サービスマン以外の方は ケースをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。</p>

「本体に表示した事項」



- **天井取り付け (天つり) などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する**
 (工事の不備により、落下事故の原因となります。)
- **当社で指定した天つり金具を使用する**
 (当社指定以外の天つり金具の不備により、落下事故の原因となることがあります。)
 ⇒ 当社指定の天つり金具をご利用の際は、付属のワイヤーで、落下防止の処置を行ってください。



警告 (つづき)

付属品・消耗品について



- ランプユニットなどの部品交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。)



- ランプユニットを分解しない
(ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。)

- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない
【液が目に入ったら目をこすらない】
(失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。)
⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

- 電池は誤った使い方をしない
 - 指定された電池以外は使用しない
 - 乾電池は充電しない
 - 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない
 - +と-を針金などで接続しない
 - +と-を逆に入れない
 - ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に保管しない
 - 新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない
 - アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない
 - 被覆のはがれた電池は使わない (電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください)
(液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。)

- 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない
(付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)

- 付属の電池およびねじは乳幼児の手の届く所に置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



- ランプユニットの交換は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行う
(ランプの点灯中は紫外線を発生しています。)
⇒ 正しい手順で交換を行ってください。



- ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う
(カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。)

- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す
(そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。)



注意

電源について

	<p>■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。)</p>
<p>電源プラグを抜く</p>	<p>■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクターを持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。)</p>

ご使用・設置について

	<p>■ 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。</p>
	<p>■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 天つりする場合は、取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する (天井内部の金属部と接触して、感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない (手をはさみ、けがの原因になることがあります。)</p>

付属品・消耗品について

	<p>■ ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない (散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。) ⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。 ⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。 ⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。</p>
	<p>■ 古いランプユニットは使用しない 【使用時間を越えたランプユニットは使用しない】 (そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。) ⇒ ランプユニットは消耗部品です。</p>
	<p>■ 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す (電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。)</p>

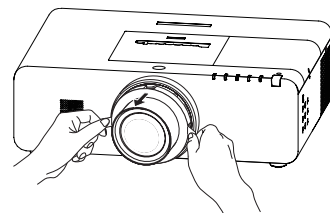
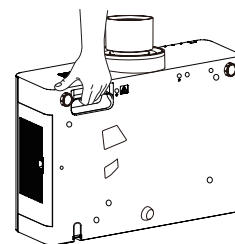
お手入れについて

	<p>■ エアフィルターユニットは、ぬれたまま本体に取り付けない (感電や故障の原因になります。) ⇒ エアフィルターを洗浄した後は、十分に乾燥させてから取り付けてください。</p>
	<p>■ 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する (本機の内部にほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になることがあります。) ⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。 ⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。</p>

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。また、底面のハンドル部分を持って運ぶこともできます。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。
- 標準投写レンズ付きプロジェクターをお買い上げの場合は、ご使用前に、レンズ保護クッションを取り外し、将来また取り付けられるように保管しておいてください。運搬の際には、〈LENS〉ボタンまたは〈LENS SHIFT〉ボタンを5秒以上長押ししてレンズを中央位置に戻し、レンズ保護クッションを取り付けてください。投写レンズなしプロジェクターをお買い上げの場合は、レンズを中央位置に戻し、レンズホールカバーを取り付けてください。



本機のお取り扱いについて

- 持ち上げたり、または運搬の際に、レンズまたはレンズ穴部分を持たないでください。レンズまたは本機が故障する原因になります。
- 本機を扱う際は、落としたり、ぶつけたりしないようにし、物が当たるような場所を避けて設置し、外装ケースの上には物を置かないでください。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は、屋内で使用することを前提に設計されています。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶・航空機など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（『使用環境条件』113ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具が必要です。

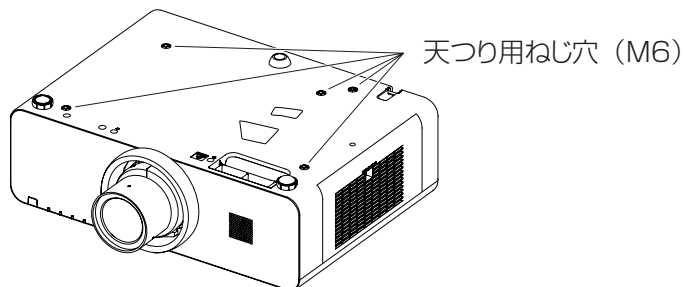
品番：ET-PKE200H（高天井用）、ET-PKE200S（低天井用）、
ET-PKE200B（取付け用ベース金具）

■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

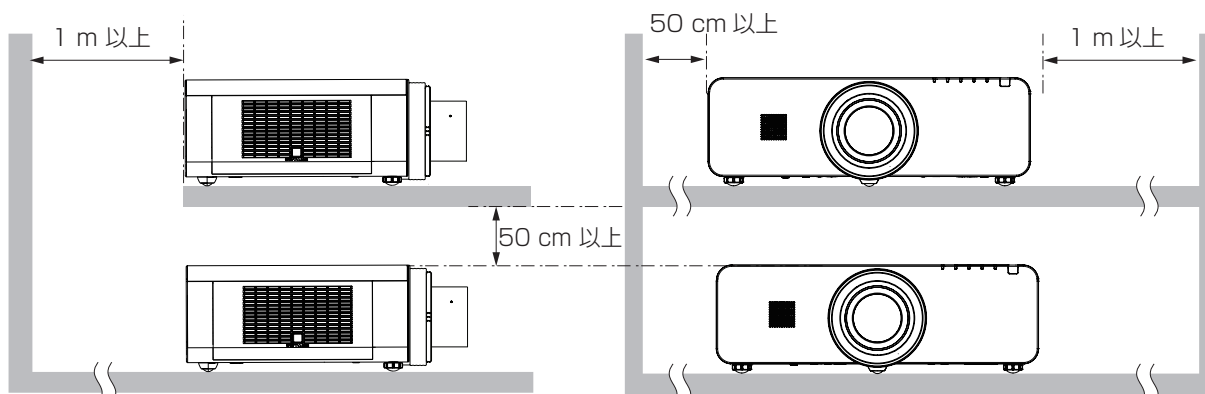
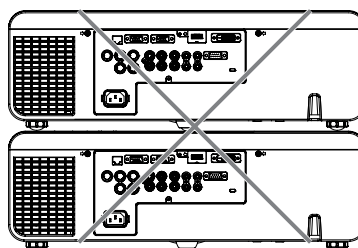
部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 設置上のご注意

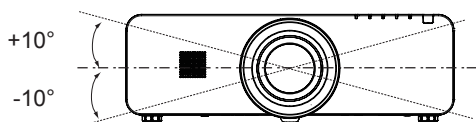
- プロジェクターをアジャスター脚による床置き設置以外の方法で設置して使用する場合は、プロジェクターの固定を天つり用ねじ穴 (下図参照) の 5 か所を使用して行ってください。
(ねじ径: M6、セット内部ねじ穴深さ: 12mm、ねじの締めつけトルク: $4 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$)



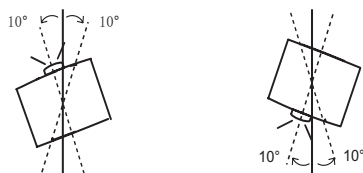
- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置をしてください。



- 本機を囲われた空間に設置しないでください。
囲われた空間に設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。
- 投写の際は、本機を水平に $\pm 10^\circ$ 以上傾けないでください。



- 上向き・下向き方向に投写する際は、本機を左右に 10° 以上傾けないでください。



ご使用になる前に (つづき)

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい。
- 悪意の第三者による本製品の不正操作。
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止。

セキュリティ対策を十分に行ってください。(☞ 66、84 ページ)

- パスワード(暗証番号)はできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワード(暗証番号)は定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- WEB 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■ 美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。
本体の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しない場合があります。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■ 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。

■ 液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合は全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
 高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にとまない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 12 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期がきたらランプユニットを交換してください。
 (『ランプユニットの交換時期』👉 94 ページ)
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一来るに備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

ご使用になる前に (つづき)

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。〈〉は個数です。

ワイヤレス/ワイヤードリモコン 〈1〉

PT-EX600
シリーズ

PT-EX500
シリーズ

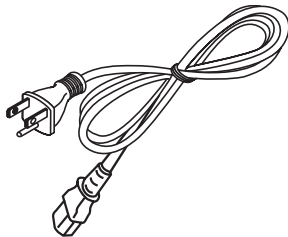
PT-EZ570
PT-EW630
シリーズ

PT-EW530
シリーズ

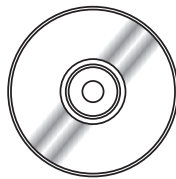


(6451055545) (6451055552) (6451055569) (6451055576)

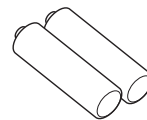
電源コード 〈1〉
(6103597782)



CD-ROM 〈1〉
(6103615899)

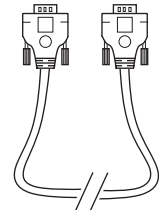


単4形乾電池 〈2〉

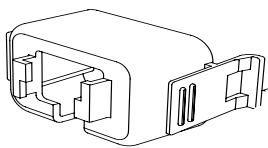


(リモコン用)

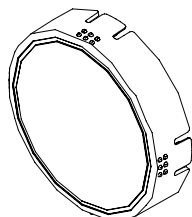
コンピューターケーブル
〈1〉 (6103580425)



電源コードホルダー 〈1〉
(6451052124)

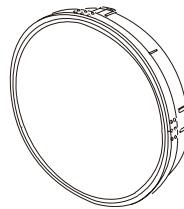


レンズキャップ*1 〈1〉
(6103543376)



(お買い上げ時は、製品本体に装着されています。)

レンズホールカバー*2
〈1〉 (6103468303)



(お買い上げ時は、製品本体に装着されています。)

レンズ盗難防止ねじ*3
〈1〉 (4112195500)



*1: レンズキャップ: 標準投写レンズ付きプロジェクターのみ

*2: レンズホールカバー: 投写レンズなしプロジェクターのみ

*3: レンズ盗難防止ねじを取り付けるには、天板を開ける必要があります。このとき、内部の部品が露出するため、感電、やけど、けが、ごみ、調整すれなどのおそれがあります。レンズ盗難防止ねじの取り付けは、本機をお買い上げの販売店のサービスマンにご依頼ください。レンズ盗難防止ねじを取り外すとき、レンズ交換のときも同様です。

お願い

電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

■ CD-ROM の内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。

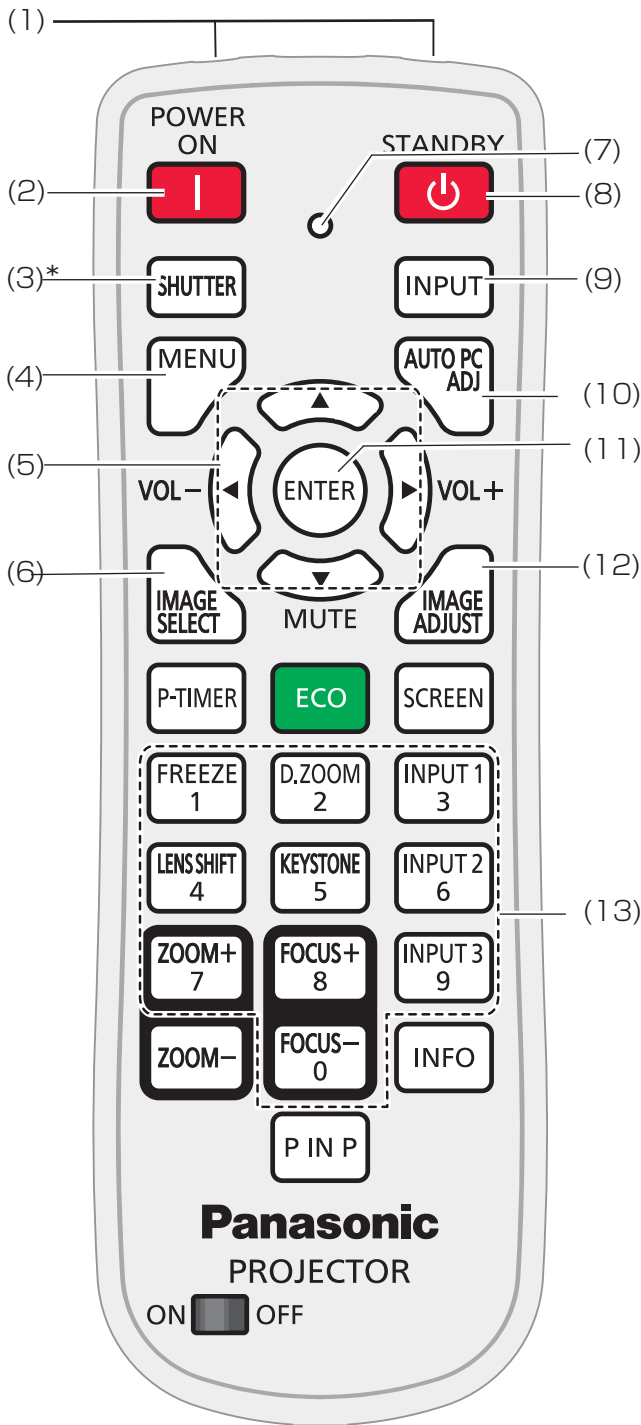
説明書 / 一覧表 (PDF)	ソフトウェア
<ul style="list-style-type: none"> ● 取扱説明書 - 詳細編 ● 複数台プロジェクター監視制御ソフトウェアの操作説明書 ● ログ転送ソフトウェアの操作説明書 ● 対応プロジェクター機種一覧表 <ul style="list-style-type: none"> ・各ソフトウェアに対応するプロジェクターの機種、および制約事項の一覧です。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア (Windows) <ul style="list-style-type: none"> ・LAN 接続された複数台のプロジェクターを監視・制御するソフトウェアです。 ● ログ転送ソフトウェア (Windows) <ul style="list-style-type: none"> ・スタート時に投写する会社ロゴマークなどユーザー独自の映像をプロジェクターに転送するソフトウェアです。

別売品

別売品 (品名)	品番
天つり金具	ET-PKE200H (高天井用)、ET-PKE200S (低天井用)
天つり金具 (取付け用ベース金具)	ET-PKE200B
交換用ランプユニット	ET-LAE200
交換用フィルターユニット	ET-RFE200
投写レンズ	ET-ELW21 (固定焦点レンズ)、ET-ELW20 (短焦点ズームレンズ)、ET-ELT20 (長焦点ズームレンズ)、ET-ELT21 (超長焦点ズームレンズ)

各部の名称とはたらき

リモコン



- (1) リモコン発光部
- (2) 〈POWER ON〉ボタン
本機の電源を入れます。(☞ 35 ページ)
- (3) 〈SHUTTER〉/〈AV MUTE〉ボタン
* 〈SHUTTER〉ボタン:
PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ
内蔵シャッターの開閉に使用します。
* 〈AV MUTE〉ボタン:
PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します。
- (4) 〈MENU〉ボタン
メニュー画面を表示 / 非表示を切り換えます。(☞ 44 ページ)
- (5) ▲▼◀▶ ボタン、〈ENTER〉ボタン
 - メニュー画面の操作に使用します。
 - デジタルズーム + モードで画像位置を調整します。
 - 音量レベル (◀▶ ボタン) を調整したり、消音 (▼ ボタン) する際に使用します。
- (6) 〈IMAGE SELECT〉ボタン
画質モード機能を操作します。(☞ 40 ページ)
- (7) リモコン操作表示ランプ
リモコンから本機に信号を送ると赤色に点滅します。
- (8) 〈STANDBY〉ボタン
本機の電源を切ります。(☞ 37 ページ)
- (9) 〈INPUT〉ボタン
入力信号を切り換えます。(☞ 39 ページ)
- (10) 〈AUTO PC ADJ〉ボタン
最適な設定となるように自動的に調整します。(☞ 40 ページ)
- (11) 〈ENTER〉ボタン
選択した項目を実行します。
- (12) 〈IMAGE ADJUST〉ボタン
画質調整機能を操作します。(☞ 40 ページ)
- (13) 数字ボタン
数値の入力に使用します。リモコンコードの設定(☞ 21 ページ)や暗証番号入力(☞ 36 ページ)の際にこれらのボタンを使用します。

図 1

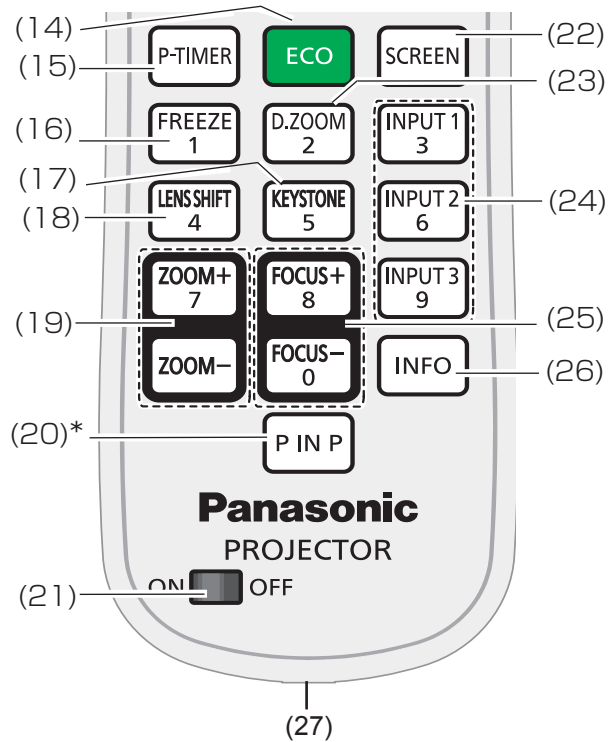
図 2



■ enable □ disable

お知らせ

- [シンプルモード] 時に使用可能なボタンは、リモコンの裏面に左図のイラストで示しています。
- 図 1・・・PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズのみ
- 図 2・・・PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ



- (14) **〈ECO〉 ボタン**
ECO マネージメント機能を表示します。
(☞ 41 ページ)
- (15) **〈P-TIMER〉 ボタン**
プレゼンテーションタイマー機能进行操作します。
(☞ 41 ページ)
- (16) **〈FREEZE〉 ボタン**
映像と音声を一時的に静止したい場合に使用します。
(☞ 41 ページ)
- (17) **〈KEYSTONE〉 ボタン**
台形ひずみを補正します。(☞ 42 ページ)
- (18) **〈LENS SHIFT〉 ボタン**
レンズシフト機能を選択します。(☞ 41 ページ)
- (19) **〈D.ZOOM ▲▼〉 ボタン**
映像を拡大および縮小します。(☞ 43 ページ)
- (20) **〈P IN P〉 ボタン**
ピクチャーインピクチャー機能进行操作します。
(☞ 43 ページ)
(PT-EZ570 シリーズ、EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズのみ)
- (21) **ON/OFF スイッチ**
リモコンを使用するときは、このスイッチを「ON」にします。使用しないときは、「OFF」にしておくと節電できます。
- (22) **〈SCREEN〉 ボタン**
スクリーンモードを選択します。(☞ 41 ページ)
- (23) **〈D.ZOOM〉 ボタン**
デジタルズーム +/- モードを選択し、画像サイズを調節します。(☞ 41 ページ)
- (24) **インプット選択ボタン: 〈INPUT 1〉、〈INPUT 2〉、〈INPUT 3〉**
入力信号 (インプット 1 ~ インプット 3) を選択します。(☞ 39 ページ)
- (25) **〈FOCUS +/-〉 ボタン**
フォーカスを調整します。(☞ 43 ページ)
- (26) **〈INFO〉 ボタン**
インフォメーション機能进行操作します。
(☞ 43 ページ)
- (27) **リモコン端子**
リモコンを有線で使用する場合に、この端子に市販の M3 ステレオミニプラグケーブルを接続します。

お願い

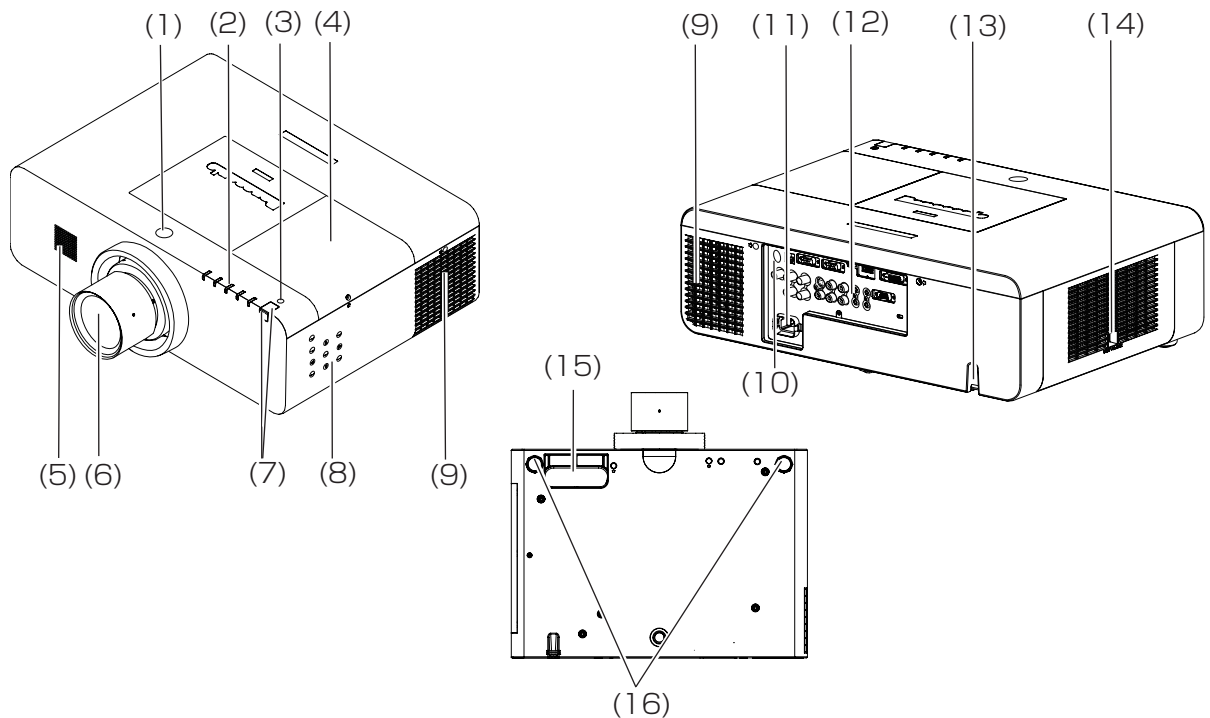
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。

お知らせ

- リモコンを直接本機のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約 5 m 以内で操作してください。また、上下左右に ± 30 度まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯や日光などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置するか、光を遮断してください。

各部の名称とはたらき (つづき)

本体



- (1) レンズリリースボタン
- (2) インジケーター (☞ 19 ページ)
- (3) 照度センサー (☞ 54 ページ)
- (4) ランプカバー (☞ 95 ページ)
内部にランプユニットがあります。
- (5) スピーカー
- (6) 投写レンズ
(PT-EZ570、PT-EW630、PT-EW530、
PT-EX600、PT-EX500 のみ)
- (7) リモコン受光部 (前面&天面)
- (8) 本体操作部 (☞ 19 ページ)
- (9) 排気口
 - この排気口からは熱風がでています。排気口付近には熱に弱いものなどを置かないでください。
- (10) リモコン受光部 (後面)
- (11) AC 入力端子
- (12) 接続端子部 (☞ 20 ページ)
- (13) セキュリティーバー
- (14) 吸気口 / エアフィルターカバー (☞ 91 ページ)
- (15) ハンドグリップ
- (16) アジャスター脚
投写角度を調整します。

警告

■ 排気口には手やものを近づけない

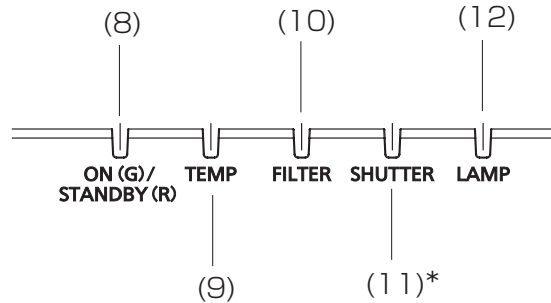
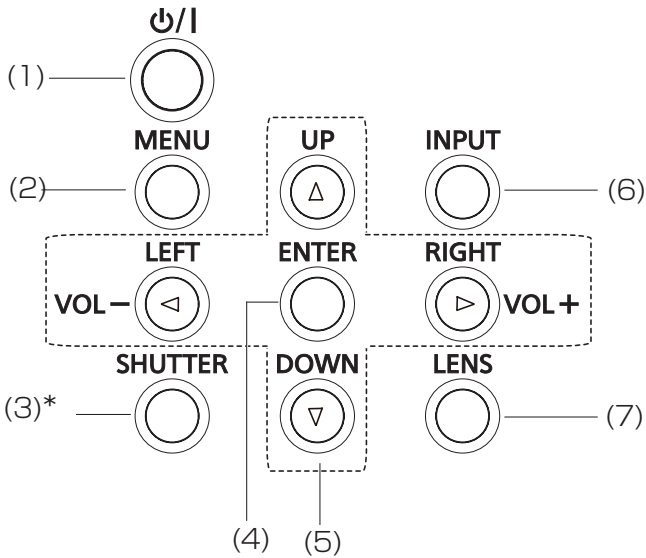


禁止

- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

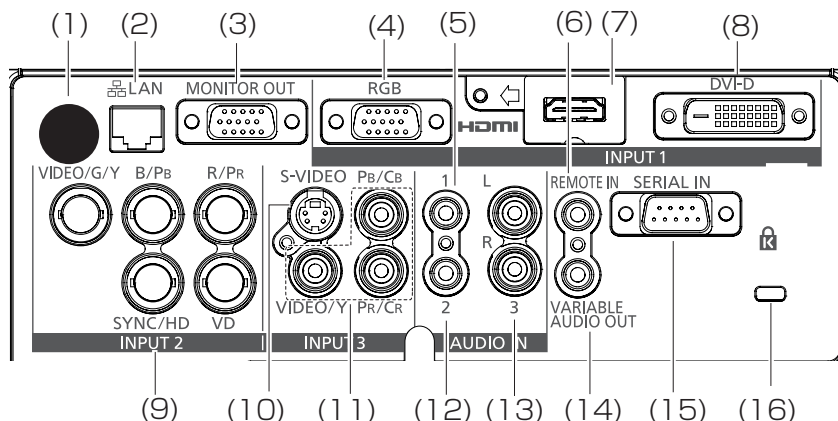
本体操作部およびインジケーター



- (1) <ON/I> ボタン
電源の [切]/[入] を切り換えます。
- (2) <MENU> ボタン
メニュー画面を表示します。(👁️ 44 ページ)
- (3) <SHUTTER>/<AV MUTE> ボタン
 - <SHUTTER> ボタン：
(PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ)
内蔵シャッターの開閉に使用します。
 - <AV MUTE> ボタン：
(PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ)
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します。
- (4) <ENTER> ボタン
選択した項目を実行します。
- (5) ▲▼◀▶ ボタン、<ENTER> ボタン
 - メニュー画面の操作に使用します。
 - デジタルズーム + モードで画像位置を調整します。
 - 音量レベル (◀▶ ボタン) を調整します。
- (6) <INPUT> ボタン
入力信号を切り換えます。
- (7) <LENS> ボタン
フォーカス、ズーム、レンズシフト調整モードを選択します。(👁️ 38 ページ)

- (8) <ON(G)/STANDBY(R)> インジケーター
 - スタンバイモードのときにランプが赤色に点灯します。
 - 操作中にランプが緑色に点灯します。
 - パワーマネージメントモードのときに緑色に点滅します。
- (9) <TEMP> インジケーター
本機の内部温度が動作範囲を超えると赤色に点滅します。
- (10) <FILTER> インジケーター
エアフィルターの目詰まりが検出された場合、またはフィルターカウンターがタイマー設定の設定時刻に到達した場合に、橙色に点灯し、エアフィルターユニットの即時交換を促します。
- (11) <SHUTTER>/<AV MUTE> インジケーター
 - <SHUTTER> インジケーター：
(PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ)
シャッターが閉じているとき青色に点灯します。
 - <AV MUTE> インジケーター：
(PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ)
AV MUTE モードのとき青色に点灯します。
- (12) <LAMP> インジケーター
ランプユニットの交換時期になると橙色に点灯します。

接続端子部



- (1) **リモコン受光部 (後面)**
赤外線リモコン受光部は、本体の前面および天面にもあります。
- (2) **LAN**
LAN ケーブルを接続します。
- (3) **MONITOR OUT**
INPUT 1 ~ 3 端子からのアナログ RGB 信号を外部機器に出力するときに使用します。
- (4) **RGB**
コンピューター (または RGB (Scart)) 信号を接続します。
- (5) **AUDIO IN 1**
INPUT 1 端子に接続しているコンピューターまたはビデオ機器からの音声 (ステレオ) 信号を接続します。
- (6) **REMOTE IN**
リモコンを有線で使用する場合に、この端子に市販の M3 ステレオミニジャックケーブルを接続します。
- (7) **HDMI**
ビデオ機器からの HDMI 信号 (音声信号を含む)、またはコンピューターからの DVI 信号を接続します。
- (8) **DVI-D**
コンピューターのデジタル信号をこの端子に接続します。または、HDTV (HDCP 対応) 信号を接続します。
- (9) **INPUT 2**
ビデオ機器からのコンポーネントまたはコンポジットビデオ信号を [VIDEO/G/Y、B/P_B、R/P_R] に接続します。または、コンピューター信号 (5 BNC タイプ [G、B、R、水平同期、垂直同期]) を [VIDEO/G/Y、B/P_B、R/P_R、SYNC/HD、VD] に接続します。
- (10) **S-VIDEO**
ビデオ機器からの S-VIDEO 信号をこのジャックに接続します。
- (11) **VIDEO**
ビデオ機器からのコンポーネントまたはコンポジットビデオ信号をこのジャックに接続します。
- (12) **AUDIO IN 2**
INPUT 2 端子に接続しているビデオ機器からの音声 (ステレオ) 信号を接続します。
- (13) **AUDIO IN 3 (L/R)**
INPUT 3 端子に接続しているビデオ機器からの音声出力 (ステレオ) 信号を接続します。モノラル音声信号の場合は、L 端子に接続します。
- (14) **VARIABLE AUDIO OUT**
音声信号を外部音声機器に出力します。
- (15) **SERIAL IN**
コンピューターを接続して本体を外部制御するための RS-232C 準拠の端子です。
- (16) **セキュリティーロット**
これは、本機の盗難防止用の Kensington ロックのためのロットです。
* Kensington は、ACCO Brands Corporation の登録商標です。

お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線を行ってください。

*1 : Kensington 社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせ先は、下記の通りです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル Tel:03-3663-7740 Fax:03-3669-2367

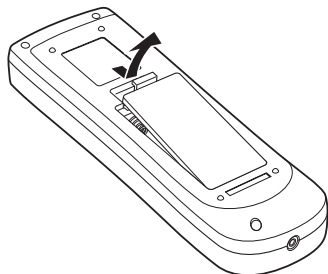
<http://www.nanayojapan.co.jp/>

*: 連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

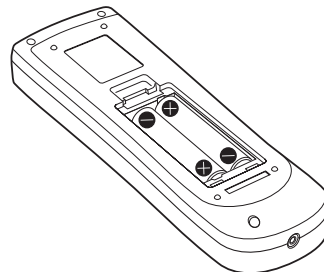
リモコンの使い方

電池を入れる、取り出す

1) ふたを開ける



2) 電池を入れ、ふたを閉じる (マイナス「-」側から先に入れます。)



- 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

リモコンコードを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々のリモコンコードを設定することにより、1つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

本体のリモコンコードを設定したあと、同じリモコンコードをリモコンに指定してください。

リモコンコードは65種類(すべて、コード1～64)あります。工場出荷時のリモコンコードは「すべて」です。

■ 設定方法

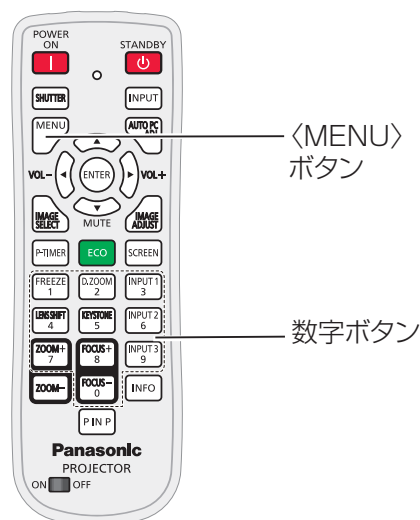
- 1) 〈MENU〉ボタンを押しながら、数字ボタンの0～9を使用して、設定したいリモコンコードに相応する1桁または2桁の数字を入力する。
- 2) 〈MENU〉ボタンを放すと、リモコンコードが変わります。
- 3) 入力例は以下の通り。
コード1 = 〈MENU〉 + 〈1〉 または 〈MENU〉 + 〈0〉 + 〈1〉
コード2 = 〈MENU〉 + 〈2〉 または 〈MENU〉 + 〈0〉 + 〈2〉
コード16 = 〈MENU〉 + 〈1〉 + 〈6〉
コード64 = 〈MENU〉 + 〈6〉 + 〈4〉

お願い

- リモコンの電池を交換すると、設定したリモコンコードは消去されます。電池を交換した場合は、同じリモコンコードを再度設定してください。

お知らせ

- このリモコンコード変更中は、リモコン送信が無効になります。
- 〈MENU〉ボタンと〈0〉ボタンを同時に押して、5秒以上押し続けると、リモコンコードは[すべて](デフォルト)にリセットされます。
- 本体のリモコンコード設定は、『「設定」について』の『リモコンコード』(👉64ページ)をご覧ください。

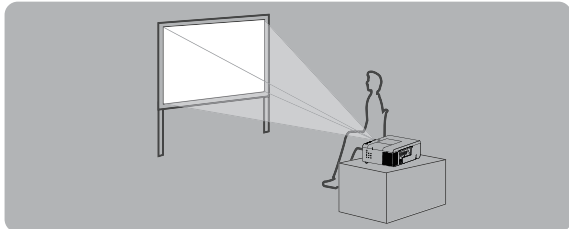


設置する

投写方式

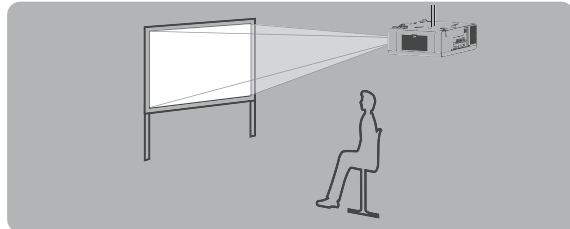
本機は、4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

■ 床置き設置で前方に投写する場合



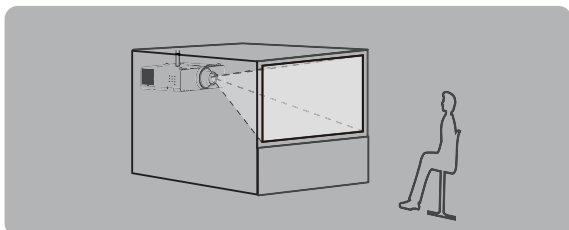
[天つり/リア投映]を[オフ/オフ]に設定します。

■ 天つり設置で前方に投写する場合



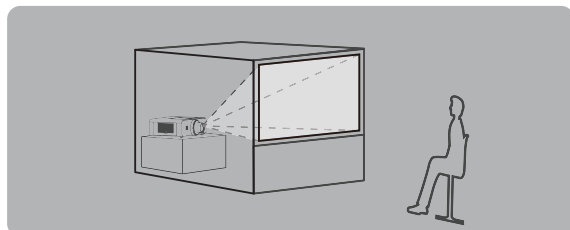
[天つり/リア投映]を[オン/オフ]に設定します。

■ 天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



[天つり/リア投映]を[オン/オン]に設定します。

■ 床置き設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



[天つり/リア投映]を[オフ/オン]に設定します。

[天つり/リア投映]の設定は、『「スクリーン」について』(👁️ 58 ページ)をご覧ください。

お願い

- 美しい映像をご覧いただくために、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。

設置オプションについて (別売品)

別売品のプロジェクター取り付け用ベース金具 (品番:ET-PKE200B) に、天つり金具 {品番: ET-PKE200H (高天井用) または、ET-PKE200S (低天井用)} を組み合わせて設置することができます。

- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、天つり金具の施工説明書をご覧ください。

お願い

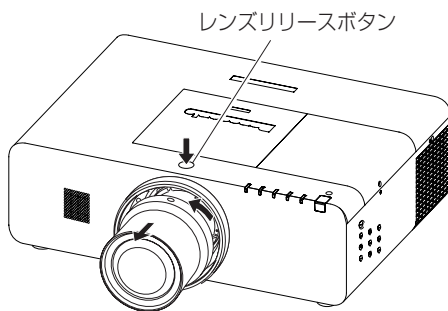
- 天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。

投写レンズの取り付け / 取り外し方

投写レンズを交換したり、別売投写レンズを使用したりするときは、以下の手順に従い投写レンズを交換します。別売投写レンズの仕様詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 投写レンズの取り外し

1. 本体操作部の〈LENS〉ボタン、または、リモコンの〈LENS SHIFT〉ボタンを長押しして、投写レンズを中央位置に戻す。
2. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
3. レンズリリースボタンを押し込みながら、投写レンズを反時計方向に回し、取り外す。

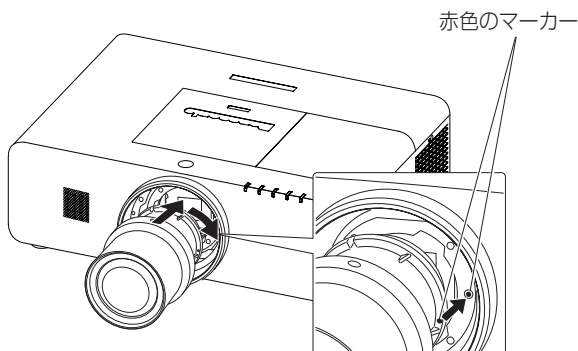


お願い

- 投写レンズを落とさないよう、取り扱いには注意してください。

■ 投写レンズの取り付け

1. レンズホールカバーを取り外す。
2. 投写レンズと本機内の取り付けベースの赤色のマーカーの両方が一致する位置で、投写レンズを挿入する。
3. 投写レンズを軽く本体に押し付けながら、カチッという音がするまで、時計方向に回し、取り付ける。



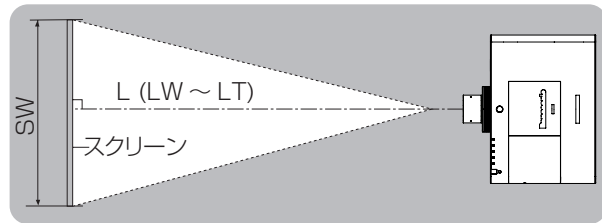
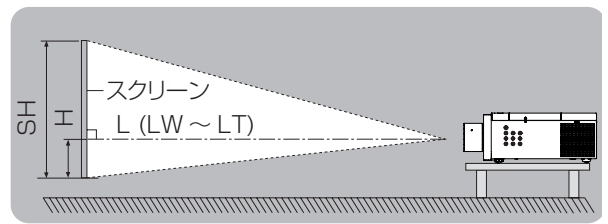
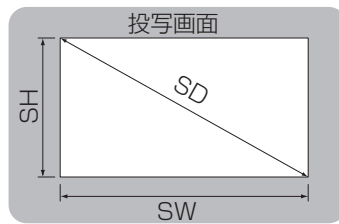
お願い

- レンズを取り付ける際は、レンズリリースボタンを押さないでください。

設置する (つづき)

投写関係

本機の設置は、右図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整することができます。



L (LW ~ LT) *1	投写距離 (m)
SH	画面の高さ (m)
SW	画面の幅 (m)
H	レンズセンターから画像下端までの距離 (m)
SD	画面对角サイズ (型)

*1 : LW :ズームレンズ使用時、最短投写距離
 LT :ズームレンズ使用時、最長投写距離

お願い

- 設置をする前に、「ご使用になる前に」(👉 10 ~ 15 ページ) をお読みください。

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-EZ570 シリーズ の場合)

● 画面アスペクト 16:10 のとき (単位 : m)
 (下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ	標準ズームレンズ	別売品レンズ				高さ位置 (H)*2						
		固定焦点レンズ	短焦点ズームレンズ	長焦点ズームレンズ	超長焦点ズームレンズ							
投写レンズ品番	---	ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21							
スローレシオ *1	1.7 ~ 2.8:1	0.8:1	1.3 ~ 1.7:1	2.8 ~ 4.6:1	4.6 ~ 7.2:1							
投写画面サイズ		投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	
40型	0.538	0.862	1.36	2.35	0.63	1.02	1.41	2.29	3.81	3.72	6.03	-0.05 ~ 0.59
50型	0.673	1.077	1.71	2.95	0.80	1.29	1.77	2.89	4.79	4.70	7.59	-0.06 ~ 0.73
60型	0.808	1.292	2.06	3.55	0.97	1.55	2.14	3.49	5.77	5.68	9.15	-0.07 ~ 0.88
70型	0.942	1.506	2.42	4.15	1.14	1.82	2.50	4.09	6.75	6.66	10.71	-0.08 ~ 1.02
80型	1.077	1.723	2.77	4.76	1.32	2.09	2.87	4.69	7.73	7.64	12.27	-0.09 ~ 1.17
90型	1.212	1.939	3.12	5.36	1.49	2.36	3.23	5.30	8.71	8.63	13.83	-0.11 ~ 1.32
100型	1.346	2.154	3.48	5.96	1.66	2.63	3.60	5.90	9.69	9.61	15.39	-0.12 ~ 1.46
120型	1.615	2.585	4.18	7.16	2.00	3.16	4.32	7.10	11.65	11.57	18.51	-0.14 ~ 1.76
150型	2.019	3.231	5.24	8.96	2.52	3.96	5.42	8.90	14.59	14.52	23.19	-0.18 ~ 2.20
200型	2.692	4.308	7.01	11.96	3.38	5.31	7.25	11.91	19.49	19.43	30.99	-0.24 ~ 2.93
250型	3.365	5.385	8.77	14.96	4.24	6.65	9.07	14.91	24.39	24.34	38.79	-0.29 ~ 3.66
300型	4.039	6.462	10.54	17.97	5.10	7.99	10.90	17.92	29.29	29.25	46.59	-0.35 ~ 4.39
350型	4.712	7.539	12.30	20.97	5.95	9.33	12.73	20.92	34.19	34.16	54.39	-0.41 ~ 5.12
400型	5.385	8.616	14.07	23.97	6.81	10.67	14.55	23.93	39.09	39.07	62.19	-0.47 ~ 5.85

*1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2 : 固定焦点レンズ (品番 : ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

● 画面アスペクト 16:9 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H)*2
					固定焦点 レンズ	短焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ					
投写レンズ品番			---		ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21					
スローレシオ *1			1.7 ~ 2.8:1		0.8:1	1.3 ~ 1.7:1	2.8 ~ 4.6:1	4.6 ~ 7.2:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
40型	0.498	0.886	1.40	2.42	0.65	1.05	1.45	2.36	3.92	3.83	6.20		
50型	0.623	1.107	1.76	3.04	0.83	1.32	1.82	2.97	4.92	4.83	7.81		
60型	0.747	1.328	2.12	3.65	1.00	1.60	2.20	3.59	5.93	5.84	9.41		
70型	0.872	1.550	2.49	4.27	1.18	1.87	2.57	4.21	6.94	6.85	11.01		
80型	0.996	1.771	2.85	4.89	1.35	2.15	2.95	4.83	7.95	7.86	12.62		
90型	1.121	1.992	3.21	5.51	1.53	2.43	3.32	5.45	8.95	8.87	14.22		
100型	1.245	2.214	3.57	6.12	1.71	2.70	3.70	6.06	9.96	9.88	15.82		
120型	1.494	2.657	4.30	7.36	2.06	3.25	4.45	7.30	11.97	11.90	19.03		
150型	1.868	3.321	5.39	9.21	2.59	4.08	5.58	9.15	15.00	14.93	23.84		
200型	2.491	4.428	7.20	12.29	3.47	5.46	7.45	12.24	20.03	19.98	31.86		
250型	3.113	5.535	9.02	15.38	4.36	6.83	9.33	15.33	25.07	25.02	39.87		
300型	3.736	6.641	10.83	18.47	5.24	8.21	11.20	18.42	30.10	30.07	47.89		
350型	4.358	7.748	12.65	21.55	6.12	9.59	13.08	21.51	35.14	35.12	55.91		
400型	4.981	8.855	14.46	24.64	7.00	10.97	14.96	24.60	40.18	40.17	63.92		

*1: スローレシオは、投写画面サイズ 80型投写時の値を基準にしています。

*2: 固定焦点レンズ (品番: ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

● 画面アスペクト 4:3 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H)*2
					固定焦点 レンズ	短焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ					
投写レンズ品番			---		ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21					
スローレシオ *1			1.9 ~ 3.3:1		0.9:1	1.5 ~ 2.0:1	3.3 ~ 5.4:1	5.4 ~ 8.6:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
40型	0.610	0.813	1.54	2.67	0.72	1.16	1.60	2.61	4.33	4.24	6.85		
50型	0.762	1.016	1.94	3.35	0.91	1.46	2.01	3.29	5.43	5.35	8.62		
60型	0.914	1.219	2.34	4.03	1.11	1.77	2.43	3.97	6.54	6.46	10.39		
70型	1.067	1.422	2.74	4.71	1.30	2.07	2.84	4.65	7.65	7.57	12.15		
80型	1.219	1.626	3.14	5.39	1.50	2.37	3.25	5.33	8.76	8.68	13.92		
90型	1.372	1.829	3.54	6.07	1.69	2.68	3.67	6.01	9.87	9.79	15.68		
100型	1.524	2.032	3.94	6.75	1.89	2.98	4.08	6.69	10.98	10.91	17.45		
120型	1.829	2.438	4.74	8.11	2.28	3.59	4.91	8.05	13.20	13.13	20.98		
150型	2.286	3.048	5.94	10.15	2.86	4.50	6.15	10.09	16.53	16.47	26.28		
200型	3.048	4.064	7.94	13.55	3.83	6.02	8.21	13.49	22.08	22.03	35.11		
250型	3.810	5.080	9.94	16.95	4.81	7.53	10.28	16.90	27.62	27.58	43.94		
300型	4.572	6.096	11.94	20.34	5.78	9.05	12.35	20.30	33.17	33.14	52.77		
350型	5.334	7.112	13.93	23.74	6.75	10.57	14.41	23.70	38.72	38.70	61.60		
400型	6.096	8.128	15.93	27.14	7.72	12.09	16.48	27.10	44.27	44.26	70.43		

*1: スローレシオは、投写画面サイズ 80型投写時の値を基準にしています。

*2: 固定焦点レンズ (品番: ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

設置する (つづき)

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-EW630 シリーズ, PT-EW530 シリーズ の場合)

● 画面アスペクト 16:10 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H)*2
					固定焦点 レンズ	短焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ					
投写レンズ品番			---		ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21					
スローレシオ *1			1.7 ~ 2.8:1		0.8:1	1.3 ~ 1.7:1	2.8 ~ 4.6:1	4.6 ~ 7.2:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
40型	0.538	0.862	1.39	2.40	0.64	1.04	1.43	2.34	3.89	3.80	6.15	-0.05 ~ 0.59	
50型	0.673	1.077	1.75	3.02	0.82	1.31	1.81	2.95	4.88	4.80	7.75	-0.06 ~ 0.74	
60型	0.808	1.292	2.11	3.63	0.99	1.59	2.18	3.57	5.88	5.80	9.34	-0.08 ~ 0.88	
70型	0.942	1.506	2.47	4.24	1.17	1.86	2.55	4.18	6.88	6.80	10.93	-0.09 ~ 1.03	
80型	1.077	1.723	2.83	4.85	1.34	2.14	2.92	4.79	7.88	7.80	12.52	-0.10 ~ 1.18	
90型	1.212	1.939	3.19	5.47	1.52	2.41	3.29	5.40	8.88	8.81	14.11	-0.11 ~ 1.33	
100型	1.346	2.154	3.55	6.08	1.69	2.68	3.67	6.02	9.88	9.81	15.70	-0.13 ~ 1.47	
120型	1.615	2.585	4.27	7.31	2.04	3.23	4.41	7.24	11.88	11.81	18.88	-0.15 ~ 1.77	
150型	2.019	3.231	5.35	9.15	2.57	4.05	5.53	9.08	14.88	14.82	23.66	-0.19 ~ 2.21	
200型	2.692	4.308	7.15	12.21	3.45	5.42	7.39	12.15	19.88	19.83	31.61	-0.25 ~ 2.95	
250型	3.365	5.385	8.95	15.28	4.32	6.79	9.25	15.22	24.87	24.84	39.57	-0.32 ~ 3.68	
300型	4.039	6.462	10.75	18.34	5.20	8.16	11.11	18.28	29.87	29.85	47.53	-0.38 ~ 4.42	
350型	4.712	7.539	12.55	21.41	6.07	9.53	12.97	21.35	34.87	34.86	55.48	-0.44 ~ 5.16	
400型	5.385	8.616	14.35	24.47	6.95	10.90	14.83	24.41	39.87	39.87	63.44	-0.51 ~ 5.89	

*1: スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2: 固定焦点レンズ (品番: ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

● 画面アスペクト 16:9 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H)*2
					固定焦点 レンズ	短焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ					
投写レンズ品番			---		ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21					
スローレシオ *1			1.7 ~ 2.8:1		0.8:1	1.3 ~ 1.7:1	2.8 ~ 4.6:1	4.6 ~ 7.2:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
40型	0.498	0.886	1.43	2.47	0.66	1.07	1.48	2.41	4.00	3.91	6.33	-0.08 ~ 0.58	
50型	0.623	1.107	1.80	3.10	0.84	1.35	1.86	3.04	5.02	4.94	7.97	-0.10 ~ 0.72	
60型	0.747	1.328	2.17	3.73	1.02	1.63	2.24	3.67	6.05	5.97	9.60	-0.12 ~ 0.87	
70型	0.872	1.550	2.54	4.36	1.20	1.92	2.62	4.30	7.08	7.00	11.24	-0.14 ~ 1.01	
80型	0.996	1.771	2.91	4.99	1.38	2.20	3.01	4.93	8.11	8.03	12.87	-0.16 ~ 1.16	
90型	1.121	1.992	3.28	5.62	1.56	2.48	3.39	5.56	9.13	9.06	14.51	-0.18 ~ 1.30	
100型	1.245	2.214	3.65	6.25	1.74	2.76	3.77	6.19	10.16	10.09	16.14	-0.20 ~ 1.44	
120型	1.494	2.657	4.39	7.51	2.10	3.32	4.53	7.45	12.21	12.15	19.41	-0.24 ~ 1.73	
150型	1.868	3.321	5.50	9.40	2.64	4.17	5.68	9.34	15.30	15.24	24.32	-0.30 ~ 2.17	
200型	2.491	4.428	7.35	12.55	3.54	5.58	7.59	12.49	20.43	20.38	32.50	-0.40 ~ 2.89	
250型	3.113	5.535	9.20	15.70	4.44	6.99	9.51	15.64	25.57	25.53	40.68	-0.50 ~ 3.61	
300型	3.736	6.641	11.05	18.85	5.34	8.39	11.42	18.79	30.71	30.68	48.85	-0.60 ~ 4.33	
350型	4.358	7.748	12.90	22.00	6.24	9.80	13.33	21.94	35.84	35.83	57.03	-0.70 ~ 5.06	
400型	4.981	8.855	14.75	25.15	7.14	11.21	15.24	25.10	40.98	40.98	65.21	-0.80 ~ 5.78	

*1: スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2: 固定焦点レンズ (品番: ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

● 画面アスペクト 4:3 のとき (単位 : m)
 (下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H)*2
					固定焦点 レンズ	短焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ					
投写レンズ品番			---		ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21					
スローレシオ *1			2.0 ~ 3.4:1		0.9:1	1.5 ~ 2.0:1	3.4 ~ 5.5:1	5.5 ~ 8.8:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
40型	0.610	0.813	1.58	2.73	0.74	1.19	1.63	2.66	4.41	4.32	6.99	-0.06 ~ 0.67	
50型	0.762	1.016	1.99	3.42	0.93	1.50	2.05	3.36	5.54	5.46	8.80	-0.07 ~ 0.83	
60型	0.914	1.219	2.39	4.11	1.13	1.81	2.47	4.05	6.68	6.59	10.60	-0.09 ~ 1.00	
70型	1.067	1.422	2.80	4.81	1.33	2.12	2.89	4.75	7.81	7.73	12.40	-0.10 ~ 1.17	
80型	1.219	1.626	3.21	5.50	1.53	2.43	3.32	5.44	8.94	8.86	14.20	-0.11 ~ 1.33	
90型	1.372	1.829	3.62	6.20	1.73	2.74	3.74	6.13	10.07	10.00	16.00	-0.13 ~ 1.50	
100型	1.524	2.032	4.03	6.89	1.93	3.05	4.16	6.83	11.20	11.13	17.80	-0.14 ~ 1.67	
120型	1.829	2.438	4.84	8.28	2.32	3.67	5.00	8.22	13.47	13.40	21.41	-0.17 ~ 2.00	
150型	2.286	3.048	6.06	10.36	2.92	4.60	6.26	10.30	16.86	16.80	26.81	-0.22 ~ 2.50	
200型	3.048	4.064	8.10	13.83	3.91	6.15	8.37	13.77	22.52	22.47	35.82	-0.29 ~ 3.34	
250型	3.810	5.080	10.14	17.30	4.90	7.70	10.48	17.24	28.18	28.15	44.82	-0.36 ~ 4.17	
300型	4.572	6.096	12.18	20.77	5.89	9.25	12.58	20.71	33.83	33.82	53.83	-0.43 ~ 5.00	
350型	5.334	7.112	14.21	24.24	6.88	10.80	14.69	24.18	39.49	39.49	62.84	-0.50 ~ 5.84	
400型	6.096	8.128	16.25	27.71	7.88	12.35	16.79	27.65	45.15	45.16	71.85	-0.57 ~ 6.67	

*1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2 : 固定焦点レンズ (品番 : ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

設置する (つづき)

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-EX600 シリーズ, PT-EX500 シリーズ の場合)

● 画面アスペクト 4:3 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H)*2
					固定焦点 レンズ	短焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ					
投写レンズ品番			---		ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21					
スローレシオ *1			1.7 ~ 2.8:1		0.8:1	1.3 ~ 1.7:1	2.8 ~ 4.6:1	4.6 ~ 7.2:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
40型	0.610	0.813	1.30	2.26	0.60	0.97	1.35	2.19	3.65	3.56	5.78		
50型	0.762	1.016	1.64	2.83	0.77	1.23	1.70	2.77	4.59	4.50	7.27		
60型	0.914	1.219	1.98	3.41	0.93	1.49	2.05	3.34	5.53	5.44	8.77		
70型	1.067	1.422	2.32	3.98	1.10	1.74	2.40	3.92	6.47	6.38	10.27		
80型	1.219	1.626	2.66	4.56	1.26	2.00	2.75	4.50	7.41	7.32	11.77		
90型	1.372	1.829	3.00	5.14	1.43	2.26	3.10	5.07	8.35	8.27	13.26		
100型	1.524	2.032	3.33	5.71	1.59	2.51	3.45	5.65	9.29	9.21	14.76		
120型	1.829	2.438	4.01	6.86	1.92	3.03	4.15	6.80	11.17	11.09	17.75		
150型	2.286	3.048	5.03	8.59	2.42	3.80	5.20	8.53	14.00	13.92	22.24		
200型	3.048	4.064	6.72	11.47	3.24	5.08	6.95	11.41	18.70	18.63	29.73		
250型	3.810	5.080	8.42	14.35	4.07	6.37	8.70	14.30	23.40	23.34	37.21		
300型	4.572	6.096	10.11	17.23	4.89	7.65	10.45	17.18	28.11	28.05	44.70		
350型	5.334	7.112	11.81	20.11	5.72	8.94	12.20	20.06	32.81	32.76	52.18		
400型	6.096	8.128	13.50	22.99	6.54	10.22	13.95	22.94	37.51	37.47	59.67		

*1: スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2: 固定焦点レンズ (品番: ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

● 画面アスペクト 16:9 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H)*2
					固定焦点 レンズ	短焦点 ズームレンズ	長焦点 ズームレンズ	超長焦点 ズームレンズ					
投写レンズ品番			---		ET-ELW21	ET-ELW20	ET-ELT20	ET-ELT21					
スローレシオ *1			1.7 ~ 2.8:1		0.8:1	1.3 ~ 1.7:1	2.8 ~ 4.6:1	4.6 ~ 7.2:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)										
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
40型	0.498	0.886	1.42	2.46	0.66	1.06	1.47	2.40	3.99	3.89	6.31		
50型	0.623	1.107	1.79	3.09	0.84	1.40	1.85	3.03	5.01	4.92	7.94		
60型	0.747	1.328	2.16	3.72	1.02	1.68	2.23	3.65	6.04	5.95	9.57		
70型	0.872	1.550	2.53	4.34	1.20	1.96	2.62	4.28	7.06	6.97	11.21		
80型	0.996	1.771	2.90	4.97	1.38	2.24	3.00	4.91	8.09	8.00	12.84		
90型	1.121	1.992	3.27	5.60	1.56	2.52	3.38	5.54	9.11	9.02	14.47		
100型	1.245	2.214	3.64	6.23	1.74	2.80	3.76	6.17	10.13	10.05	16.10		
120型	1.494	2.657	4.38	7.48	2.10	3.36	4.52	7.42	12.18	12.10	19.36		
150型	1.868	3.321	5.48	9.37	2.64	4.20	5.67	9.31	15.26	15.18	24.25		
200型	2.491	4.428	7.33	12.50	3.54	5.60	7.57	12.45	20.38	20.32	32.41		
250型	3.113	5.535	9.18	15.64	4.44	7.00	9.48	15.59	25.51	25.45	40.56		
300型	3.736	6.641	11.02	18.78	5.33	8.40	11.39	18.73	30.63	30.58	48.72		
350型	4.358	7.748	12.87	21.92	6.23	9.80	13.29	21.87	35.75	35.71	56.87		
400型	4.981	8.855	14.72	25.05	7.13	11.20	15.20	25.01	40.88	40.84	65.03		

*1: スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。

*2: 固定焦点レンズ (品番: ET-ELW21) を装着している場合は、レンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-EZ570 シリーズ の場合)

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	---	16:10	最短 (LW)	$L = 0.035305 \times SD - 0.054882$
			最長 (LT)	$L = 0.060045 \times SD - 0.048228$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.036286 \times SD - 0.054882$
			最長 (LT)	$L = 0.061714 \times SD - 0.048228$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.039969 \times SD - 0.054882$
			最長 (LT)	$L = 0.067977 \times SD - 0.048228$
固定焦点レンズ	品番: ET-ELW21	16:10	---	$L = 0.017178 \times SD - 0.057678$
		16:9	---	$L = 0.017656 \times SD - 0.057678$
		4:3	---	$L = 0.019447 \times SD - 0.057678$
短焦点ズームレンズ	品番: ET-ELW20	16:10	最短 (LW)	$L = 0.026816 \times SD - 0.055497$
			最長 (LT)	$L = 0.036511 \times SD - 0.053400$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.027561 \times SD - 0.055497$
			最長 (LT)	$L = 0.037526 \times SD - 0.053400$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.030358 \times SD - 0.055497$
			最長 (LT)	$L = 0.041334 \times SD - 0.053400$
長焦点ズームレンズ	品番: ET-ELT20	16:10	最短 (LW)	$L = 0.060102 \times SD - 0.114022$
			最長 (LT)	$L = 0.098001 \times SD - 0.112874$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.061773 \times SD - 0.114022$
			最長 (LT)	$L = 0.100725 \times SD - 0.112874$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.068041 \times SD - 0.114022$
			最長 (LT)	$L = 0.110947 \times SD - 0.112874$
超長焦点ズームレンズ	品番: ET-ELT21	16:10	最短 (LW)	$L = 0.098214 \times SD - 0.212284$
			最長 (LT)	$L = 0.155996 \times SD - 0.210772$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.100944 \times SD - 0.212284$
			最長 (LT)	$L = 0.160333 \times SD - 0.210772$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.111188 \times SD - 0.212284$
			最長 (LT)	$L = 0.176603 \times SD - 0.210772$

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズの場合)

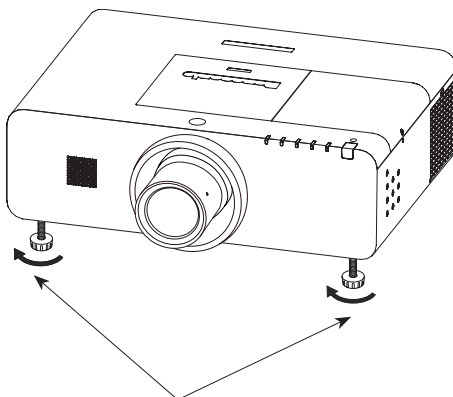
レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	---	16:10	最短 (LW)	$L = 0.036000 \times SD - 0.050400$
			最長 (LT)	$L = 0.061300 \times SD - 0.049700$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.037001 \times SD - 0.050400$
			最長 (LT)	$L = 0.063004 \times SD - 0.049700$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.040756 \times SD - 0.050400$
			最長 (LT)	$L = 0.069398 \times SD - 0.049700$
固定焦点レンズ	品番: ET-ELW21	16:10	---	$L = 0.017517 \times SD - 0.057231$
		16:9	---	$L = 0.018004 \times SD - 0.057231$
		4:3	---	$L = 0.019831 \times SD - 0.057231$
短焦点ズームレンズ	品番: ET-ELW20	16:10	最短 (LW)	$L = 0.027400 \times SD - 0.055400$
			最長 (LT)	$L = 0.037200 \times SD - 0.053400$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.028162 \times SD - 0.055400$
			最長 (LT)	$L = 0.038234 \times SD - 0.053400$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.031020 \times SD - 0.055400$
			最長 (LT)	$L = 0.042114 \times SD - 0.053400$
長焦点ズームレンズ	品番: ET-ELT20	16:10	最短 (LW)	$L = 0.061320 \times SD - 0.113900$
			最長 (LT)	$L = 0.099950 \times SD - 0.112800$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.063025 \times SD - 0.113900$
			最長 (LT)	$L = 0.102729 \times SD - 0.112800$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.069420 \times SD - 0.113900$
			最長 (LT)	$L = 0.113153 \times SD - 0.112800$
超長焦点ズームレンズ	品番: ET-ELT21	16:10	最短 (LW)	$L = 0.100200 \times SD - 0.212700$
			最長 (LT)	$L = 0.159120 \times SD - 0.210700$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.102986 \times SD - 0.212700$
			最長 (LT)	$L = 0.163544 \times SD - 0.210700$
		4:3	最短 (LW)	$L = 0.113436 \times SD - 0.212700$
			最長 (LT)	$L = 0.180140 \times SD - 0.210700$

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズの場合)

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	---	4:3	最短 (LW)	$L = 0.033900 \times SD - 0.055300$
			最長 (LT)	$L = 0.057600 \times SD - 0.048000$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.036934 \times SD - 0.055300$
			最長 (LT)	$L = 0.062755 \times SD - 0.048000$
固定焦点レンズ	品番: ET-ELW21	4:3	---	$L = 0.016500 \times SD - 0.058500$
		16:9	---	$L = 0.017977 \times SD - 0.058500$
短焦点ズームレンズ	品番: ET-ELW20	4:3	最短 (LW)	$L = 0.025700 \times SD - 0.055800$
			最長 (LT)	$L = 0.035000 \times SD - 0.054000$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.028000 \times SD - 0.055800$
			最長 (LT)	$L = 0.038133 \times SD - 0.054000$
長焦点ズームレンズ	品番: ET-ELT20	4:3	最短 (LW)	$L = 0.057640 \times SD - 0.114200$
			最長 (LT)	$L = 0.094060 \times SD - 0.112900$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.062799 \times SD - 0.114200$
			最長 (LT)	$L = 0.102478 \times SD - 0.112900$
超長焦点ズームレンズ	品番: ET-ELT21	4:3	最短 (LW)	$L = 0.094210 \times SD - 0.213200$
			最長 (LT)	$L = 0.149700 \times SD - 0.210900$
		16:9	最短 (LW)	$L = 0.102462 \times SD - 0.213200$
			最長 (LT)	$L = 0.163098 \times SD - 0.210900$

アジャスター脚の調整

図のようにアジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと下げることができます。
(上下に投写角度を調整することができます。)



アジャスター脚ロック

調整可能範囲
アジャスターの前脚：30 mm

お願い

- ランプ点灯中は排気口から熱風が出ています。アジャスター脚を調整する際は、排気口に直接触れないでください。
- 投写画面に台形ひずみが発生している場合は、「スクリーン」メニューの「台形補正」で補正してください。(👁️ 57 ページ)

接続する

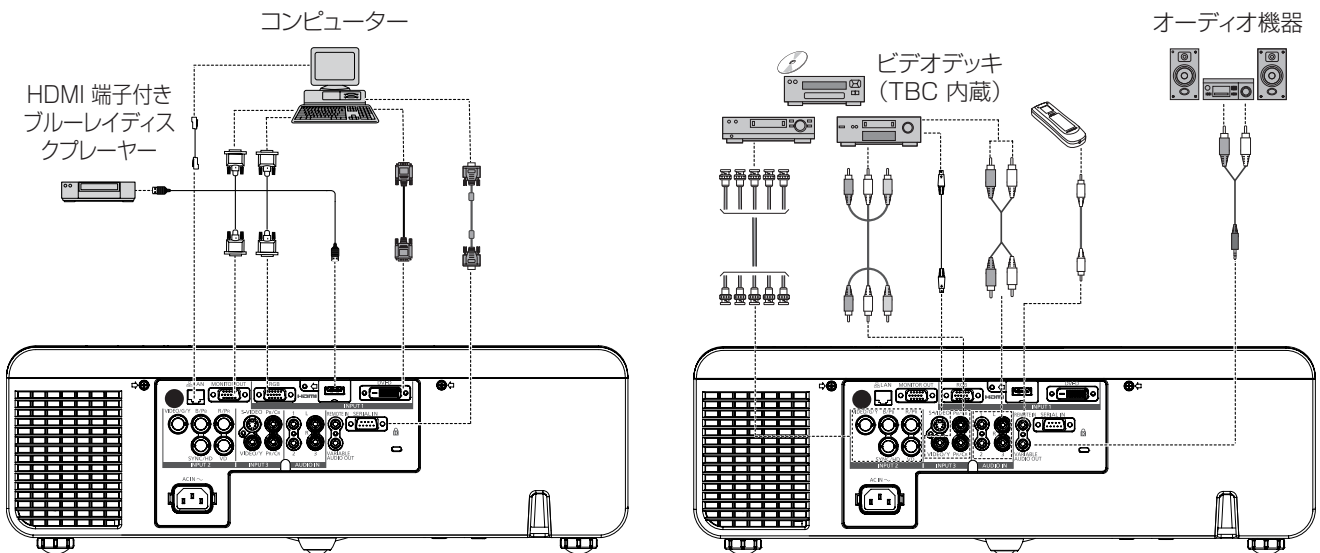
接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、映像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号は、ビデオ信号、Sビデオ信号、アナログ RGB 信号 (同期信号は TTL レベル)、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないことがあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合、ケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。
- 本機が対応する映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。(👉 107 ~ 111 ページ)

接続例

アナログ出力信号表

入力端子と入力信号名		モニター出力	
インプット 1	RGB	RGB(PC アナログ)	あり
		RGB(Scart)	なし
	DVI-D	DVI-D	なし
		DVI-D(HDCP)	なし
HDMI	HDMI	なし	
インプット 2	G, B, R, SYNC/HD, VD	RGB	あり
	VIDEO	ビデオ	なし
	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	なし
インプット 3	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	なし
	S-VIDEO	S-video	なし
	VIDEO	ビデオ	なし



お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ずタイムベースコレクター (TBC) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れることがあります。その場合は、本機との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。
- 本機は、ピエラリンク (HDMI) には対応していません。
- 本機が投写できるコンピューターからの RGB 信号は、「対応信号リスト」をご覧ください。(👉 107 ~ 111 ページ)

電源を入れる / 切る

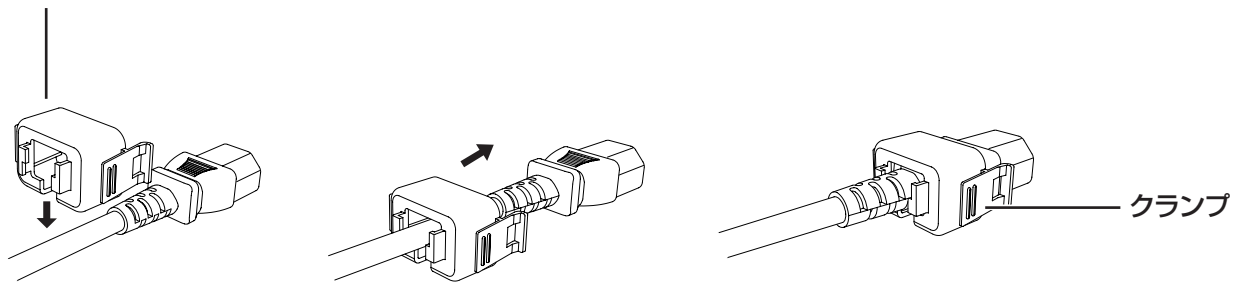
電源コードの接続

電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードホルダーを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。

■ 電源コードホルダー

電源コードホルダーは、電源コードが本体から不用意に抜けないようにするためのものです。図(1)のように、電源コードホルダーを電源コードのコネクター部分に取り付けてください。

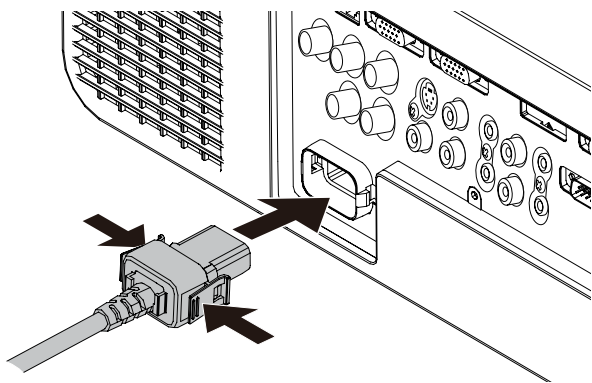
電源コードホルダー



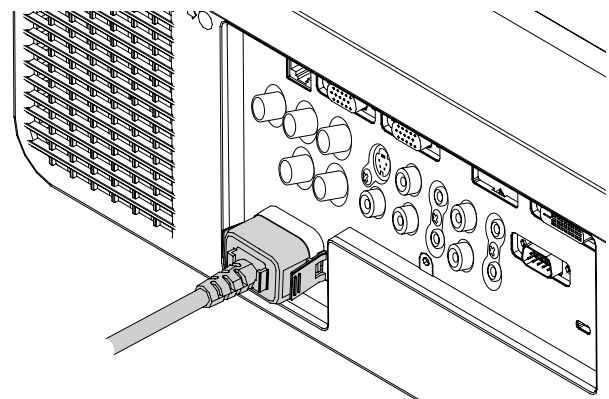
図(1)

■ 取り付け方

図(2)のように、電源コードホルダーの左右のつまみを押しながら、本体に差し込みます。正確に差し込むと、左右のつまみが引っ掛かり「カチッ」という音がして、図(3)のようになります。



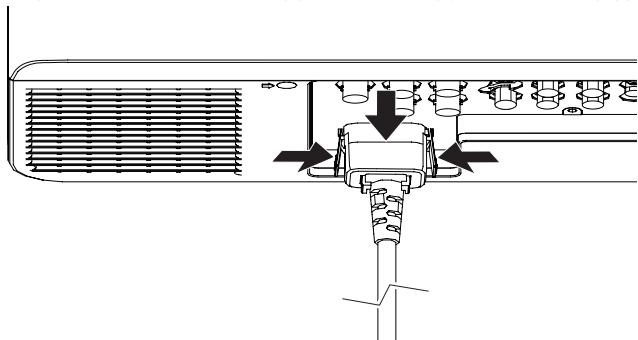
図(2)



図(3)

■ 取り外し方

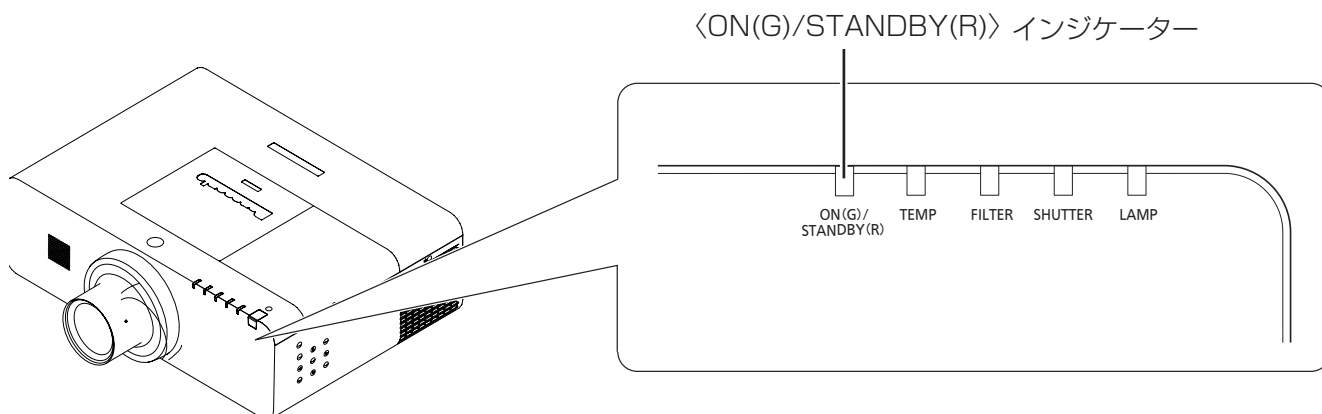
電源コードホルダーの左右のつまみを押しながら、本体から引き抜きます。



電源を入れる / 切る (つづき)

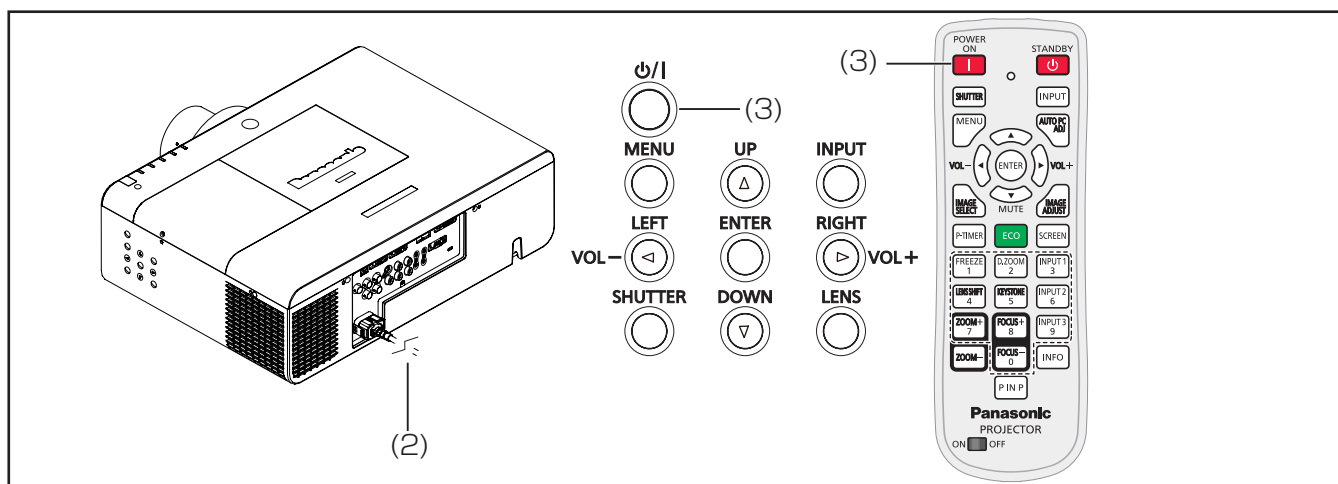
〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータについて

〈ON(G)/STANDBY(R)〉の状態を表示します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの状態をよく確認し、操作してください。



点灯状況		本機の状態
	消灯	電源コードが差し込まれていません。
赤色	点灯	電源コードが差し込まれています。
		本機は冷却が完了した後にスタンバイ状態になっています。
オレンジ	点滅	本機は内部を冷却中です。温度が下がり、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まるまで、本機を操作することはできません。
		本体内部の温度が異常に高くなり、内部を冷却中です。このとき、〈TEMP〉インジケータも赤色点滅します。(☞ 88 ページ) 温度が下がり、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まるまで、本機を操作することはできません。
緑色	点灯	投写状態です。
	点滅	パワーマネジメント機能が作動したのちの待機状態です。再び信号を入力するか、またはリモコンまたは本体操作部の任意のボタンを押すと、ランプが点灯し映像が投写されます。(☞ 65 ページ)

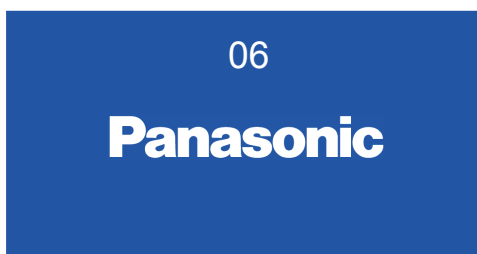
電源を入れる



- 1) 本体の電源を入れる前に、コンピューターやビデオなどの外部機器の接続を完了させます。
- 2) 本体の電源コードをコンセントに接続します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが赤色に点灯します。レンズキャップをはずします。
- 3) 本体操作部の〈 ϕ /I〉ボタン、またはリモコンの〈POWER ON〉ボタンを押します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが緑色に点灯して、冷却ファンの回転が始まります。スクリーンに準備画面が表示され、カウントダウンが始まります。
- 4) カウントダウン後、前回使用時に選択した入力モードとランプパワーの状態がスクリーンに表示されます。

暗証番号でロックされている場合には、暗証番号の入力画面が表示されます。次のページに示された手順に従い、暗証番号を入力します。

準備画面



電源を入れてから 30 秒間準備画面が表示されます。

初期画面



お知らせ

- [ダイレクトオン] 機能がオンに設定されている場合、コンセントに電源コードを接続すると同時に自動的に電源が入ります (☞ 65 ページ)。
- [ロゴ選択] 機能がオフになっていると、準備画面のカウントダウンは表示されますがロゴは表示されません (☞ 61 ページ)。
- [オンスクリーン表示] 機能の [カウントダウン オフ] または [オフ] を選択している場合は、準備画面は表示されません。
- 本機の使用状態によっては、スクリーンにランプ交換アイコンとフィルター交換アイコンが表示されることがあります。
- [ピクチャーインピクチャー] 機能がユーザー 1 ~ 5 に設定されている場合、ユーザー 1 ~ 5、入力信号、ランプパワー状態、ランプ交換アイコン、およびフィルター交換アイコンが 10 秒間、スクリーンに表示されます。

電源を入れる / 切る (つづき)

暗証番号を入力する

■ 本体操作部使用時

▲▼ ボタンを使用して、数字を選択します。▶ ボタンを押して、数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動します。確定した数字は「*」という表示になります。数字を間違えた場合は、◀ ボタンを使用して、修正したいところに赤枠ポインターを戻し、正確な数字を入力します。

このステップを繰り返して、4桁すべてを入力します。

4桁の入力が完了したら、ポインターを[セット]に移動します。〈ENTER〉ボタンを押すと暗証番号の入力が完了し、本機の操作を開始できます。

誤った暗証番号を入力すると、番号が(****)赤色になります。その場合には、暗証番号を最初から入力し直してください。

■ リモコンで入力する

リモコンの数字ボタンで4桁の数字を入力します(👁️ 16 ページ)。確定した数字は「*」という表示になります。数字を間違えた場合は、◀ ボタンを使用して、修正したいところに赤枠ポインターを戻し、正確な数字を入力します。

4桁の入力が完了したら、自動的に赤枠ポインターが[セット]に移動します。〈ENTER〉ボタンを押すと暗証番号の入力が完了し、本機の操作を開始できます。

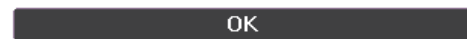
お知らせ

- 暗証番号入力画面が表示されてから3分以内に暗証番号の入力がない場合や、正しい番号を入力し直さなければ、自動的に本機の電源がオフになります。
- 初期設定の暗証番号は、「1234」です。



暗証番号入力画面



[OK] アイコンが表示されたら、本機の操作を開始できます。



電源を切る

- 1) 本体操作部の〈/I〉ボタンまたはリモコンの〈STANDBY〉ボタンを押すと、「もう1度押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 2) もう1度、本体操作部の〈/I〉ボタンまたはリモコンの〈STANDBY〉ボタンを押します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが橙色で点滅し始めます。冷却ファンはそのまま回転し続けます。この状態で、冷却ファンは回転した状態ですが、電源コードを抜くことができます。
- 3) 本体の温度が十分に下がり、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まると、スタンバイ状態となり、本体の電源を入れることができます。

もう1度押すと電源が切れます

4 秒間「もう1度押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。

お知らせ

- 本体の温度が十分に下がるまで、本機を箱などに入れないでください。
- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが点滅している間は、ランプの冷却が行われているため、本機の電源を入れることはできません。再び本機の電源を入れる場合は、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが赤色点灯になったら、本機の電源を入れることができます。電源を切ってから直ぐに電源コードを抜いた場合に比べると、正規の手順で電源を切ってファン冷却を行った場合の方が、再び電源を入れたときの待機時間が短くなります。

■ ダイレクトパワーオフ機能

投写中であっても、電源プラグをコンセントから抜いたり、電源ブレーカーを落としたりすることができます。

お知らせ

- 電源ブレーカーまたは電源プラグをコンセントから抜いて電源を落とした場合、すぐに本機の電源を入れ直すことはできません。高温になっているランプを冷ます必要があり、再び電源を入れたときに、ランプが点灯するまでに多少の時間がかかります。

投写する

外部機器の接続および電源コードの接続 (☞ 33 ページ) を確認し、電源を入れる (☞ 35 ページ) と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

■ 本体操作部 / リモコン操作

本体操作部またはリモコンの〈INPUT〉ボタンを押します。ボタンを押すたびに、INPUT 1/2/3 が切り換わります。

■ リモコン操作

リモコンの〈INPUT 1〉、〈INPUT 2〉、または〈INPUT 3〉ボタンを押します。各ボタンを押すたびに、入力信号が切り換わります。

お願い

- 接続機器や再生する DVD やビデオテープによっては、正常に映像が映らないことがあります。[入力]メニューの「Y, Pb/Cb, Pr/Cr」、[S-video]、[ビデオ] (☞ 47 ページ) で入力信号に合ったシステム方式に設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、「スクリーン」メニュー (☞ 56 ページ) から最適な縦横比に切り換えてください。

映像の映り具合を調整する

■ レンズの位置を調整する

- 1) リモコンの〈LENS SHIFT〉ボタンまたは本体操作部の〈LENS〉ボタンを押す

- 画面に [レンズシフト] が 4 秒間表示されます。

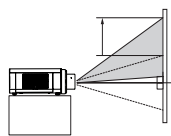


- 2) 表示が出ている間に▲▼◀▶ボタンで、画面の位置を上下左右に動かす

- 移動中に上下左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズシフトの中央です。
- 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
- レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
- 画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。
- 〈LENS〉ボタンまたは〈LENS SHIFT〉ボタンを長押しすると、レンズシフトが中央に戻ります。

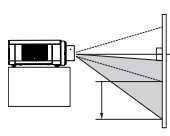
下図は本機の標準レンズを装着したときの例です。

レンズが最上部にシフトしている時



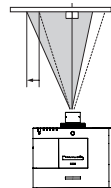
画面位置は画面の 60% * 上方までシフトする事が可能です。

レンズが最下部にシフトしている時



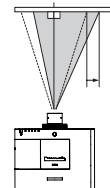
画面位置は画面の 60% * 下方までシフトする事が可能です。

レンズが最も左にシフトしている時



画面位置は画面の 10% 左までシフトする事が可能です。

レンズが最も右にシフトしている時



画面位置は画面の 10% 右までシフトする事が可能です。

* PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズは「60%」で、PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズは「50%」です。

■ ズーム、フォーカスを調整する

- 1) リモコンの〈ZOOM+/-〉ボタンおよび〈FOCUS+/-〉ボタンで調整する
または、本体操作部の〈LENS〉ボタンを押す

- 画面に [フォーカス]、[ズーム] が 4 秒間表示されます。

- 2) 表示が出ている間に ▲▼ ボタンで調整する

お知らせ

- [オンスクリーン表示] を [オフ] に設定していると、調整画面が表示されません。
- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

リモコンで操作する

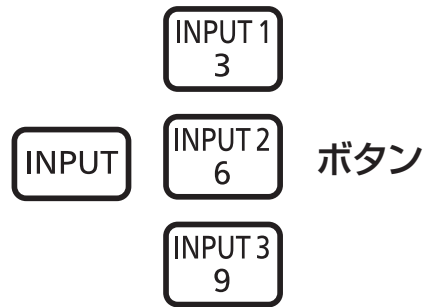


お知らせ

- 〈MUTE〉ボタンを使用して AV ミュート機能を解除すると、音声ミュートは働かず音声が出てきます。

入力信号を切り換える

このボタンを押すと、入力信号を切り換えることができます。

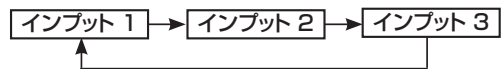


ボタン

リモコンの 〈INPUT〉 ボタン、または 〈INPUT 1〉 / 〈INPUT 2〉 / 〈INPUT 3〉 ボタンを押す

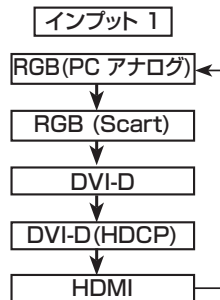
〈INPUT〉 ボタンを押すたびに、以下のように入力信号が切り換わります。

INPUT ボタン

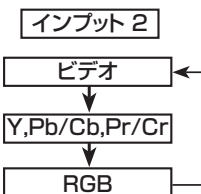


〈INPUT 1〉 / 〈INPUT 2〉 / 〈INPUT 3〉 ボタンを押すたびに、以下のように入力信号が切り換わります。

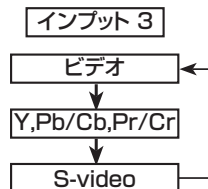
INPUT 1 ボタン



INPUT 2 ボタン



INPUT 3 ボタン



お知らせ

- 設定メニューの [インプットボタン] 機能で 〈INPUT〉 ボタンを押したときに自動入力切換を実行するかどうかを設定することができます。(P.60 ページ)

〈SHUTTER/AV MUTE〉ボタン

*〈SHUTTER〉ボタン:

PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ

スクリーンを完全に真っ黒（黒スクリーン）にできます。

SHUTTER ボタン

リモコンの 〈SHUTTER*〉 ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「設定について」の「シャッター」をご覧ください。(P.66 ~ 67 ページ)

*〈AV MUTE〉ボタン:

PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ

AV MUTE ボタン

リモコンの 〈AV MUTE*〉 ボタンを押す

このボタンを押すと、映像と音声を一時的に消すことができます。元に戻すには、〈AV MUTE〉ボタンをもう一度押すか、または、リモコン内の任意のボタンを押します。



リモコンで操作する (つづき)

〈MENU〉ボタン

このボタンを押すと、オンスクリーンメニューを表示または非表示にすることができます。



リモコンの〈MENU〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳細は「メニュー操作」をご覧ください。(👁️ 44 ページ)

〈AUTO PC ADJ〉ボタン

コンピューター画面を簡単に調節できます。



リモコンの〈AUTO PC ADJ〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「自動 PC 調整」をご覧ください。(👁️ 49 ページ)

〈VOLUME〉ボタン

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整できます。



本体操作部またはリモコンの〈VOLUME+/-〉ボタンを押して、音量を調整します。しばらくの間、スクリーンに音量画面が表示されます。

お知らせ

- 詳しくは「サウンドについて」の「音量」をご覧ください。(👁️ 59 ページ)

〈IMAGE SELECT〉ボタン

画質モードを直接操作できます。



リモコンの〈IMAGE SELECT〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「画質モードについて」をご覧ください。(👁️ 52 ページ)

〈MUTE〉ボタン

リモコンにあるこのボタンを押すと、一時的に消音できます。



リモコンの〈MUTE〉ボタンを押す

お知らせ

- 音声ミュートを解除するには、もう一度このボタンを押して、[オフ] 選択するか、または〈VOL-/+〉ボタンを押します。(👁️ 59 ページ)

〈IMAGE ADJUST〉ボタン

イメージを調整できます。



リモコンの〈IMAGE ADJUST〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「画質調整」をご覧ください。(👁️ 53 ページ)

〈P-TIMER〉ボタン

このボタンを押すと、プレゼンテーションタイマーのカウントアップ / カウントダウン機能を使用できます。



リモコンの〈P-TIMER〉ボタンを押す

お知らせ

- 〈P-TIMER〉ボタンを押すと、カウントを開始し、再度〈P-TIMER〉ボタンを押すと、カウントを停止します。カウント停止状態で〈P-TIMER〉ボタンを押すと、カウントが再開します。プレゼンテーションタイマー機能を中止するには、〈P-TIMER〉ボタンを長押しします。(👉 65 ページ)

〈ECO〉ボタン

このボタンを押すと、ECO マネージメントメニューが表示されます。



リモコンの〈ECO〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳細は、「設定」の「ECO マネージメント」をご覧ください。(👉 64 ページ)

〈SCREEN〉ボタン

このボタンを押すと、スクリーンモードを選択したり、スクリーンサイズを変更することができます。



リモコンの〈SCREEN〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「スクリーンについて」をご覧ください。(👉 56 ページ)

静止機能を使う

このボタンを押すと、外部機器の再生中であっても、一時的に映像を静止させ、消音することができます。



このボタンを押すと、一時的に投写映像が静止し、音声も消えます。静止機能を中止するには、〈FREEZE〉ボタンをもう一度押すか、またはリモコン内の任意のボタンを押します。

静止中は、図 1 のアイコンが表示されます。



お知らせ

- 無信号のときは、! マークが表示されます。

〈D.ZOOM〉ボタン

このボタンを押すたびに、デジタルズームの +/- モードを切り換えることができます。



リモコンの〈D.ZOOM〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「スクリーンについて」の「デジタルズーム+ / -」をご覧ください。(👉 57 ページ)

〈LENS SHIFT〉ボタン

画質を歪めることなく、任意の場所にスクリーンを配置できます。



リモコンの〈LENS SHIFT〉を押して、スクリーンに [レンズシフト] を表示する

お知らせ

- 詳細は、「映像の映り具合を調整する」をご覧ください。(👉 38 ページ)
- 〈LENS SHIFT〉ボタンを長押しすると、レンズシフトが中央に戻ります。

リモコンで操作する (つづき)

〈KEYSTONE〉ボタン

このボタンを押すと、台形ひずみを補正することができます。



■ PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ

リモコンの〈KEYSTONE〉ボタンを押します。台形補正画面が表示されます。▲▼を押して台形ひずみを補正します。台形補正の情報は保存できます。(🔍 57 ページ)

操作	画面の状態
▲を押すと、台形の上部を補正できます。	
▼を押すと、台形の底部を補正できます。	

■ PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ

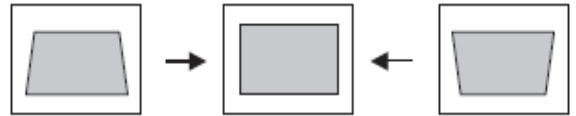
リモコンの〈KEYSTONE〉ボタンで、[標準](垂直/水平)または[コーナー補正]調整に切り換えます。[標準]または[コーナー補正]調整ダイアログボックスが表示されます。▲▼◀▶を押して、標準またはコーナー補正を調整します。[標準]または[コーナー補正]調整は保存できます。(🔍 57 ページ)

■ 標準



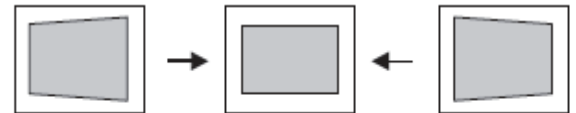
台形の底部を補正するには、▼を押します。

台形の天部を補正するには、▲を押します。



台形の右辺を補正するには、▶を押します。

台形の左辺を補正するには、◀を押します。

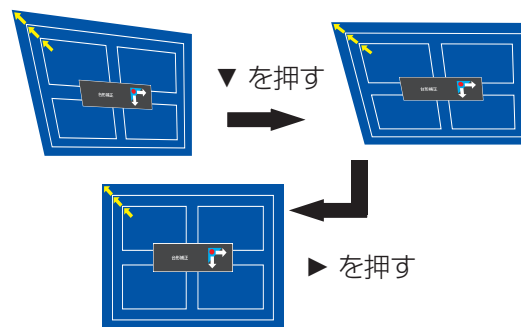


■ コーナー補正



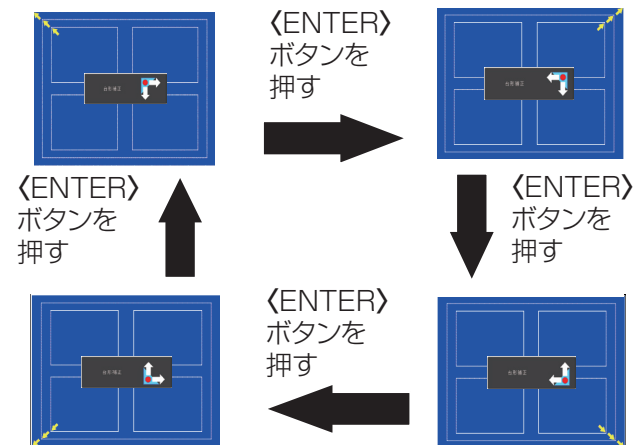
リモコンの〈KEYSTONE〉ボタンを押して、[コーナー補正]調整に切り換え、リモコンの〈ENTER〉ボタンを操作して、調整したい角を選択します。

左上角の調整例：



▶▼を押して左上角を縮小する。

◀▼を押して右上角を縮小する。



▶▲を押して左下角を縮小する。

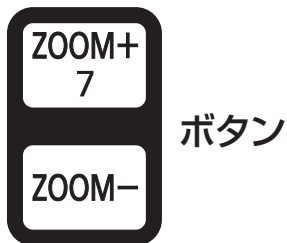
◀▲を押して右下角を縮小する。

お知らせ

- 白の矢印は、補正されていないことを示します。
- 赤の矢印は、その方向に補正されていることを示します。
- 台形補正の限界までくるとその方向の矢印が消えます。
- 台形補正画面が表示されているときに、リモコンの〈KEYSTONE〉ボタンをもう1度3秒以上長押しすると、台形補正前の状態に戻ります。(👉 57 ページ)
- 入力信号により補正可能な範囲が変わることがあります。
- [標準] および [コーナー補正] 機能を同時に使用することはできません。どちらか一方で調整すると、もう一方は自動的にリセットされます。

〈ZOOM +/-〉ボタン

レンズのズームを調整します。



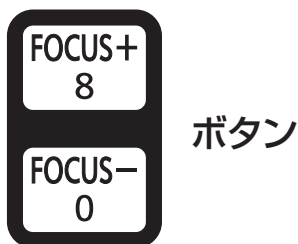
リモコンの〈ZOOM +/-〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳細は、「映像の映り具合を調整する」をご覧ください。(👉 38 ページ)

〈FOCUS +/-〉ボタン

レンズのフォーカスを調整できます。



リモコンの〈FOCUS +/-〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳細は、「映像の映り具合を調整する」をご覧ください。(👉 38 ページ)

〈INFO〉ボタン

このボタンを押すと、インフォメーションメニューを表示することができます。



リモコンの〈INFO〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「インフォメーションについて」をご覧ください。(👉 69 ページ)

〈P IN P〉ボタン

PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズのみ

このボタンを押すと、ピクチャーインピクチャー (P IN P) 機能进行操作できます。



リモコンの〈P IN P〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「設定について」の「ピクチャーインピクチャー」をご覧ください。(👉 62 ページ)

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面の操作方法

操作の手順

例：PT-EZ570

1) 〈MENU〉 ボタンを押す

メインメニュー画面が表示されます。



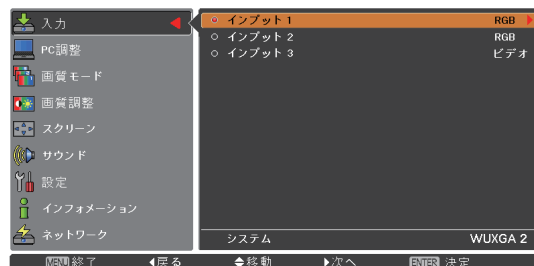
2) ▲ ▼ ボタンで、変更したい項目を選択する

[入力]、[PC 調整]、[画質モード]、[画質調整]、[スクリーン]、[サウンド]、[設定]、[インフォメーション]、および [ネットワーク] の 9 項目から、調整したい項目を選択します。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示され、その項目のサブメニューが右側に表示されます。



3) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押す

サブメニューの項目が選択できるようになります。



4) ▲ ▼ ボタンで、変更したいサブメニューの項目を選択する

5) 〈ENTER〉 ボタンまたは ▶ を押して、変更したい項目を表示する

6) ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで、設定の切り換えや調整を行う

7) ◀ ボタンで一つ前のメニューに戻り、〈MENU〉 ボタンを押して、メインメニューを閉じる

お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色で表示され、その項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できる項目があります。
- サブメニューの詳細は、45 および 46 ページをご覧ください。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

メインメニュー

メインメニューには以下の 9 項目があります。メインメニューの項目を選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	入力
	PC 調整
	画質モード
	画質調整
	スクリーン
	サウンド
	設定
	インフォメーション
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニュー項目が表示され、各項目の設定または調整ができます。

■ 入力 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
インプット 1	RGB(PC アナログ)	47
インプット 2	ビデオ	47
インプット 3	ビデオ	47

■ PC 調整 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
自動 PC 調整	-	49
トラッキング	-	50
総ドット数	-	50
水平位置	-	50
垂直位置	-	50
コンピューター情報	-	51
クランプ	-	51

サブメニュー項目	初期設定	ページ
画面領域 H	-	51
画面領域 V	-	51
リセット	-	51
データ消去	-	51
メモリー	-	51

お知らせ

- これらの機能は、入力モードがコンピューターの場合に利用できます。

■ 画質モード []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
ダイナミック	-	52
標準	-	52
リアル	-	52
シネマ*1	-	52
ナチュラル*1	-	52
イメージ 1-10	-	52

*1：ビデオ系信号（ビデオ、Sビデオ、HDMI）をプロジェクターに入力する際に利用できる機能です。

■ 画質調整 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
コントラスト	32	53
明るさ	32	53
色の濃さ*1	32	53
色合い*1	32	53
アイリス*2	-	53
色温度	中	54
赤	32	54
緑	32	54
青	32	54
オフセット	32	54
デイルイトビュー	自動	54
画質*3	8	55
ガンマ補正	8	55
ノイズリダクション*1	オン	55
プログレッシブ*1	オン	55
リセット	-	55
メモリー	-	55

*1：ビデオ系信号をプロジェクターに入力する際に利用できる機能です。

*2：PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ。

*3：コンピューター信号を入力する時の [画質] の初期設定は 8 です。ビデオ系信号を入力する時の [画質] の初期設定は 15 です。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

■ スクリーン []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
ノーマル	-	56
フル	-	56
ワイド (16:9)	-	56
ズーム	-	56
リアル *1	-	56
ピットリワイド *2	-	56
カスタム	-	56
カスタム調整	-	57
デジタルズーム + *1	-	57
デジタルズーム - *1	-	57
台形補正	メモリー	57
天つり	オフ	58
リア投射	オフ	58
スクリーンアスペクト *2	初期設定 (16:10)	58
リセット	-	58

*1: コンピューター信号をプロジェクターに入力する際に利用できる機能です。

*2: この機能は PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズではご利用になれません。

■ サウンド []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
音量	15	59
内蔵スピーカー	オン	59
消音	オフ	59

■ 設定 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
言語	日本語	60
メニュー	中央	60
インプットボタン	モード 2	60
オンスクリーン表示	オン	61
バックグラウンド	青	61
ロゴ	-	61
ピクチャーインピクチャー *1	オフ	62
HDMI 設定	-	63
DVI 信号レベル	-	63
ランプパワー	オート	63
ファン制御	オフ	63
シンプルモード	オフ	64
リモコンコード	すべて	64
リモコン受光部	前&後	64
ECO マネージメント	-	64
パワーマネージメント	シャットダウン	65

サブメニュー項目	初期設定	ページ
スタンバイモード	ノーマル	65
ダイレクトオン	オフ	65
プレゼンテーションタイマー	カウントアップ	65
セキュリティ	-	66
シャッター *2	オフ	66
クローズドキャプション	オフ	67
映像遅延制御	オフ	67
フィルターカウンター	オフ	68
テストパターン	カラーバー	68
初期設定	-	68

*1: この機能は PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズではご利用になれません。

*2: この機能は PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズではご利用になれません。

■ インフォメーション []

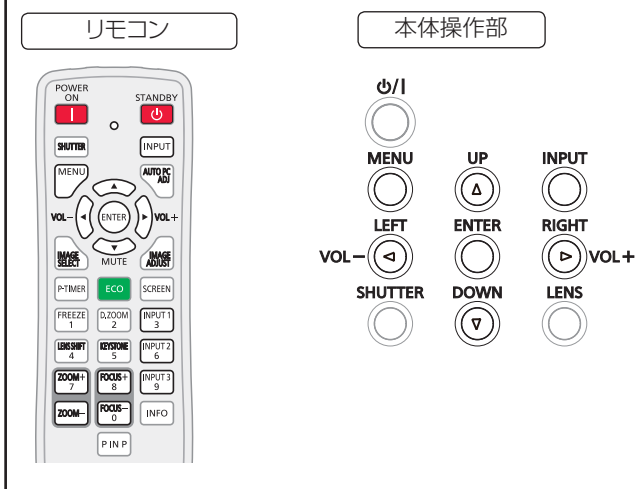
サブメニュー項目	初期設定	ページ
入力	-	69
システム	-	69
水平周波数	-	69
垂直周波数	-	69
スクリーン	-	69
言語	-	69
ランプパワー	-	69
ランプ使用時間	-	69
フィルターカウンター	-	69
パワーマネージメント	-	69
キーロック	-	69
暗証番号ロック	-	69
シャッターマネージメント	-	69
シンプルモード	-	69
リモコンコード	-	69
シリアル番号	-	69

■ ネットワーク []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
プロジェクター名	-	70
ネットワーク設定	-	70
ネットワークコントロール	-	70
ネットワークステータス	-	71
ネットワーク初期設定	-	71

「入力」について

メインメニューの[入力]を選択して、サブメニューの項目を選択してください(「メニュー画面の操作方法」44ページ参照)。



インプット 1

- 1) ▲▼ を押して、[インプット 1] を選択する
- 2) ▶ を押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、[RGB(PC アナログ)]、[RGB(Scart)]、[DVI-D]、[DVI-D (HDCP)] または [HDMI] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す

■ コンピューターシステムの選択

本機は自動的にマルチスキャンシステムおよび自動PC調整機能により、いろいろなタイプのコンピューターに対応します。コンピューターが信号源として選択されると、プロジェクターは自動的に信号フォーマットを検出し、特別な操作をせずに適切な映像が投写されます。(本機の対応信号については107～111ページをご覧ください。)

Auto

接続しているコンピューターからの信号を本機が認識できない場合には、システムメニュー欄に [Auto] と表示され、PC調整機能により適切な映像が投写されます。映像が適切に投写されない場合は、手動で調整する必要があります。

....

コンピューターからの信号が無いことを示します。コンピューターと本機との接続を確認してください。

モード 1

モードの設定は、PC調整メニューから手動で行います。調整データは、モード 1～10 に保存できます。

SVGA 1 本機で対応している PC システムが表示されます。

* モード 1 と SVGA 1 は一例です。

- 1) ▲▼ を押して、[システム] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、適切なシステムを選択する

インプット 2

- 1) ▲▼ を押して、[インプット 2] を選択する
- 2) ▶ を押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、[ビデオ]、[Y, Pb/Cb, Pr/Cr] または [RGB] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す

インプット 3

- 1) ▲▼ を押して、[インプット 3] を選択する
- 2) ▶ を押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、[ビデオ]、[Y, Pb/Cb, Pr/Cr] または [S-video] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す

■ ビデオシステムの選択

ビデオまたは S-video

Auto

入力されたビデオ信号のカラー方式を本機が自動で対応します。

カラー方式が PAL-M または PAL-N の場合は、システムを手動で選択してください。

PAL/SECAM/NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N

適切なビデオ映像が投写されない場合は、PAL、SECAM、NTSC、NTSC 4.43、PAL-M、PAL-N の中から、適切なカラー方式を選択してください。

「入力」について (つづき)

Y, Pb/Cb, Pr/Cr

Auto

入力されたコンポーネントビデオ信号に本機が自動で対応します。

Y, Pb/Cb, Pr/Cr 信号形式

適切なビデオ映像が投写されない場合は、480i、576i、480p、576p、720p、1 035i、1 080i、1 080pの中から、適切なコンポーネントビデオ信号を選択してください。

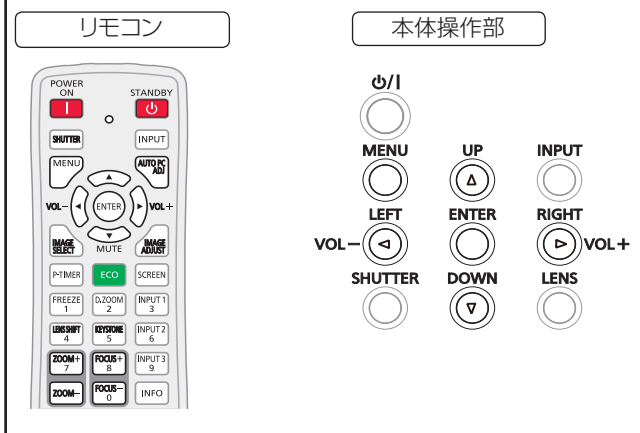
- 1) ▲▼ を押して、[システム] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、適切なシステムを選択する

お願い

- RGB(Scart) を選択している場合は、ビデオシステムを選択することはできません。

「自動 PC 調整」について

メインメニューの [PC 調整] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）。





自動 PC 調整

自動 PC 調整機能は、お使いのコンピューターに合わせて、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置を自動調整する機能です。



▲▼ を押して、[自動 PC 調整] を選択してから、〈ENTER〉ボタンを押す

- 自動 PC 調整中は、「しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されます。

調整値を保存する方法

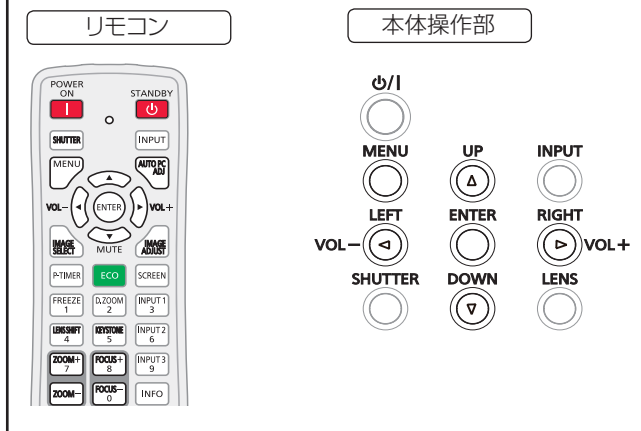
自動 PC 調整により調整された値を本機に保存することができます。調整値を本機に保存しておくこと、次回からは PC システムメニュー（ 47 ページ）でモード（1 ~ 10）を選択するだけで設定が完了します。「メモリー」（ 51 ページ）もご覧ください。

お願い

- コンピューターによっては、この自動 PC 調整でトラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置を調整できないことがあります。この機能で適切な映像が得られない場合は、手動で調整する必要があります（ 50 ~ 51 ページ）。
- PC システムメニュー（ 47 ページ）で 480i、576i、480p、576p、720p、1 035i、1 080i のいずれかが選択されている場合、または HDMI 入力端子からの信号が選択されている場合は、自動 PC 調整機能は働きません。

「手動 PC 調整」について

メインメニューの [PC 調整] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）。



お使いのコンピューターが特殊な信号方式を採用している場合、本機のマルチスキャンシステムで調整することができないことがあります。その場合は、その信号方式に合わせて PC 調整項目を手動で調整します。本機には、手動で調整した値を保存できる専用のメモリー領域があり、10 パターンまで保存できます。これにより、特定のコンピューター専用の設定をいつでも呼び出すことができます。

トラッキング

- ▲▼ を押して、[トラッキング] を選択する
- 〈ENTER〉ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、値を調整する
 - 値は 0 ~ 31 の範囲で調整できます。

総ドット数

- ▲▼ を押して、[総ドット数] を選択する
- 〈ENTER〉ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、値を調整する

水平位置

- ▲▼ を押して、[水平位置] を選択する
- 〈ENTER〉ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、水平位置を調整する

■ 水平位置（左右）の調整

操作	調整
◀ を押す	映像位置が右へ移動します
▶ を押す	映像位置が左へ移動します

垂直位置

- ▲▼ を押して、[垂直位置] を選択する
- 〈ENTER〉ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、映像の垂直位置を調整する

■ 垂直位置（上下）の調整

操作	調整
▶ を押す	映像位置が上へ移動します
◀ を押す	映像位置が下へ移動します

コンピューター情報

- 1) ▲▼ を押して、[コンピューター情報] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉ボタンを押して、サブメニューに移ると、接続されているコンピューターの水平周波数および垂直周波数が表示される

クランプ

- 1) ▲▼ を押して、[クランプ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する
 - 映像に暗色の線が出る場合に、この調整を行います。

画面領域 H

- 1) ▲▼ を押して、[画面領域 H] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、水平方向の画面領域を調整する

画面領域 V

- 1) ▲▼ を押して、[画面領域 V] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、垂直方向の画面領域を調整する

リセット

このリセット機能を実行すると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

- 1) ▲▼ を押して、[リセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

データ消去

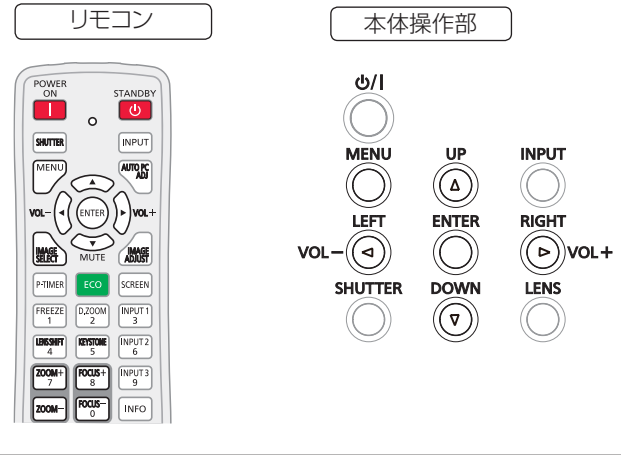
- 1) ▲▼ を押して、[データ消去] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉ボタンを押して、サブメニューに移る
 - 消去したいモードを選択して、〈ENTER〉ボタンを押します。確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

メモリー

- 1) ▲▼ を押して、[メモリー] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉ボタンを押して、サブメニューに移る
 - 保存先として、モード 1 ~ 10 のいずれかを選択して、〈ENTER〉ボタンを押します。確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

「画質モード」について

メインメニューの [画質モード] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）。



ダイナミック

明るい部屋向けの画質モード。
▲▼ を押して、[ダイナミック] を選択し、
〈ENTER〉 ボタンを押す

標準

あらかじめ設定されている標準的な画質モード。
▲▼ を押して、[標準] を選択し、〈ENTER〉
ボタンを押す

リアル

中間階調を明るく見せる画質モード。
▲▼ を押して、[リアル] を選択し、
〈ENTER〉 ボタンを押す

シネマ

階調表現を重視した画質モード。
▲▼ を押して、[シネマ] を選択し、
〈ENTER〉 ボタンを押す

ナチュラル

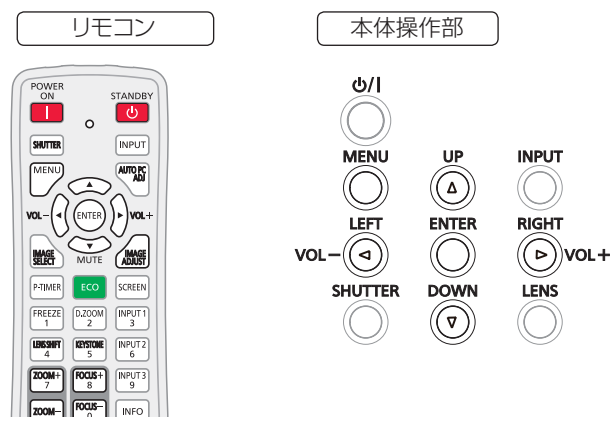
グラフィックのハーフトーンが改善された画質モード。
▲▼ を押して、[ナチュラル] を選択してから、
〈ENTER〉 ボタンを押す

イメージ 1 ~ 10

「画質調整」メニューの「メモリー」で設定したユーザー定義の画質モード。
このイメージメモリーは、コンピューター、コンポーネント、ビデオの入力モードごとに用意されています。
▲▼ を押して、[イメージ 1 ~ 10] を選択してから、〈ENTER〉 ボタンを押す

「画質調整」について

メインメニューの「画質調整」を選択して、サブメニューの項目を選択してください。（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）



お知らせ

- 「画質調整」の内容は、メモリーに保存することができます。「画質調整」の内容を、メモリーに保存しないと「画質モード」切替時に調整された値が工場出荷状態に戻ります。

コントラスト

- 1) ▲▼ を押して、[コントラスト] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面が明るくなり、映像が濃くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	画面が暗くなり、映像が薄くなります	最小値 0

明るさ

- 1) ▲▼ を押して、[明るさ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります	最小値 0

色の濃さ

- 1) ▲▼ を押して、[色の濃さ] を選択する。
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	色を濃くなります	最大値+ 63
◀ ボタンを押す	色を薄くなります	最小値 0

お知らせ

- ビデオ系信号入力時に、[色の濃さ] を調整できます。

色合い

- 1) ▲▼ を押して、[色合い] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整して適切な色合いにする
 - 値は 0 ~ 63 の範囲で調整できます。

お知らせ

- ビデオ系信号入力時で、カラー方式が NTSC または NTSC4.43 のとき、[色合い] を調整できます。

アイリス

このアイリス機能は、コントラストの強度を効率的に上げます。

- 1) ▲▼ ボタンで [アイリス*] を選択する
- 2) 調整ダイアログ・ボックスを表示する場合は 〈ENTER〉 を押してください。
- 3) ◀▶ を押して、任意の項目を選択する。

オフ	無効になります
オン	明るさよりもコントラストが優先されます

* PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみの機能です。

「画質調整」について (つづき)

色温度

- 1) ▲▼ を押して、[色温度] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、色温度レベルを選択する
 - [超低]、[低]、[中]、[高]のいずれかの色温度レベルを選択できます。

赤

- 1) ▲▼ を押して、[赤] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	映像の白色部分の赤みが強くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	映像の白色部分の赤みが弱くなります	最小値 0

緑

- 1) ▲▼ を押して、[緑] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	映像の白色部分の緑が強くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	映像の白色部分の緑が弱くなります	最小値 0

青

- 1) ▲▼ を押して、[青] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	映像の白色部分の青みが強くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	映像の白色部分の青みが弱くなります	最小値 0

オフセット

- 1) ▲▼ を押して、[オフセット] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押して、サブメニューにアクセスする
- 3) ご希望の項目を選択するために ▲▼ を押して <ENTER> を押してください
- 4) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	イメージの黒レベルにおける赤 / 緑 / 青トーンが深く (暗く) なります。	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	イメージの黒レベルにおける赤 / 緑 / 青トーンが明るくなります。	最小値 0

デイトビュー

この機能は環境照度センサーを使用して室内の光度を検出し、本機の出力を自動的に調節して、プレゼンテーションが見やすくなるようにします。

- 1) ▲▼ を押して、[デイトビュー] を選択する
- 2) 調整ダイアログ・ボックスを表示する場合は <ENTER> を押してください。
- 3) ◀▶ を押して、[自動]、[オン] 及び [オフ] を切り換える

お知らせ

- [リア投映] を [オン] にすると、[自動] は無効になります。
- この機能を [オン] または [自動] にすると、[画質] は無効になります。

画質

- 1) ▲▼ を押して、[画質] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	輪郭がシャープになります	最大値 + 31
◀ ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	最小値 0

ガンマ補正

- 1) ▲▼ を押して、[ガンマ補正] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、ガンマ値を調整して、コントラストのバランスをよくする
 - 値は 0 ~ 15 の範囲で調整できます。

ノイズリダクション

- 1) ▲▼ を押して、[ノイズリダクション] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、適切な項目を選択する

オフ	ノイズリダクションを無効にします
L1	低感度のノイズリダクション
L2	高感度のノイズリダクション

- 映像信号ノイズを減らすことができます。上記の中から適切なオプションを選択して、画質をなめらかにします。

お知らせ

- ノイズリダクション機能はビデオ系信号を入力する際に利用できます。
- 1080p 入力時は、[ノイズリダクション] は選択できません。

プログレッシブ

- 1) ▲▼ を押して、[プログレッシブ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、適切な項目を選択する
 - インターレースのビデオ信号をプログレッシブモードで表示することができます。以下のオプションを選択します。

オフ	プログレッシブを無効にします
オン	項目は機能します
フィルム	フィルム映画から方式変換された映像の再生に適したレベル設定です

お知らせ

- プログレッシブ機能は、ビデオ系信号を入力する際に利用できます。
- 480p、576p、720p、1080p 入力時は、プログレッシブは選択できません。

リセット

このリセット機能を実行すると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

- 1) ▲▼ を押して、[リセット] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

お知らせ

- [デイルイトビュー] 以外の調整されたデータをリセットします。

メモリー

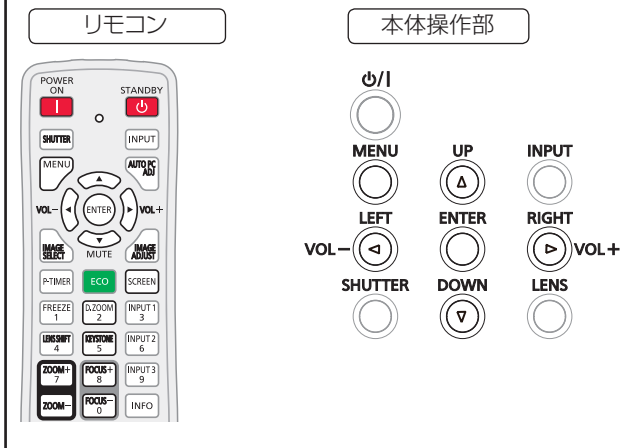
- 1) ▲▼ を押して、[メモリー] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、イメージ 1 ~ 10 のいずれかを選択して、<ENTER> ボタンを押す
 - [デイルイトビュー] 以外の調整されたデータを保存します。

お知らせ

- 「画質調整」の内容を、メモリーに保存しないと「画質モード」切替時に調整された値が工場出荷状態に戻ります。

「スクリーン」について

メインメニューの [スクリーン] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）。



ノーマル

入力信号のアスペクト比を変えずに、スクリーンサイズに合わせて投写します。

▲▼ を押して、[ノーマル] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

フル

フルスクリーンの映像を投写します。

▲▼ を押して、[フル] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

ワイド (16:9)

アスペクト比 16:9 で投写します。

▲▼ を押して、[ワイド (16:9)] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

ズーム

映像のサイズを相対的に調整して、スクリーン全体に収めます。映像の上下または左右のいずれかがスクリーンサイズを超えることがあります。

▲▼ を押して、[ズーム] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

リアル

入力信号の解像度で投写します。入力信号の解像度がパネル解像度 * よりも大きい場合は、自動的にパン機能の調整モードになります。

1) ▲▼ を押して、[リアル] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

2) ▲▼◀▶ ボタンで映像位置を調整する

- 映像位置を調整すると、移動した方向の矢印が赤く表示されます。調整限界位置で、矢印の表示が消えます。

* モデルによりパネルのサイズが異なります。

パネルサイズ	モデル
1 920 x 1 200	PT-EZ570 シリーズ
1 280 x 800	PT-EW630 シリーズ PT-EW530 シリーズ
1 024 x 768	PT-EX600 シリーズ PT-EX500 シリーズ

お知らせ

- リアル機能は、コンピューター信号を入力する際に利用できません。
- PC システムメニューで、480i、576i、480p、576p、720p、1 035i、または 1 080i を選択している場合は、リアル機能は無効になるため、表示されません。
- スクリーンメニューでリアルを選択している場合は、デジタルズーム +/- は選択できません。

ピットリワイド

アスペクト比 4:3 の映像を、中央はあまり補正せず自然な映像になるように徐々に広げて投写します。

▲▼ を押して、[ピットリワイド*] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

* この機能は PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズではご利用になれません。

お知らせ

- ピットリワイド機能は、ビデオ系信号を入力する際に利用できません。
- PC システムメニューで、720p、1 035i、または 1 080i を選択している場合は、ピットリワイド機能は選択できません。

カスタム

「カスタム調整」でメモリーしたアスペクト比で映像を投写します。

▲▼ を押して、[カスタム] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

カスタム調整

スクリーンのスケールと位置を手動で調節します。

- 1) ▲▼ を押して、[カスタム調整] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、調整したい項目を選択する
 - 以下に示す項目のいずれかを選択できます。

水平 / 垂直 スケール	映像のスケールを水平 / 垂直方向に調整します
H&V	[オン] にすると、アスペクト比を固定できます
水平 / 垂直 位置	映像の水平 / 垂直位置を調整します
共通	調整したスケールまたは位置がすべての入力に対して適用されます
リセット	調整した値すべてをリセットします

デジタルズーム +

映像をズームインします。

- 1) ▲▼ を押して、[デジタルズーム +] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 画面上のメニューが非表示になり、[D. zoom +] が表示されます。
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、映像を拡大する。▲▼ ◀▶ を押して、映像の位置を調整する
 - この映像位置調整機能は、映像信号がパネル解像度よりも大きい場合に使用できます。映像は、〈D.ZOOM +〉 または 〈ENTER〉 ボタンでも拡大できます。

デジタルズーム -

映像をズームアウトします。

- 1) ▲▼ を押して、[デジタルズーム -] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 画面上のメニューが非表示になり、[D. zoom -] が表示されます。
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、映像を縮小する
 - 映像は、〈D.ZOOM -〉 または 〈ENTER〉 ボタンでも縮小できます。

デジタルズーム +/- モードを終了するには、〈D.ZOOM +/-〉、〈ENTER〉、または ▲▼◀▶ 以外の任意のボタンを押します。

前のスクリーンサイズに戻すには、スクリーンサイズ調整メニューでスクリーンサイズを選択するか、または入力メニュー (🔍 47 ページ) で入力信号を選択します。あるいは、〈D.ZOOM +/-〉 ボタンでスクリーンサイズを調整します。

お知らせ

- このデジタルズーム +/- 機能は、コンピューター信号を入力する際に利用できます。
- スクリーンアスペクトでリアルを選択している場合は、デジタルズーム +/- を選択することはできません。
- PC システムメニュー (🔍 47 ページ) で、480i、576i、480p、576p、720p、1 035i、または 1 080i を選択している場合は、デジタルズーム +/- 機能は無効になるため、表示されません。
- デジタルズーム機能が無効のときは、! マークが表示されます。

台形補正

映像の台形ひずみを補正する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[台形補正] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、調整したい項目を選択する

標準	台形ひずみを補正します *1
コーナー補正	投写映像の角のひずみを補正します
コーナーパターン	[赤]、[白]、[青]、[オフ] の中から、コーナーパターンを一つ選択します
メモリー	台形補正の情報を保存またはリセットします



以下は、[メモリー] のサブメニューです。

メモリー	電源コードを抜いても、台形補正した状態を保持します
リセット	電源コードを抜くと、台形補正した状態を解除します

*1 : 投写映像の垂直方向の台形ひずみを補正します。

お知らせ

- 詳細は、「リモコンで操作する」の「〈KEYSTONE〉ボタン」 (🔍 42 ページ) をご覧ください。

「スクリーン」について

天つり

天つりした本体から映像を投写する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[天つり] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで映像を調整する
 - この機能をオンにすると、映像が上下および左右に反転します。

リア投映

スクリーンの背後から投写する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[リア投映] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで映像を調整する
 - この機能をオンにすると、映像が左右に反転します。

スクリーンアスペクト

アスペクト比が 4:3 または 16:9 のスクリーンに投写する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[スクリーンアスペクト *] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して切り換える

* この機能は PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズではご利用になれません。

初期設定 (16:10)	16:10 は LCD パネルのアスペクト比です。
16:9	アスペクト比 16:9 のスクリーンに投写するとき
4:3	アスペクト比 4:3 のスクリーンに投写するとき

お知らせ

- [4:3] が選択されている場合、ビデオ系信号入力時のスクリーンメニューの [ピットリワイド] は選択できません。
- [16:9] が選択されている場合、スクリーンメニューの [ワイド (16:9)] は選択できません。

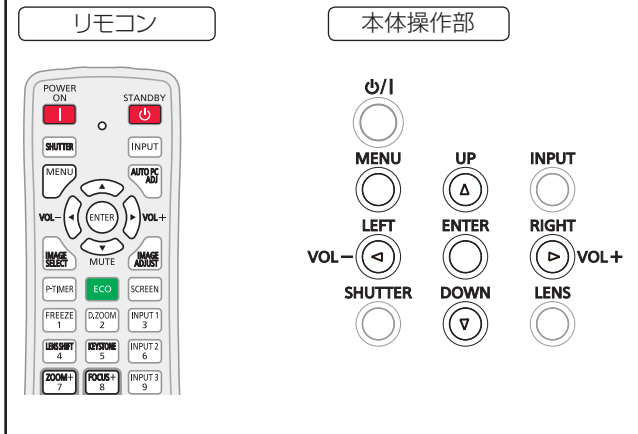
リセット

調整データをリセットすると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

- ▲▼ を押して、[リセット] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

「サウンド」について

メインメニューの [サウンド] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）。



消音

- 1) ▲▼ を押して、[消音] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押して、[消音] 機能のオンとオフを切り換える
 - リモコンの〈MUTE〉ボタンを押して消音機能をオンにすると、一時的に消音できます。
 - 消音を解除するには、もう一度〈MUTE〉ボタンを押して消音機能をオフにするか、または〈VOLUME +/-〉ボタンを押します。

オン	音声を消します
オフ	音声を出します

音量

- 1) ▲▼ を押して、[音量] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ◀▶ を押して、音量を調整する
 - 〈ENTER〉ボタンを押して、調整モードを終了します。

操作	調整	調整範囲
▶ を押す	ボリュームを上げる	最大値 + 63
◀ を押す	ボリュームを下げる	最小値 0

- リモコンまたは本体操作部の〈VOLUME +/-〉ボタンを押して、音量を調整することもできます。

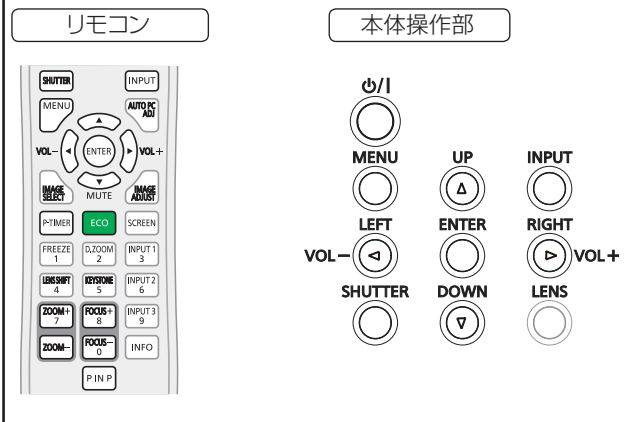
内蔵スピーカー

- 1) ▲▼ を押して、[内蔵スピーカー] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、[内蔵スピーカー] 機能のオンとオフを切り換える

オフ	内蔵スピーカーからの音声を消します
オン	内蔵スピーカーから音声を出します

「設定」について

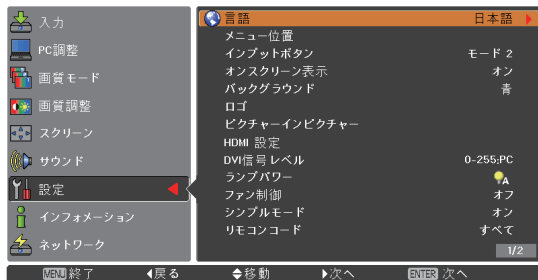
メインメニューの [設定] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）。



言語

- 1) ▲▼ を押して、[言語] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、言語を選択する

例：PT-EZ570



- オンスクリーンメニューで使用できる言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語です。

メニュー / メニューポジション

[メニュー] 機能は PT-EZ570 シリーズのみです。
[メニュー位置] 機能は、PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズ、PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみです。

■ メニューポジション

オンスクリーンメニューの位置を変更する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[メニューポジション] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、位置を変更する
 - <ENTER> ボタンを押す度に、メニュー位置が以下の順番で表示されます。

中央 → 左下 → 右下 → 左上 → 右上 → 中央 ……

■ メニューサイズ *1

オンスクリーンメニューの表示サイズを変更できます。

- 1) ▲▼ を押して、[メニューサイズ] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、[ノーマル] と [倍角] を切り換える

ノーマル	オンスクリーンメニューを標準サイズで表示します。
倍角	オンスクリーンメニューを標準サイズの 2 倍の大きさで表示します。

*1：これは PT-EZ570 シリーズ のみの機能です。

インプットボタン

入力信号を自動的に検出します。信号を検出すると、検索は停止します。

- 1) ▲▼ を押して、[インプットボタン] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、以下の機能を選択する

モード 1	自動入力切換なし *1
モード 2	自動入力切換が作動する *2
モード 3	自動入力切換が作動する *3

*1：自動入力切換は機能しません。

*2：自動入力切換は以下のときに機能します。

- リモコンまたは本体操作部の <INPUT> ボタンを押した場合。

*3：自動入力切換は以下のときに機能します。

- リモコンの <POWER ON> ボタンまたは本体操作部の <POWER> ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れたとき。
- リモコンまたは本体操作部の <INPUT> ボタンを押したとき。
- 信号が検出されないとき。

オンスクリーン表示

オンスクリーン表示を表示するかどうかを選択します。

- 1) ▲▼ を押して、[オンスクリーン表示] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、切り換える

オン	オンスクリーン表示すべてを表示します *1
カウントダウンオフ	電源を入れると、カウントダウンをせずに、入力映像が表示されます。*2
オフ	オンスクリーン表示を非表示にします *3

- *1 : ランプの明るさが十分になってから、映像の投写を開始する場合に選択します。初期設定では、このオプションが選択されています。
- *2 : ランプの明るさが不十分でも、可能な限り早く映像の投写を開始する場合に選択します。
- *3 : 「オフ」に設定した場合は、以下を除いて、オンスクリーン表示を非表示にします。
- オンスクリーンメニュー
 - 「もう1度押すと電源が切れます」
 - プレゼンテーションタイマー表示
 - パワーマネージメントの「入力信号なし」
 - [しばらくお待ち下さい]
 - [ピクチャーインピクチャー]
 - [シンプルモード]
 - [映像遅延制御]
 - スクリーンメニューの[リアル]機能で表示する矢印
 - [アイリス]機能異常の警告表示

バックグラウンド

入力信号を検出できないときに表示するバックグラウンドスクリーンを選択します。

- 1) ▲▼ を押して、[バックグラウンド] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して切り換える

青	青色のバックグラウンド
黒	黒色のバックグラウンド
ユーザー	『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します

- *1 : 『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。[ユーザー]はロゴが転送されているときのみ選択可能です。

ロゴ

ロゴ選択、ロゴ暗証番号ロック、ロゴ暗証番号変更などの機能でロゴをカスタマイズします。

- 1) ▲▼ を押して、[ロゴ] を選択する
- 2) ► または 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して切り換える

■ ロゴ選択

スタートアップ表示のオプションを選択します。

オフ	カウントダウン画面のみ表示します
初期設定	初期設定のロゴを表示します
ユーザー	『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します

- *1 : 『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。[ユーザー]はロゴが転送されているときのみ選択可能です。

■ ロゴ暗証番号ロック

管理者権限のない者がロゴを変更できないようにロックします。

オフ	ロゴ暗証番号無しでロゴを自由に変更できます
オン	ロゴ暗証番号がなければ、ロゴを変更することはできません

お知らせ

- ロゴ暗証番号ロックの設定を変更する場合は、〈ENTER〉ボタンを押すと、ロゴ暗証番号ロックの変更画面が表示されます。以下に示す手順に従い、ロゴ暗証番号を入力します。初期設定のロゴ暗証番号は「4321」です。

■ ロゴ暗証番号の変更

ロゴ暗証番号は、4桁の任意の数字に変更できます。

- 1) ▲▼ を押して、[ロゴ暗証番号変更] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 現在のロゴ暗証番号画面が表示されます。
- 2) ▲▼ を押して、現在の暗証番号を入力し、► ボタンを押して数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動する
 - 新ロゴ暗証番号画面が表示されます。
- 3) この手順を繰り返して、新しいロゴ暗証番号を設定する

お願い

- 新しいロゴ暗証番号をメモして、手元に保管してください。この番号を無くすと、ロゴ暗証番号設定を変更できませんので、ご注意ください。

「設定」について (つづき)

ピクチャーインピクチャー

メイン画面の内側、または、サイドバイサイドにサブ画面を配置して、2つの映像を同時に投写することができます。

1) ▲▼ を押して、[P IN P*] を選択する

- リモコンの〈P IN P〉ボタンを3秒以上押し事で [ピクチャーインピクチャー] メニューを表示する事も可能です。

2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューにアクセスする

- サブ画面からの音声は出力されず、メイン画面のみ音声を出力できます。

* (PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズのみ)

■ ユーザー設定

選択したモード ([オフ / ユーザー 1 ~ 5]) およびそのステータス ([データあり / データなし / 調整中]) を表示します。[ユーザー 1] および [ユーザー 2] には初期設定の値が保存されています。

■ P in P/P by P

P IN P	スクリーンメニューと同じアスペクト比で、メイン画面とサブ画面を投写します。
P by P	アスペクト比 4:3 で、メイン画面とサブ画面を投写します。

お知らせ

- [P in P] の場合、大きい画面がメイン画面になり、小さい方がサブ画面になります。[P by P] の場合、左側の画面がメイン画面に、右側の画面がサブ画面になります。

■ メイン画面 / サブ画面

1) ▲▼◀▶ を押して、白色のアクティブフレームの表示位置を調節する

- このフレームは 10 秒後に自動的に消えますが、〈ENTER〉 ボタンを押して消すこともできます。

入力	インプット 1 ~ 3 を選択します。
入力信号	入力信号を選択します。
サイズ	表示サイズを選択します。
ポジション	[ポジション] で 〈ENTER〉 ボタンを押すと、表示位置設定スクリーンが表示されます。

● メイン画面またはサブ画面の選択

ピクチャーインピクチャーモードで、オンスクリーンメニューが非表示のときに、〈ENTER〉 ボタンを押してメイン画面またはサブ画面を選択します。(赤色のフレームが選択した画面に表示されます。)

● 入力および入力信号の切り換え

メイン画面またはサブ画面を選択するときに、本体操作部の〈INPUT〉ボタンまたはリモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンを押して、入力および入力信号を設定できます。(オンスクリーンメニューでの操作は不要です。)

■ フレームロック

メイン画面またはサブ画面にフレームロックを設定します。

■ リセット

[リセット] で 〈ENTER〉 ボタンを押して、確認のダイアログボックスを表示します。リセットするには、[はい] で 〈ENTER〉 ボタンを押します。

■ データ消去

モードに保存されているデータを削除して、[データなし] に戻します。


▲▼ ボタンで [データ消去] を選択して、〈ENTER〉 ボタンを押すと、[どのモードを消去しますか?] というダイアログボックスが表示されます。削除したいモード ([ユーザー 1 ~ 5]) に移動し、ハイライトして、〈ENTER〉 ボタンを押します。続いて、確認のダイアログボックスが表示されます。削除するには、[はい] を選択します。

■ メモリー

調節したデータを [ユーザー 1 ~ 5] に保存します。

▲▼ ボタンで [メモリー] を選択して、〈ENTER〉 ボタンを押すと、[どこに記憶させますか?] というダイアログボックスが表示されます。保存したいモード ([ユーザー 1 ~ 5]) に移動し、ハイライトして、〈ENTER〉 ボタンを押します。続いて、確認のダイアログボックスが表示されます。調節したデータを保存するには、[はい] を選択します。

お知らせ

- 入力信号と選択した入力端子によっては、[ピクチャーインピクチャー] 機能を利用できないことがあります。
- 入力信号に対応していない場合は、メイン / サブ画面に、 が表示されます。

HDMI 設定

HDMI 入力の場合にのみ使用できる機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[HDMI 設定] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - お使いの機器に応じて、デジタル RGB の出力設定の名称は異なります。

■ HDMI 信号レベル

64-940	デジタル機器の出力が [標準] の場合
0-1023	デジタル機器の出力が [拡張] の場合

■ サウンド

HDMI	HDMI ケーブルで接続してデジタル音声入力がある場合、サウンドを [HDMI] に設定します
AUDIO 1	DVI-HDMI 変換ケーブルで接続する場合、サウンドを [AUDIO 1] に設定します

お知らせ

- 詳しくはお使いの デジタル機器の操作説明書を確認してください。

DVI 信号レベル

DVI-D を入力信号とする場合にのみ使用できる機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[DVI 信号レベル] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して切り換える

16-235	弱い信号を増幅したい場合
0-255:PC	標準的な状態の場合

ランプパワー

スクリーンの明るさを変更することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[ランプパワー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して切り換える

オート	入力信号の明るさに応じたランプパワー
ノーマル	ランプパワーが最大
エコ 1	[ノーマル] の約 80% のランプパワー
エコ 2	[ノーマル] の約 30% -80% のランプパワー

ファン制御

- 1) ▲▼ を押して、[ファン制御] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して切り換える
 - 本機を使用する場所の標高に基づいて、冷却ファンの運転速度を選択します。

オフ	標準速度 *1
オン 1	オフモードより速くなります *2
オン 2	オン1モードより速くなります *3

*1 : 海拔が低い環境で本機を使用する場合は、[オフ] を選択します。

*2 : 海拔約 1 000 m ~ 約 2 000 m の環境で本機を使用する場合は、ファンによる冷却効果が低いため、[オン 1] を選択します。

*3 : 海拔約 2 000 m ~ 約 2 700 m の環境で本機を使用する場合は、ファンによる冷却効果がさらに低いため、[オン 2] を選択します。

お知らせ

- 冷却ファンの回転速度の設定が適切でないと、本機の寿命が短くなります。
- オン 1 および オン 2 に設定すると、ファンの動作音が大きくなります。

「設定」について (つづき)

シンプルモード

シンプルモードを有効にするかどうかを決める機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[シンプルモード] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して切り換える

オン	シンプルモードボタンのみが有効になります。
オフ	シンプルモード機能が無効になります。



シンプルモードが [オン] に設定されたときは、以下のボタンのみが有効になります。

[POWER ON, STANDBY, SHUTTER, INPUT, MENU, AUTO PC ADJ, ▲, ▼ (MUTE), ◀ (VOLUME-), ▶ (VOLUME+), ENTER, IMAGE SELECT, IMAGE ADJUST, P-TIMER, ECO, SCREEN, P IN P, ON/OFF]

数字ボタンは、リモコンのコード番号を設定する場合や、暗証番号を入力する場合にのみ有効になります。

お知らせ

- シンプルモードボタンではないボタンを押した場合に、スクリーンに [!] シンプルモード: オン] というメッセージが 4 秒間表示されます。

リモコンコード

この切り換え機能により、複数のプロジェクターまたはビデオ機器を同時に操作する際に、リモコンの干渉を防止します。

- 1) ▲▼ を押して、[リモコンコード] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、65 通りのリモコンコードから選択する
 - 本機には、65 通りのリモコンコードがあります。すべて、コード 01 ~ コード 64

お知らせ

- [すべて] を選択すると、複数のプロジェクターを同時に操作できます。プロジェクターを個別に操作する場合は、別のコードに切り換える必要があります。
- 本機とリモコンのコードが異なると、どのような操作もできません。コードが異なる場合は、リモコンコードを本機に合わせて変更してください。

リモコン受光部

リモコンの赤外線リモート受信部の位置を選択します。

- 1) ▲▼ を押して、[リモコン受光部] を選択する
- 2) ▶ もしくは 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して切り換える

すべて	受光部すべてを有効にします。
前&天面	前面および天面の受光部両方を有効にします。
天面&後	天面および後面の受光部両方を有効にします。
前&後	前面および後面の受光部両方を有効にします。
前	前面の受光部のみを有効にします。
天面	天面の受光部のみを有効にします。
後	後面の受光部のみを有効にします。

ECO マネージメント

使用状態に応じてランプ電力を最適化し、消費電力を低減する機能です。

- 1) ▲▼ ボタンで「ECO マネージメント」を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 を押す
- 3) ▲▼ を押して、以下の項目の内一つを選択する

■ 省エネ設定

- 1) ▲▼ を押して、[省エネ設定] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、オンとオフを切り換える
- 3) ▲▼ ボタンで、[省エネ設定] 条件を選択する

環境照度連動	設置場所の明るさにより、ランプ電力を調整します
無信号連動	無信号時、ランプ電力を下げます
AV ミュート連動*1	AV ミュート時、ランプ電力を下げます

*1: この機能は PT-EW530 シリーズ、EX500 シリーズのみです。

お知らせ

- [省エネ設定] が [オフ] の場合、[環境照度連動]、[無信号連動] および [AV ミュート連動] は利用できません。

パワーマネージメント

本機を投写中しばらくの間何も操作しないしていると、パワーマネージメント機能により、ランプが消灯します。これにより、電力消費量を減らし、ランプを長持ちさせることができます。

- 1) ▲▼ を押して、[パワーマネージメント] を選択する
- 2) ► または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ モード

- 1) ▲▼ を押して切り換え、〈ENTER〉 ボタンを押して決定する

待機	ランプが完全に冷めると、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが緑で点滅します。この状態のときに、再び信号を入力するか、またはリモコンまたは本体操作部の任意のボタンを押すと、ランプが点灯し映像が投写されます
シャットダウン	ランプの冷却が完了すると、電源がオフになります
オフ	パワーマネージメント機能が無効になります

■ タイマー

- 1) ▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、タイマー (1 ~ 30 分) をセットする

スタンバイモード

スタンバイ状態での電力を設定します。

- 1) ▲▼ を押して、[スタンバイモード] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して切り換える

ノーマル	標準の状態です
エコ	待機電力が 0.5 W 未満となります
ネットワーク	待機電力がノーマルより小さくなります

お知らせ

- 「エコ」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能の使用はできません。また、RS-232C コマンドの一部が使用できません。

- 「ネットワーク」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能が使用できます。また、本体の電源が入っていても、本体内部の温度が高ければ、ファンによる冷却が行われることがあります。

ダイレクトオン

- 1) ▲▼ を押して、[ダイレクトオン] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、オンまたはオフにする

- オンにすると、電源コードをコンセントとつなぐだけで、本体の電源が自動的にオンになります。
- 本体の電源を切る際は、適切な手順に従ってください。手順に誤りがあると、ダイレクトオン機能は正確に動作しません。

プレゼンテーションタイマー

この機能は、プレゼンテーションタイマーの設定を変更したり、実際にタイマーでカウントするときに表示します。

- 1) ▲▼ を押して、[プレゼンテーションタイマー] を選択する
- 2) ► または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ モード

- 1) ▲▼ を押して切り換え、〈ENTER〉 ボタンを押して決定する

カウントアップ	「000:00」をスクリーンに表示して、0 秒から経過時間をカウントアップ (000:00 ~ 180:00) します
カウントダウン	タイマー設定でセットした時間をスクリーンに表示して、経過時間をカウントダウンします。

■ タイマー

- 1) ▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、[タイマー] (1 ~ 180 分) をセットする
 - この [タイマー] はカウントダウンのみに使用できます。初期設定値は 10 分です。

「設定」について (つづき)

■ 実行する

1) ▲▼ を押して切り換え、〈ENTER〉ボタンを押して決定する

スタート	カウントアップまたはカウントダウンを開始します *1
リセット	プレゼンテーションタイマーの値をリセットします *2
終了	プレゼンテーションタイマーの操作を終了します

*1 : [スタート] で 〈ENTER〉 ボタンを押すと、表示が [ストップ] に変わります。カウントダウンまたはカウントアップを (一時) 停止するには、スクリーンメニューの [ストップ] で 〈ENTER〉 ボタンを押します。そのとき表示が [再スタート] に変わります。[再スタート] で 〈ENTER〉 ボタンを押して、カウントダウンまたはカウントアップを再開します。

*2 : [リセット] で 〈ENTER〉 ボタンを押すと、以下の値に戻ります。

カウントアップ	"000:00"
カウントダウン	セットしたタイマー時間

お知らせ

- プレゼンテーションタイマーのカウントを停止するには、〈P-TIMER〉 ボタンを押します。
- プレゼンテーションタイマーを中止するには、〈P-TIMER〉 ボタンを数秒間、長押しします。

セキュリティ




キーロックと 暗証番号ロックを使用して、本機の操作にセキュリティ保護を設定することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[セキュリティ] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ キーロック

リモコンや本体操作部のボタンをロックして、管理者権限のない者による操作を防止します。

1) ▲▼ を押して切り換える

	ロックを解除します
	本体操作部の操作をロックします。リモコンを使用してロックを解除します
	リモコンの操作をロックします。本体操作部を使用してロックを解除します

■ 暗証番号ロック

管理者権限のない者による本機の操作を防止します。これには、以下のオプションがあります。

1) ▲▼ を押して切り換える

オフ	ロックを解除します
オン 1	本機の電源を入れる度に、暗証番号の入力を要求されます
オン 2	電源コードを抜いた場合に、暗証番号の入力を要求されます。電源コードを抜かなければ、暗証番号はそのまま有効で、暗証番号を入力せずに本機を操作できます

お願い

- 暗証番号ロックの設定や暗証番号 (4桁数字) を変更する際には、暗証番号を入力する必要があります。初期設定の暗証番号は、「1234」です。

■ 暗証番号変更

暗証番号は、4桁の任意の数字に変更できます。

- 1) ▲▼ を押して、[暗証番号変更] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 現在の暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 2) ▲▼ を押して、現在の暗証番号を入力する。▶ ボタンを押して、数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動する
 - 新しい暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 3) この手順を繰り返して、新しい暗証番号を設定する

シャッター

シャッター機能は、スクリーンへの光をブロックして、別の発表者がそのスクリーンを使用できるようにします。





- 1) ▲▼ を押して、[シャッター *] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

* (PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ)

■ 保護

リモコンや本体操作部からシャッター操作ができないようにします。

1) ▲▼ を押して切り換える


	リモコンと本体操作部のどちらからでもシャッター操作ができるようにします。
	リモコンからのシャッター操作ができないようにします。
	本体操作部からのシャッター操作ができないようにします。
	リモコンと本体操作部のどちらからもシャッター操作ができないようにします。

■ 解除キー

シャッターが閉じた状態が続いた場合に、どのボタンでシャッターを解除（シャッターを開く）するかを設定します。

すべて	本体操作部またはリモコンの任意のボタンを押すと、シャッターを閉じたときにシャッターが解除され、その間は、選択した項目の機能が有効になります。
シャッター	本体操作部またはリモコンの〈SHUTTER〉ボタンを押すだけで、シャッターを閉じたときにシャッターが解除されます。*1


*1： [解除キー] が [シャッター] に設定されていてシャッターが閉じているときは、以下のボタンのみが有効です。

- 本体操作部の 〈INPUT〉 ボタン、および 〈/|〉 ボタン
- リモコンの 〈INPUT 1/2/3〉 ボタン、および 〈STANDBY〉 ボタン

■ マネージメント

シャッターマネージメント機能は、本機のシャッターが閉じたままの状態でも一定の時間が経過すると、ランプが消灯します。そのカウントダウン時間は 5 ～ 480 分の間で設定できます。

カウントダウン設定時間が経過すると、シャッターが自動的に開いて、ランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。この冷却中は 〈SHUTTER〉 インジケータが青色に点滅します。ランプが完全に冷めると、〈ON(G)/STANDBY(R)〉 インジケータが緑色点灯になり、〈SHUTTER〉 インジケータは点滅を続けます。

この状態のときに 〈/|〉 ボタンを押すと、ランプが点灯し、〈SHUTTER〉 インジケータの点滅が消えます。

クローズドキャプション

[NTSC 入力のみ]

- 1) ▲▼ を押して、[クローズドキャプション] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ クローズドキャプション

- 1) ▲▼ を押して、[クローズドキャプション] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンを押して、[オフ]、[CC1]、[CC2]、[CC3]、[CC4] のいずれかを選択する

■ カラー

- 1) ▲▼ を押して、[カラー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、[カラー] または [ホワイト] を選択する

お知らせ

- クローズドキャプションは映像信号に含まれたテキスト情報を表示する機能として、主に北米地域で使用されています。お使いの機器やソフトウェアによっては、キャプション（テキスト情報）が表示されないことがあります。
- NTSC 信号が入力されている場合にのみ、[クローズドキャプション] を選択できます。
- [台形補正] で大幅に補正している場合は、文字が欠けることがあります。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。


映像遅延制御

この機能をオンに設定すると、投写映像のデジタル処理を速くすることができます。

- 1) ▲▼ を押して、[映像遅延制御] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、[オフ]、[低]、[中] と [高] のいずれかを選択する*

*PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズでは、この機能は [オン]、[オフ] のみの選択となります。

お知らせ

- 映像遅延制御機能をオンにすると、ノイズリダクション機能やプログレッシブ機能を選択することはできません。
- [映像遅延制御] が [低] / [中] / [高] に設定されているときには、以下の機能はご利用になれません。
[低]...[キーストーン] を選択できません。
[中]...[プログレッシブ] および [ノイズリダクション] を選択できません。
[高]...[キーストーン]、[プログレッシブ] および [ノイズリダクション] を選択できません。
- [映像遅延制御] 機能が [低] または [高] に設定されているときに、〈KEYSTONE〉 ボタンを押すと、[ 映像遅延制御：オン] がスクリーンの左下に表示されます。

「設定」について (つづき)

フィルターカウンター

エアフィルターユニットの掃除または交換の頻度を設定することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[フィルターカウンター] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■ フィルターカウンター

フィルターを使用した時間の累計を表示します。




■ [フィルターカウンター残り]

フィルターカウンターの残りを10%単位で表示します。
● 残りが10%になると、赤色で表示されます。



■ フィルターカウンタータイマー

フィルターの交換時間を知らせる表示をスクリーンに表示させるまでの時間を設定します。

- 1) ▲▼ を押して、[フィルターカウンタータイマー] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、タイマーをセットする
 - 使用環境に応じて、オフ/1 000 時間 /2 000 時間 /3 000 時間 /4 000 時間 /6 000 時間 /8 000 時間 /9 000 時間 /12 000 時間の中からタイマーを選択します。
 - エアフィルターの状態により、以下のアイコンが画面に表示されます。

	[フィルターカウンター残り]が10%になったとき
	[フィルターカウンター残り]が無くなり、エアフィルターユニットの交換が必要になったとき
	[フィルターカウンタータイマー]でセットした時間になったとき

お願い

- [フィルターカウンター残り]が無くなり、が表示され始めてから約10時間が経過すると、本機内部部品の保護のため、電源を入れてから約3分後に電源が自動的に切れてスタンバイ状態になります。が表示されたら、すみやかにエアフィルターユニットの掃除または交換を行い、[フィルターカウンター]をリセットしてください。

■ フィルターカウンターリセット

エアフィルターユニットを掃除または交換した後は、タイマーをリセットする必要があります。

- 1) ▲▼ を押して、[フィルターカウンターリセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「フィルターカウンターリセット？」という確認画面が表示されたら、[はい]を選択します。後続の確認画面で、もう一度[はい]を選択すると、フィルターカウンターがリセットされます。

テストパターン

内蔵テストパターンを投写できます。

- 1) ▲▼ を押して、[テストパターン] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、以下のテストパターンから選択する
 - [カラーバー], [16 階調 1], [16 階調 2], [16 階調 3], [16 階調 4], [全白], [全黒], [格子]

お知らせ

- テストパターン表示中でも「ズーム / フォーカス / レンズシフト / シャッター / 電源オフ」は各機能が優先されます。

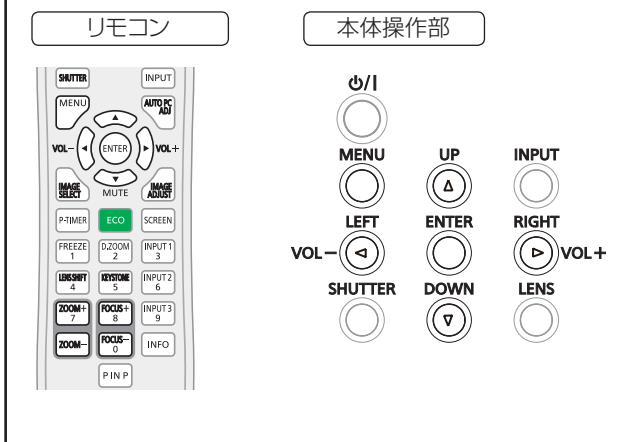
初期設定

ユーザーロゴ、暗証番号ロック、ロゴ暗証番号ロック、ランプ使用時間、フィルター関連項目(タイマー、カウンター、残量)、およびネットワークに関する設定を除く、すべての設定値を初期値に戻すことができます。

- 1) ▲▼ を押して、[初期設定] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「初期設定へ戻しますか？」という確認画面が表示されたら、[はい]を選択します。後続の確認画面で、もう一度[はい]を選択すると、工場出荷時の初期設定の状態に戻ります。

「インフォメーション」について

メインメニューの [インフォメーション] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」44 ページ参照）。



インフォメーション表示

インフォメーションメニューで、投写している映像の信号と本機の動作の状態を確認します。また、リモコンの〈INFO〉ボタンを押して、インフォメーションメニューを表示することもできます。

■ 入力

選択している入力信号を表示します。

■ システム

選択しているシステムを表示します。

■ 水平周波数

選択している水平同期周波数を kHz 単位で表示します。入力がない場合、水平周波数の入力信号は ---- kHz という表示になります。

■ 垂直周波数

選択している垂直同期周波数を Hz 単位で表示します。入力がない場合、垂直周波数の入力信号は ---- Hz という表示になります。インターレース信号の場合は、Hz の数値が 2 倍になります。

■ スクリーン

選択しているスクリーンモードを表示します。

■ 言語

選択している言語を表示します。

■ ランプパワー

選択している [ランプパワー] のモードを表示します。（ 63 ページ）

■ ランプ使用時間

ランプの累計動作時間を表示します。

■ フィルターカウンター

タイムフィルターを使用しているフィルターが表示されます。

■ パワーマネージメント

[オフ]、[待機]、[シャットダウン]、および [タイマー] を表示します。

■ キーロック

選択しているキーロックのアイコンを表示します。

■ 暗証番号ロック

オフ、オン 1、またはオン 2 を表示します。

■ シャッターマネージメント*

[保護] および時間の設定を表示します。

* PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ

■ シンプルモード

シンプルリモコンコードの構成を表示します。

■ リモコンコード

選択しているリモコンコードを表示します。

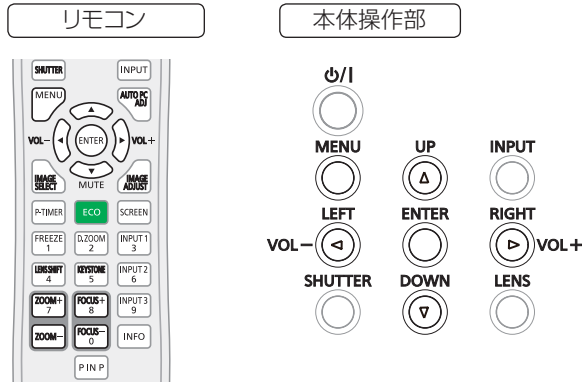
■ シリアル番号

本機のシリアル番号を表示します。

シリアル番号は、本機の保守を行うときに必要になります。

「ネットワーク」について

メインメニュー（44 ページの「オンスクリーンメニューについて」をご覧ください）から [ネットワーク] を選択し、サブメニューから項目を選択してください。



プロジェクター名

ネットワーク上で、表示される本機の名前を変更することができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [プロジェクター名] を選び
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼◀▶ ボタンを押して、[プロジェクター名] を設定します

ネットワーク設定

有線LANの詳細なネットワーク設定ができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワーク設定] を選び、<ENTER> ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで 各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

DHCP (DHCP クライアント機能)	オン: プロジェクターを接続するネットワークにDHCPサーバーが存在する場合、自動的にIPアドレスを取得します。 オフ: プロジェクターが接続するネットワークにDHCPサーバーが存在しない場合、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]の設定を行ってください。
IP アドレス (IP アドレスの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、IPアドレスを入力します。
サブネットマスク (サブネットマスクの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、サブネットマスクを入力します。

デフォルトゲートウェイ (デフォルトゲートウェイアドレスの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
DNS1 (優先DNSサーバーアドレスの表示と設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、優先DNSサーバーアドレスを入力します。
DNS2 (代替DNSサーバーアドレスの表示と設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、代替DNSサーバーアドレスを入力します。

3) ▲▼◀▶ ボタンで [セット] を選び、<ENTER> ボタンを押す

- 有線 LAN の工場出荷設定
工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.10.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
DNS 1/DNS 2	なし

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSの詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークコントロール

ネットワーク接続しているコンピューターからプロジェクターを制御したい場合に設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワークコントロール] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ ボタンを押して項目を一つ選択し、◀▶ ボタンを押して機能を [オン] と [オフ] のいずれかに切り換える

WEB コントロール	[オン] にすると、WEBブラウザで制御できます。
PJLink コントロール	[オン] にすると、PJLink プロトコルで制御できます。
コマンド コントロール	[オン] にすると、<SERIAL IN> 端子から制御できます。
AMX D. D.	[オン] にすると、AMX デバイス ディスカバリーで本機を検知できます。
RoomView	[オン] にすると、Crestron RoomView®で制御できます。

本機は[Crestron RoomView]に対応しています。
[Crestron RoomView] はネットワークに接続された複数のシステムの様々な機器を、コンピューターで一括して管理・制御するCrestron Electronics, Inc. 製のシステムです。

- [Crestron RoomView] の詳細については、Crestron Electronics, Inc のWEBサイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
URL <http://www.crestron.com/>
また、「Crestron RoomView Express」のダウンロードは、Crestron Electronics, Inc のWEBサイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
URL <http://www.crestron.com/getroomview>

お知らせ

- AMX デバイスディスカバリーに関する詳細は、以下を参照してください。
<http://www.amx.com/>

ネットワークステータス

使用中のプロジェクターのLAN設定環境を表示します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワークステータス] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンまたは ► ボタンを押し、プロジェクターの情報を表示する

ネットワーク初期設定

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [はい] を選択し
- 2) <ENTER> ボタンを押し
 - [ネットワーク初期設定へ戻しますか?] と表示されます。続ける場合は [はい] を選択します。別の確認ダイアログ・ボックスが表示されます、[初期設定] に戻す場合は [はい] を選択してください。

「ネットワーク」について (つづき)

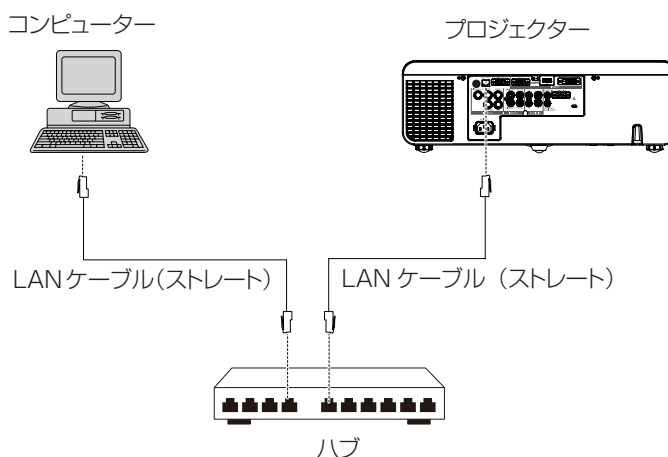
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、WEB ブラウザを使用してコンピューターから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時に E メールメッセージを送信

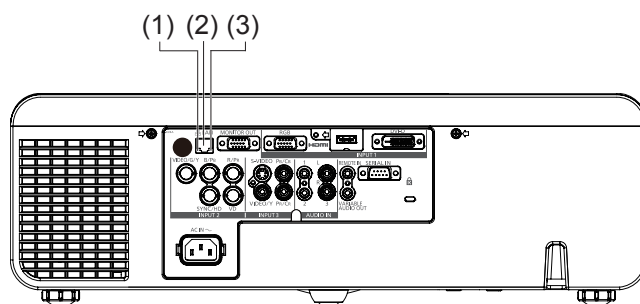
お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、WEB ブラウザーが必要です。あらかじめ WEB ブラウザーが利用できることを確認してください。
対応 OS : Windows XP/Windows Vista/Windows 7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7
対応ブラウザ : Internet Explorer 7.0/8.0/9.0、Safari 4.0/5.0 (Mac OS)
- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはシールドケーブルでカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称とはたらき



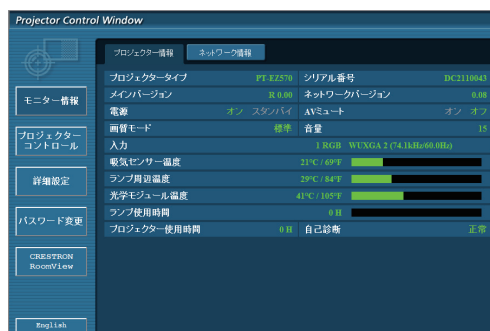
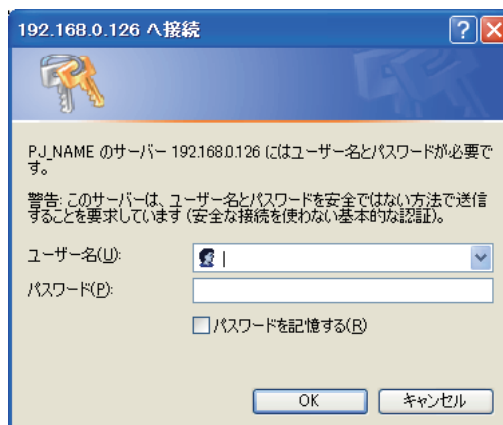
- (1) LAN LINK/ACT ランプ (黄色)
接続時に点灯します。
送受信時に点滅します。
- (2) <LAN> 端子 (10BASE-T/100BASE-TX)
LAN ケーブルを接続します。
- (3) LAN10/100 ランプ (緑色)
100BASE-TX 接続時に点灯します。

お願い

- LAN は屋内の機器に接続してください。

WEB ブラウザからのアクセス方法

- 1) コンピューターの WEB ブラウザを起動する。
- 2) WEB ブラウザの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する。
- 3) 『ユーザー名』と『パスワード』を入力する
 - 出荷時の設定は、ユーザー名:user1(ユーザー権限)/admin1(アドミニストレータ権限)、パスワード:panasonic(小文字) です。
- 4) [OK] をクリックする
 - 『プロジェクター情報』 ページが表示されます。

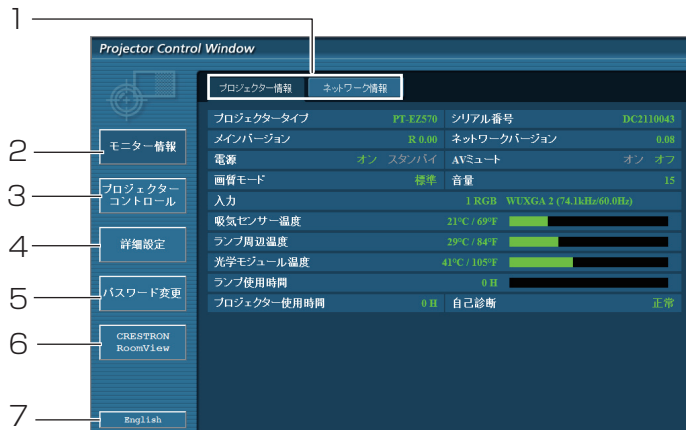


お知らせ

- WEB ブラウザを同時に複数立ち上げて設定や制御を行うのは避けてください。
- 最初にパスワードの変更を行ってください。
- アドミニストレータ権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、『プロジェクター情報』、『ネットワーク情報』、『基本制御』、『パスワード変更』のみ使用できます。
- WEB ブラウザを使用してプロジェクターの操作をしたい場合は、ネットワークメニューの [ネットワークコントロール] を [オン] にします。
- 本機の設定ページには、WEB ブラウザの Javascript 機能を利用している項目があります。WEB ブラウザがこの機能を使用していない設定になっている場合には、正常にコントロールを行えない場合があります。

「ネットワーク」について (つづき)

■各項目の説明



- 1 ページ切り換えタブ
クリックすると、ページが切り換わります。
- 2 モニター情報ボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。
- 3 プロジェクターコントロールボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターコントロールページが表示されます。
- 4 詳細設定ボタン
この項目をクリックすると、詳細設定ページが表示されます。
- 5 パスワード変更ボタン
パスワード変更ページを表示するにはこのボタンをクリックしてください。
- 6 CRESTRON RoomView ボタン
このボタンをクリックすると、Crestron RoomView®で本機を監視・制御できます。
- 7 言語変更ボタン
英語、日本語間の言語変更はこのボタンをクリックしてください。

■プロジェクター情報ページ

[モニター情報] → [プロジェクター情報] をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。

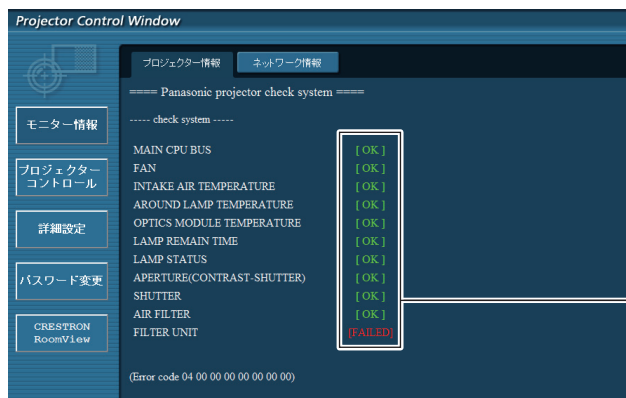


- 1 プロジェクターの機種名を表示します。
- 2 プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。
- 3 電源の状態を表示します。
- 4 映像モードの状態を表示します。
- 5 プロジェクターのシリアル番号を表示します。
- 6 ネットワークのファームウェアのバージョンを表示します。
- 7 AV ミュートの状態を表示します。
- 8 音量の状態を表示します。
- 9 入力の状態を表示します。
- 10 プロジェクターの吸気温度状態を表示します。
- 11 プロジェクターのランプ周辺温度状態を表示します。
- 12 プロジェクターの光学モジュール温度状態を表示します。
- 13 ランプ使用時間を表示します。
- 14 自己診断情報を表示します。(P.75ページ)
- 15 プロジェクターの使用時間を表示します。

■ エラー情報ページ

「プロジェクター情報」画面の自己診断情報表示欄に「エラー（詳細表示）」が表示された時、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



OK: 正常動作
 FAILED: 異常発生
 WARNING: 警告

異常発生 [FAILED] の項目説明

項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
INTAKE AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
AROUND LAMP TEMPERATURE	ランプ周辺温度が高くなっています。排気口がふさがれている、あるいは [ファン制御] の設定を間違えている可能性があります。(👁️ 63ページ)
OPTICS MODULE TEMPERATURE	光学レンズモジュールの温度が高くなっています。排気口がふさがれている、あるいはエアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の時間を超過しており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER)	コントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
SHUTTER	シャッターに異常があります。
AIR FILTER	エアフィルターユニットに異常があります。
FILTER UNIT	エアフィルターユニットが装着されていません。

■ ネットワーク情報ページ

現在のネットワークの設定情報が表示されます。



*有線LANの設定内容を表示します。

「ネットワーク」について (つづき)

■ 基本制御ページ

別のページから移動するには、[プロジェクター コントロール] → [基本制御] とクリックします。



- 1 電源オン/スタンバイの操作
- 2 入力の切替
- 3 画質モードの切換
- 4 シャッター*/AVミュート*の操作

* シャッター：PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ
AV ミュート：PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ

■ 詳細制御ページ

[プロジェクター コントロール] → [詳細制御] をクリックして、詳細制御のページを表示します。



- 1 自動PC調整機能を実行
- 2 イメージ調整の操作
- 3 スクリーンモード*の制御
- 4 リア投映/天つりの操作

* PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズでは、[ピッチリワイド] は表示されません。



- 5 台形補正*の調整
- 6 レンズシフトの操作
- 7 ズームの操作
- 8 フォーカスの操作
- 9 テストパターンの操作
- 10 初期設定に戻す

* PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズでは、[台形補正] の [左][右] ボタンは、グレーで表示され調整できません。

「ネットワーク」について (つづき)

■ LAN 設定ページ

アドミニストレータ権限で接続した場合に、プロジェクターに関するネットワーク設定を変更することができます。

● LAN 設定

1) メインメニューの [詳細設定] をクリックする

2) LAN 設定を変更するとき、[変更] をクリックする

- 元の画面に戻るには、[戻る] をクリックしてください。

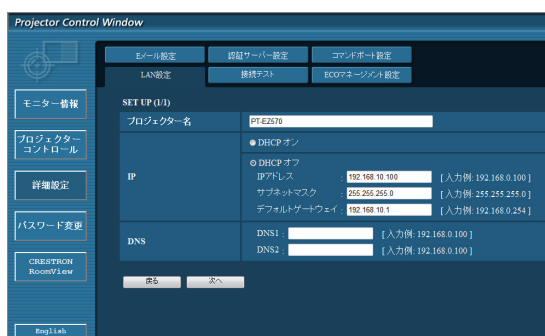
3) 詳細を設定し [次へ] をクリックする

- [次へ] をクリックすると、次のページが表示され、詳細設定が反映されます。

ここでの設定はプロジェクターの [ネットワーク] メニューでの “ ネットワーク設定 ” と同じです。

4) [送信] をクリックする

- これで設定の登録が完了します。



お知らせ

- LAN で接続中に LAN 設定を変更すると、接続が途切れる場合があります。

■ 接続テストページ

ネットワークがメールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどと接続しているかどうかを確認できます。接続テストページを表示するには、[詳細設定] をクリックし、それから [接続テスト] をクリックします。



接続された場合の表示例

```
PING 198.245.80.20 (198.245.80.20): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.20: seq=0 ttl=64 time=0.837 ms
64 bytes from 198.245.80.20: seq=1 ttl=64 time=0.483 ms
64 bytes from 198.245.80.20: seq=2 ttl=64 time=0.479 ms
64 bytes from 198.245.80.20: seq=3 ttl=64 time=0.486 ms

--- 198.245.80.20 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.479/0.571/0.837 ms
```

接続できなかった場合の表示例

```
PING 198.245.80.15 (198.245.80.15): 56 data bytes

--- 198.245.80.15 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

- 1 テストするサーバーのIP アドレスの入力。
- 2 テストの実行ボタン。

■ ECO マネージメント設定ページ

省電力の設定ができます。

[詳細設定] をクリックし、それから [ECOマネージメント設定] をクリックします。

設定後、[送信] ボタンをクリックして実行します。



- 1 画面の明るさを選択してください。
- 2 省エネ設定*の詳細を選択してください。
- 3 無信号になってからのカウントダウン時間を設定してください。

* PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズでは、[省エネ設定] 項目に [AV ミュート連動] が追加で表示されます。

「ネットワーク」について (つづき)

■ E メール設定ページ

エラー発生時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいたE メールアドレス (最大2か所) にメールが送信されます。

[詳細設定] をクリックし、それから [E メール設定] をクリックします。



- 1 E メール機能を使用する場合は有効を選択してください。
- 2 E メールサーバー (SMTP) のIP アドレスかサーバー名を入力してください。サーバー名を入力する場合はDNS サーバーの設定が必要です。
- 3 プロジェクターのE メールアドレスを入力してください。(半角で63文字まで)
- 4 Eメールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。(半角で63文字まで)
- 5 温度警告メールの最短時間間隔を変更できます。初期値は60分です。この場合、温度警告メールを送信後60分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。
- 6 温度警告メール用の設定温度を変更できます。温度警告メールを送る時の吸気センサーの温度を設定してください。



- 1 送信する宛先のE メールアドレス1を入力してください。
- 2 E メールを送信する条件を選択します。

メール内容:	[通常] か [簡易] かを選択してください。
エラー発生時:	自己診断でエラーが発生した場合。
ランプ使用時間:	ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定された時間になった場合。
吸気センサー温度:	吸気温度が上欄に設定された値になった場合。

■ E メール設定ページ (つづき)



1 送信する宛先のE メールアドレス2を入力してください。

2 E メールを送信する条件を選択します。

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| メール内容: | [通常] か [簡易] を選択してください。 |
| エラー発生時: | 自己診断でエラーが発生した場合。 |
| ランプ使用時間: | ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定された時間になった場合。 |
| 吸気センサー温度: | 吸気温度が上欄に設定された値になった場合。 |

■ 認証サーバー設定ページ

メール送信にPOP認証またはSMTP認証が必要な場合は、このページで設定します。
[詳細設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



- 1 インターネットプロバイダー側が指定する認証方法を選択してください。
- 2 SMTP 認証を選択した場合には、これを設定してください。
- 3 POPサーバー名の入力欄。
使用可能な文字： 英数字 (A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9) マイナス記号(-) ピリオド(.)
- 4 POPまたはSMTP サーバーのユーザー 名入力欄。

- 5 POPサーバーまたはSMTPサーバーのパスワード入力欄。
- 6 SMTPサーバーのポート番号を入力してください (通常は25です)。
- 7 POPサーバーのポート番号を入力してください (通常は110です)。
- 8 設定の更新ボタン。

「ネットワーク」について (つづき)

■ 送信するメール内容

- Eメール設定を確立した時、下記の内容のメールが送信されます。

```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type       : PT-EZ570
Serial No           : 000000000
----- E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME        at [ 60] minutes interval
INTAKE AIR TEMPERATURE Over [ 32degC / 89degF ]

ERROR               [ OFF ]
LAMP RUNTIME        [ OFF ]   at REMAIN [ 400] H
LAMP RUNTIME        [ OFF ]   at REMAIN [ 200] H
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OFF ]

----- check system -----
MAIN CPU BUS        [ OK ]
FAN                 [ OK ]
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME    [ OK ]
LAMP STATUS         [ OK ]
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]
SHUTTER            [ OK ]
AIR FILTER          [ OK ]
FILTER UNIT        [ OK ]

(Error code 00 00 00 00 00 00 00 00)

Intake air temperature   :[ 31 degC / 87 degF ]
Around lamp temperature  :[ 37 degC / 98 degF ]
Optics module temperature :[ 39 degC / 102 degF ]

PROJECTOR RUNTIME        1 H

LAMP ECO                 500 H
LAMP NORMAL              300 H
LAMP REMAIN              2400 H

----- Current status -----
MAIN VERSION             1.00
NETWORK VERSION          1.00
LAMP STATUS              LAMP=ON
INPUT                   RGB
SIGNAL NAME              XGA6
SIGNAL FREQUENCY        0.00kHz / 0.00Hz

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client             OFF
IP address              192.168.10.100
MAC address             04:20:9A:00:00:00

----- Memo -----
```


- エラーが発生した時、下記の内容のメールが送信されます。

```

=== Panasonic projector report (ERROR) ===
Projector Type      : PT-EZ570
Serial No          : 000000000
----- check system -----
FAN                [ OK ]
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME    [ OK ]
LAMP STATUS        [ FAILED ]
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]
SHUTTER            [ OK ]
AIR FILTER         [ OK ]
FILTER UNIT        [ OK ]

(Error code 00 40 00 00 00 00 08)

Intake air temperature  : [ 31 degC / 87 degF ]
Around lamp temperature : [ 37 degC / 98 degF ]
Optics module temperature : [ 39 degC / 102 degF ]

PROJECTOR RUNTIME      1 H

LAMP ECO               500 H
LAMP NORMAL            300 H
LAMP REMAIN            2400 H

----- Current status -----
MAIN VERSION           1.00
NETWORK VERSION        1.00
LAMP STATUS            LAMP=OFF
INPUT                  NETWORK

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client            OFF
IP address             192.168.10.100
MAC address            04:20:9A:00:00:00

----- Memo -----
    
```

■ コマンドポート設定ページ

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定してください。
 [詳細設定] → [コマンドポート設定] をクリックします。



- 1 コマンドコントロールで使用されるポート番号を入力してください
- 2 設定更新ボタン

「ネットワーク」について (つづき)

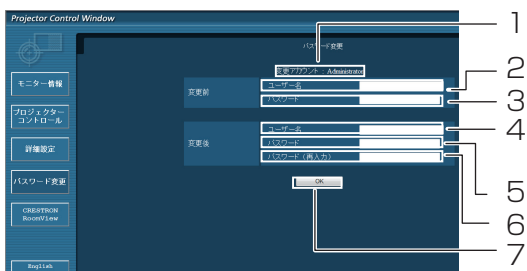
■ パスワード変更ページ

[パスワード変更] をクリックします。



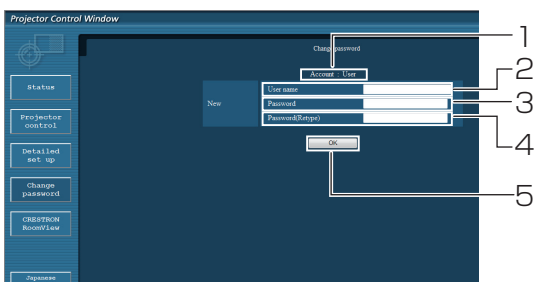
- 1 Administrator (アドミニストレータ) を選択
- 2 User (ユーザー) を選択

Administrator (アドミニストレータ) について



- 1 変更を行うアカウントの表示
- 2 変更前のユーザー名入力欄
- 3 変更前のパスワード入力欄
- 4 変更後のユーザー名入力欄
- 5 変更後のパスワード入力欄
- 6 変更後のパスワード(確認)入力欄
- 7 パスワード変更実行ボタン

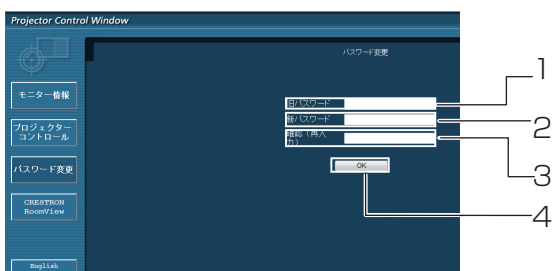
User (ユーザー) について



- 1 変更を行うアカウントの表示
- 2 変更後のユーザー名入力欄
- 3 変更後のパスワード入力欄
- 4 変更後のパスワード(確認)入力欄
- 5 パスワード変更実行ボタン

パスワード変更 (ユーザー権限)

ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



- 1 旧パスワード入力欄
- 2 新パスワード入力欄
- 3 新パスワード(確認)入力欄
- 4 パスワード変更実行ボタン

お知らせ

- 管理者アカウントを変更する際には、『変更前のユーザー名』、『変更前のパスワード』が必要です。
- アカウント入力なしでは利用できません。
- 管理者アカウントとユーザーアカウントに同一の値は設定できません。

■ CRESTRON RoomView ページ

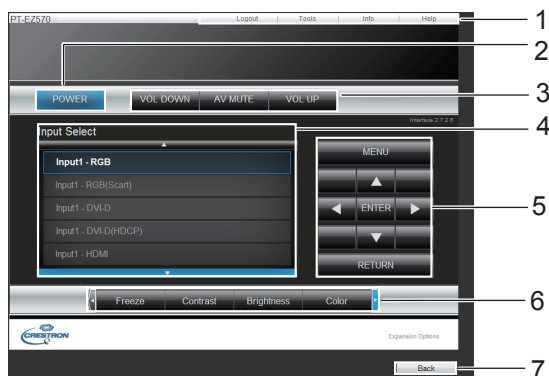
RoomViewでプロジェクターの監視/制御を行うことができます。

Webコントロール画面からRoomViewの操作ページを起動するには、アドミニストレーター権限でアクセスする必要があります。(ユーザー権限では、Webコントロール画面に[CRESTRON RoomView]ボタンが表示されません。)

[CRESTRON RoomView]ボタンをクリックすると、RoomViewの操作ページが表示されます。

ご使用のコンピューターにAdobe Flash Playerがインストールされていない場合、もしくはFlashに対応していないブラウザでは表示されません。その場合、操作ページの[Back]をクリックして前のページに戻ってください。

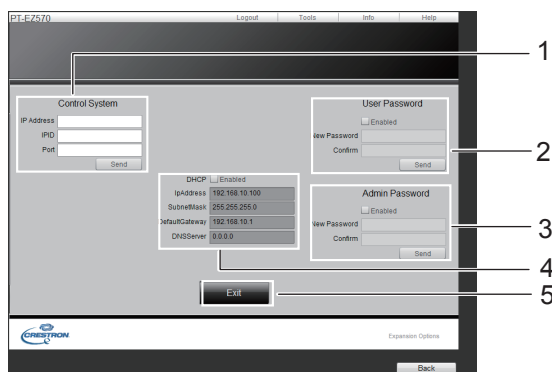
● 操作ページ



- 1 **[Tools] [Info] [Help]**
プロジェクターの設定/情報/ヘルプページに切り換えるタブです。
- 2 **[POWER]**
電源の切/入を切り換えます。
- 3 **[VOL DOWN] [AV MUTE] [VOL UP]**
音量/AVミュートの操作をします。
プロジェクターの電源が切れている場合、これらの操作はできません。
- 4 **[Input Select]**
入力切り換えの操作をします。
プロジェクターの電源が切れている場合、この操作はできません。
- 5 **メニュー画面の操作ボタン**
メニュー画面の操作をします。
- 6 **フリーズ/画質調整**
フリーズ/画質に関する項目の操作をします。
- 7 **[Back]**
前のページへ戻る操作をします。

● [Tools] ページ

操作ページで [Tools] をクリックします。

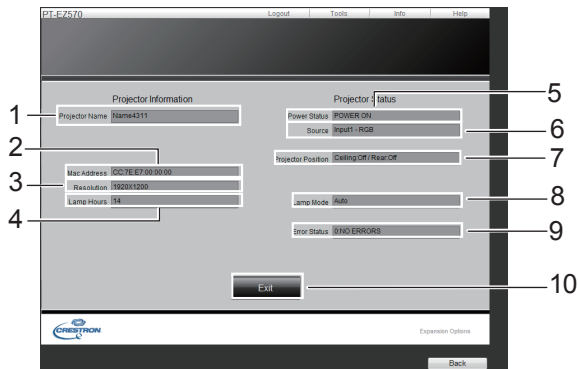


- 1 **[Control System]**
プロジェクターに接続するコントローラーとの通信に必要な情報を設定します。
- 2 **[User Password]**
RoomViewの操作ページ内でのユーザー権限パスワードを設定します。
- 3 **[Admin Password]**
RoomViewの操作ページ内でのアドミニストレーター権限パスワードを設定します。
- 4 **[Network Status]**
有線LANの設定内容を表示します。
[DHCP]
[Ip Address]
[Subnet Mask]
[Default Gateway]
[DNS Server]
いずれも現在設定している値を表示します。
- 5 **[Exit]**
操作ページに戻ります。

「ネットワーク」について (つづき)

● [Info] ページ

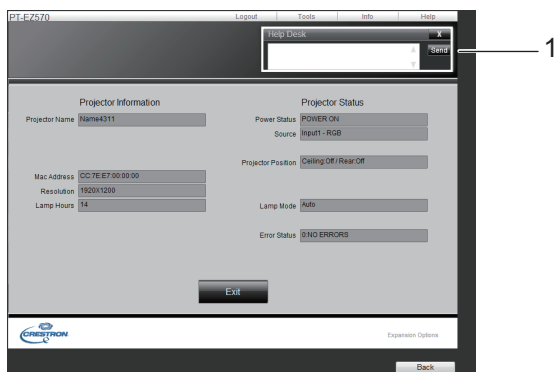
操作ページで [Info] をクリックします。



- 1 **[Projector Name]**
プロジェクター名を表示します。
- 2 **[Mac Address]**
MACアドレスを表示します。
- 3 **[Resolution]**
解像度を表示します。
- 4 **[Lamp Hours]**
ランプの使用時間 (換算値) を表示します。
- 5 **[Power Status]**
電源の状態を表示します。
- 6 **[Source]**
選択している映像入力を表示します。
- 7 **[Projector Position]**
投写モード (天つり/リア投映) を表示します。
- 8 **[Lamp mode]**
ランプモードを表示します。
- 9 **[Error Status]**
エラーの状態を表示します。
- 10 **[Exit]**
操作ページに戻ります。

● [Help] ページ

操作ページで [Help] をクリックします。
[Help Desk] ウィンドウが表示されます。



- 1 **[Help Desk]**
Crestron RoomViewを利用する管理者に対してメッセージの送受信ができます。

インジケータの表示について

インジケータが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、〈TEMP〉インジケータ / 〈FILTER〉インジケータ / 〈SHUTTER*/AV MUTE*〉インジケータ / 〈LAMP〉インジケータが点灯や点滅でお知らせします。インジケータの状態を調べて、次の処置を行ってください。

- * 〈SHUTTER〉インジケータ：PT-EZ570 シリーズ、PT-EW630 シリーズ、PT-EX600 シリーズのみ
 〈AV MUTE〉インジケータ：PT-EW530 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ

注意

- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(P.37 ページ)
- 複数のインジケータが点灯や点滅した場合は、それぞれのインジケータの状態を確認して処置を行ってください。

お知らせ

- 電源の状態は、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータで確認してください。

■ 正常な動作のとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲：消灯、●：点灯、★：点滅、■：不灯・点灯・点滅のいずれか

インジケータ					プロジェクターの状態
〈ON(G)/STANDBY(R)〉 緑 / 赤 / 橙	〈TEMP〉 赤	〈FILTER〉 橙	〈SHUTTER/ AV MUTE〉 青	〈LAMP〉 橙	
▲/▲/▲	▲	▲	▲	▲	電源プラグがコンセントから抜けています。
▲/●/▲	■*1	■*1	■*1	■*1	本機はスタンバイモードになっています。リモコンの〈POWER ON〉ボタンまたは本体操作部の〈ON/ 〉を押すと電源が入ります。
●/▲/▲	■*1	■*1	■*1	■*1	本機は正常に動作しています。
▲/▲/★*2	■*1	■*1	■*1	■*1	ランプの冷却中です。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが赤の点灯になるまで、リモコンの〈POWER ON〉ボタンまたは本体操作部の〈ON/ 〉ボタンを押しても電源は入りません。
★*2/▲/▲	■*1	■*1	■*1	■*1	パワーマネジメントモードになっています。本機を操作するとランプが点灯し、本機が動作をはじめます。
▲/▲/★*2	■*1	■*1	■*1	■*1	パワーマネジメントモードへ移行中で、ランプの冷却中です。
●/▲/▲	■*1	■*1	●	■*1	シャッターが閉じています。リモコンまたは本体操作部のどのボタンを押しても解除できません。
▲/●/▲	■*1	■*1	★*2	■*1	シャッターマネジメントモードになっています。本機を操作するとランプが点灯し、本機が動作をはじめます。
▲/▲/★*2	■*1	■*1	★*2	■*1	シャッターマネジメントモードへ移行中で、ランプの冷却中です。

*1：他のインジケータの状態にかかわらず、条件の違いによって変化します。



*2：約 1 秒間隔でインジケータが点滅します。

インジケータの表示について (つづき)

■ 内部の温度に異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲: 消灯、●: 点灯、★: 点滅、■: 不灯・点灯・点滅のいずれか

インジケータ					プロジェクターの状態
〈ON(G)/STANDBY(R)〉 緑 / 赤 / 橙	〈TEMP〉 赤	〈FILTER〉 橙	〈SHUTTER/ AV MUTE〉 青	〈LAMP〉 橙	
●/▲/▲	★*1	■*2	■*2	■*2	本機の内部温度が高くなると、〈TEMP〉インジケータが低速で点滅を始めます。
▲/▲/★*3	★*4	■*2	■*2	■*2	本機の内部温度がさらに高くなると、〈TEMP〉インジケータが高速の点滅に変わり、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが点滅を始め、内部の冷却後に自動的に電源が切れます。 冷却中は、リモコンの〈POWER ON〉ボタンまたは本体操作部の〈  /I〉ボタンを押しても電源は入りません。 内部の冷却が完了し正常な温度に戻ると〈ON(G)/STANDBY(R)〉が点灯に変わります。このとき、〈TEMP〉インジケータは点滅したままです。
▲/●/▲	★*4	■*1	■*1	■*1	内部の冷却が完了し正常な温度に戻りました。リモコンの〈POWER ON〉または本体操作部の〈  /I〉ボタンを押すと〈TEMP〉インジケータの点滅が消え、本機の動作が開始します。 エアフィルターユニットの点検などを行ってください。

*1 : 約 2 秒間隔でインジケータが点滅します。

*2 : 他のインジケータの状態にかかわらず、条件の違いによって変化します。

*3 : 約 1 秒間隔でインジケータが点滅します。

*4 : 約 0.5 秒間隔でインジケータが点滅します。

インジケータの表示について (つづき)

■ 内部電源に異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲: 消灯、●: 点灯、★: 点滅、■: 不灯・点灯・点滅のいずれか

インジケータ					プロジェクターの状態
<ON(G)/STANDBY(R)> 緑 / 赤 / 橙	<TEMP> 赤	<FILTER> 橙	<SHUTTER/ AV MUTE> 青	<LAMP> 橙	
▲/▲/★*1	★*1	★*1	★*1	★*1	本機の内部に異常が検出されました。リモコンの<POWER ON> ボタンまたは本体操作部の<ON/OFF> ボタンを押しても電源は入りません。一度電源プラグをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯または点滅するときは、電源プラグをコンセントから抜き、点検と修理をお買い上げの販売店にご依頼ください。点灯または点滅したまま放置しないでください。火災や感電の原因になります。

*1: 約 0.5 秒間隔でインジケータが点滅します。

■ エアフィルターユニットに関するお知らせまたは異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲: 消灯、●: 点灯、★: 点滅、■: 不灯・点灯・点滅のいずれか

インジケータ					プロジェクターの状態
<ON(G)/STANDBY(R)> 緑 / 赤 / 橙	<TEMP> 赤	<FILTER> 橙	<SHUTTER> 青	<LAMP> 橙	
●/■*1/■*1	■*1	●	■*1	■*1	[フィルターカウンタータイマー] で設定した時間に達しました。同時にフィルター交換アイコンが画面右上に表示されます。または、[フィルターカウンター残り] が 0% になったことをお知らせしています。エアフィルターユニットを交換してください。
▲/●/▲	★*2	★*2	★*2	★*2	エアフィルターユニットが装着されていない場合、本機はシャットダウンします。エアフィルターユニットを装着してください。

*1: 他のインジケータの状態にかかわらず、条件の違いによって変化します。

*2: 約 0.5 秒間隔でインジケータが点滅します。

*3: [オンスクリーン表示] (🔍 61 ページ) を [オフ] に設定しているとき、静止機能 (🔍 41 ページ) またはシャッター機能 (🔍 39 ページ) が動作中のときは画面表示はありません。

インジケータの表示について (つづき)

■ ランプに異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲: 消灯、●: 点灯、★: 点滅、■: 不灯・点灯・点滅のいずれか

インジケータ					プロジェクタの状態
<ON(G)/STANDBY(R)> 緑 / 赤 / 橙	<TEMP> 赤	<FILTER> 橙	<SHUTTER/ AV MUTE> 青	<LAMP> 橙	
▲/▲/★*2	■*1	■*1	■*1	★*2	ランプが点灯せず、ランプの冷却中です。
▲/●/▲	■*1	■*1	■*1	★*2	ランプ不点灯による冷却後、ランプの冷却が完了し、正常な温度に戻りました。
■*1/■*1/■*1	■*1	■*1	■*1	●	ランプ交換推奨時間に達しました。同時にランプ交換アイコンが画面の右上に表示されます。速やかにランプユニットを交換してください。交換すると<LAMP>インジケータは消えます。

*1: 他のインジケータの状態にかかわらず、条件の違いによってインジケータは変化します。

*2: 約 1 秒間隔でインジケータが点滅します。

■ シャッターに異常があるとき (シャッター搭載機種のみ)

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲: 消灯、●: 点灯、★: 点滅、■: 不灯・点灯・点滅のいずれか

インジケータ					プロジェクタの状態
<ON(G)/STANDBY(R)> 緑 / 赤 / 橙	<TEMP> 赤	<FILTER> 橙	<SHUTTER> 青	<LAMP> 橙	
▲/▲/★*2	■*1	■*1	★*2	■*1	シャッターに異常が発生し、冷却中です。
▲/●/▲	■*1	■*1	★*2	■*1	シャッター異常発生による冷却後、冷却が完了し、正常な温度に戻りました。
■*1/■*1/■*1	■*1	■*1	★*2	■*1	シャッターに異常が発生し、開閉できなくなりました。

*1: 他のインジケータの状態にかかわらず、条件の違いによってインジケータは変化します。

*2: 約 0.5 秒間隔でインジケータが点滅します。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- 本機のお手入れや部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。(☞ 33、37 ページ)
- 電源を切るときは「電源を切る」(☞ 37 ページ) の手順を必ずお守りください。

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりは、やわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。これらの溶液を使用すると、外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

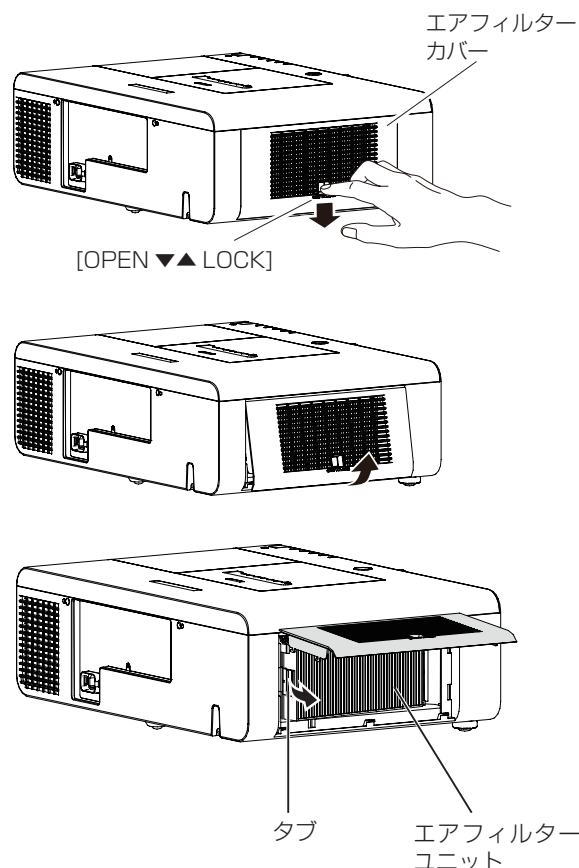
- レンズはガラス部品です。堅いものに当てたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

■ エアフィルターユニット

次の場合はエアフィルターのお手入れを行ってください。

- 目づまりが発生し、画面上に交換アイコンが表示され、〈FILTER〉インジケーターが点灯した場合。
- 目づまりが発生し、本機内部温度が高温になり、〈TEMP〉インジケーターが点滅し、電源が切れた場合。(電源が切れると〈TEMP〉インジケーターが点滅し、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが点灯します。)

- 1) 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 2) エアフィルターカバーの吸気口付近のごみやほこりを取り除く
- 3) エアフィルターカバーの [OPEN ▼ ▲ LOCK] 表示の凹部に指をかけて、図の矢印方向に押し、ロックを解除し、エアフィルターカバーを開く
- 4) エアフィルターユニットを引き出す
 - エアフィルターユニットを取り出すときは、エアフィルターユニットのタブとフレームをつまみ、タブを図の右方向に押しながらロックを外し、引き出します。



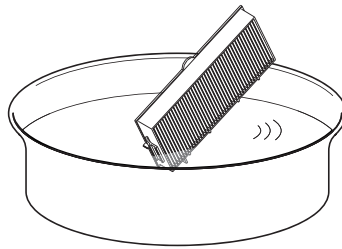
5) エアフィルターユニットの掃除をする

● エアフィルターユニットのほこりを取り除く

- (i) 掃除機などでほこりを取り除く
 - ・ それでもきれいにならないときは水洗いをしてください。

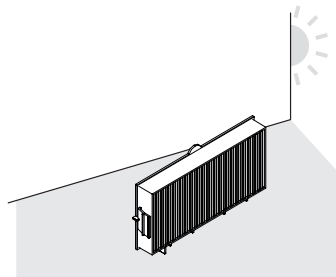
● エアフィルターユニットの洗浄

- (i) 水またはぬるま湯につけ、軽くゆすぐ
 - ・ ブラシや洗剤などの洗浄器具は使用しないでください。
 - ・ ゆすぐ際は、エアフィルターユニットの枠を持ち、フィルター部に強い力をかけないようにしてください。
- (ii) 2～3回、新しい水ですすぎ洗いをする
 - ・ 水がきれいになるまですすいでください。すすぎが不十分だとにおいの原因になります。



● エアフィルターの乾燥

- ほこりが少なく、直射日光の当たらない風通しの良い所で自然乾燥させてください。
 - ・ ・ ドライヤーなどの乾燥器具を用いて乾燥させないでください。



6) エアフィルターユニットを取り付ける

- エアフィルターユニットを取り付けるときは、エアフィルターユニットのタブを前ページの図の左側になるように持ち、図の右側から先に入れた後、タブ側をカチッと音がするまで押します。

7) エアフィルターカバーを閉じる

- エアフィルターカバーが隙間なく閉まっていることを確認します。

8) フィルターカウンターをリセットする

- 電源を入れ、[設定]メニューの[フィルターカウンターリセット]を実行します。(👁️ 68 ページ)

お願い

- エアフィルターユニットの掃除を行う前に、必ず本機の電源をお切りください。
- エアフィルターを洗浄した際は、十分に乾燥させてから本体に取り付けてください。ぬれたまま取り付けると、感電や故障の原因となります。

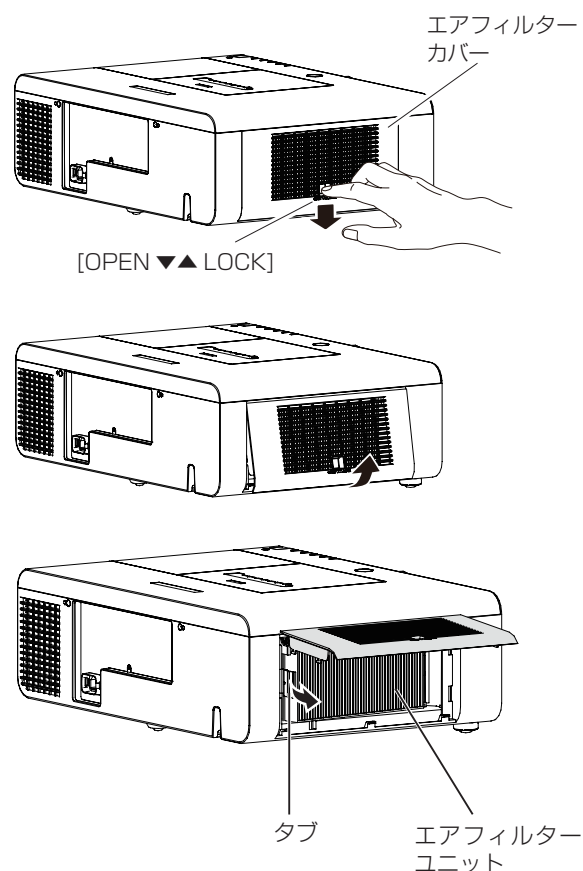
お知らせ

- エアフィルターは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- エアフィルターを破損した場合や洗っても汚れが目立つ場合は、新しい交換用フィルター（品番：ET-RFE200）に交換してください。
- 洗浄によるリサイクルは2回を目安に新品と交換することをお勧めします。
- 洗浄後のフィルターの性能は、初期に比べて低下することがあります。
- エアフィルターの洗浄後、フィルターカウンターをリセットしないと安全のため電源が切れるおそれがあります。

部品交換

■ エアフィルターユニットの交換

- 1) 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 2) エアフィルターカバーの吸気口付近のごみやほこりを取り除く
- 3) エアフィルターカバーの [OPEN ▼ ▲ LOCK] 表示の凹部に指をかけて、図の矢印方向に押し、ロックを解除し、エアフィルターカバーを開く
- 4) エアフィルターユニットを引き出す
 - エアフィルターユニットを取り出すときは、エアフィルターユニットのタブとフレームをつまみ、タブを図の右方向に押しながらロックを外し、引き出します。
- 5) 新しいエアフィルターユニット（交換用フィルターユニット）を本機に取り付ける
 - エアフィルターユニットを取り付けるときは、エアフィルターユニットのタブを図の左側になるように持ち、図の右側から先に入れた後、タブ側をカチッと音がするまで押し込みます。
- 6) エアフィルターカバーを閉じる
 - エアフィルターカバーが隙間なく閉まっていることを確認します。
- 7) フィルターカウンターをリセットする
 - 電源を入れ、[設定] メニューの [フィルターカウンターリセット] を実行します。(☞ 68 ページ)



お願い

- エアフィルターユニットの交換を行う前に、必ず本機の電源をお切りください。
- 取り付けに際しては、必ず本機の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。
- 本機の電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、自動で電源が切れます。
- 吸気口の穴から物などを差し込まないでください。故障の原因となります。
- エアフィルターの交換後、フィルターカウンターをリセットしないと安全のため電源が切れるおそれがあります。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。インフォメーションメニュー (👁️ 69 ページ) のランプ使用時間から累計使用時間を確認できます。

ランプユニットの交換は、専門の技術者に依頼することをお勧めします。または、販売店にご相談ください。交換用のランプユニット (品番: ET-LAE200) をご購入の際は、販売店にご相談ください。



警告

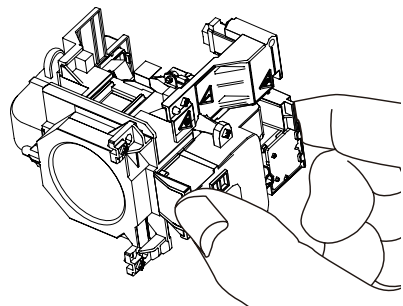
■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待つ) 行う



カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■ ランプユニット交換上のお願ひ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物にぶつかけたり、落としたりすると破裂する場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手の部分を持ってください。
- ランプが点灯しなくなった場合は、ランプが破損しているおそれがあります。天つりしているプロジェクターのランプユニットを交換するときは、ランプカバーの真下には立たずに安全な位置で交換してください。ランプカバーはゆっくり開けてください。ランプカバーを開けると、ランプのガラス片が落下する可能性があります。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。





お願ひ

- 指定のランプユニット以外は使用しないでください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。ランプユニットの寿命が無くなると、ランプ交換アイコンが表示され、〈LAMP〉インジケーターが橙色に点灯します。そのような場合は、速やかにランプを交換してください。

ランプ使用時間	オンスクリーン表示 ランプ交換アイコン 	〈LAMP〉 インジケーター 
3 000 時間以降	メッセージが 10 秒間表示されます。10 秒以内に任意のボタンを押すと、メッセージが消えます。	橙色に点灯する (スタンバイモード時も同様)。
3 200 時間以降 *	左記の時間を過ぎてもランプ交換しないまま使用すると、本機保護のため約 10 分後に電源が自動的に切れます。	

* ランプ使用時間は、ランプパワーの設定に応じて変化します。3 200 時間は交換の目安であり、保証期間ではありません。保証期間については 115 ページの「保証とアフターサービス」をご覧ください。

お知らせ

- [オンスクリーン表示] が [オフ] に設定されている時 (👁️ 61 ページ)、または静止中 (👁️ 41 ページ) はランプ交換アイコンは表示されません。

■ ランプユニットの交換

お願い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットやランプカバーは確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、ランプユニットをいったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクター部分が破損する場合があります。
- 指定のねじ以外は取り外したり、緩めたりしないでください。

1) 「電源を切る」(☞ 37 ページ) の手順に従い、本機の電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニットとその周辺が冷めるのを少なくとも 1 時間待つ

2) ランプカバー固定ねじをプラスドライバーで緩めて、ランプカバーを開ける

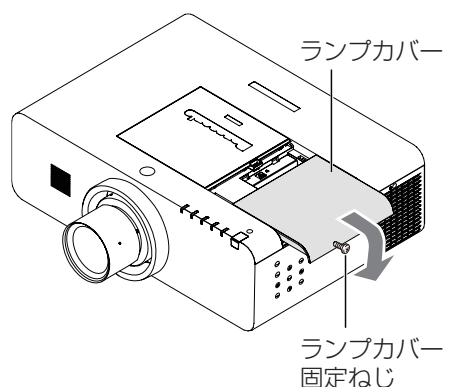
- ランプカバーを取り外す際は、右図に示すように矢印の方向にゆっくりとスライドさせながら、本体の側面に立てた状態にしてください。

3) ランプユニット固定ねじ (3 本) をプラスドライバーで緩めて、ランプユニットの取っ手部分を持ち、ゆっくりと本体から引き出す

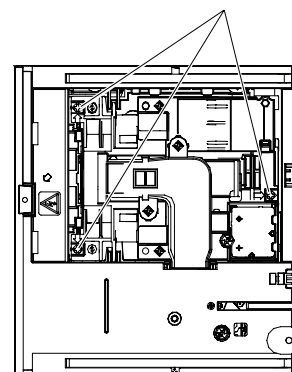
4) 新しいランプユニットを挿入位置に注意しながら確実に押し込み、ランプユニット固定ねじ (3 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける

5) ランプカバーを閉じ、ランプカバーの固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける

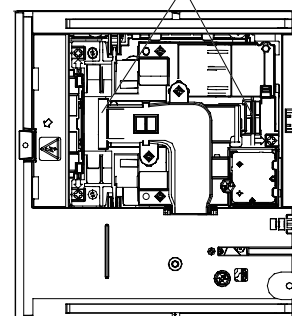
- ランプカバーは、ゆっくりと閉じてください。



ランプユニット固定ねじ



取っ手




お知らせ

- 新しいランプユニット (品番: ET-LAE200) に交換した場合、本体側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。

故障かな!?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。 ● ブレーカーが落ちていませんか。 ● 〈LAMP〉インジケータ、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータ、〈TEMP〉インジケータが点灯または点滅していませんか。 ● ランプカバーが確実に閉じられていますか。 	— — — 29, 87～90 94
映像がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。 ● 入力切り換えは正しく選択されていますか。 ● [明るさ] の調整が最小になっていませんか。 ● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。 ● [シャッター] 機能を使用していませんか。 	28 35 49 — 35
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"> ● レンズのフォーカスは合っていますか。 ● 本機とスクリーンとの間の投写距離は適切ですか。 ● レンズが汚れていませんか。 ● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。 ● レンズキャップが取り付けたままになっていませんか。 	34 24 12 — —
色が薄い / 色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● [色の濃さ]、[色合い] は正しく調整されていますか。 ● 本機に接続している外部機器は正しく調整されていますか。 ● コンピューターケーブルが切れていませんか。 	49 — —
内蔵スピーカーから音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力端子の接続は適切ですか。 ● 音量が最小レベルになっていませんか。 ● [シャッター] 機能を使用していませんか。 ● 〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子に外部スピーカーを接続していると、内蔵スピーカーから音はでません。 ● [消音] 機能がオンになっていませんか。 ● [内蔵スピーカー] 機能がオフになっていませんか。 	28 36, 55 35 20 36, 55 55
リモコンがはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか。 ● 電池の極性は正しくセットされていますか。 ● リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。 ● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。 ● 蛍光灯や日光などの影響を受けていませんか。 ● 本機とリモコンのコードが異なっていませんか。 ● リモコンの ON/OFF スイッチが ON になっていますか。 ● リモコンの [シンプルモード] がオフになっていますか。 	— 21 16 16 16 60 — 60
本体操作部のボタンがはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> ● [設定] → [セキュリティ] → [キーロック] で、プロジェクター側がキーロックされているときは、本体操作部は利用できません。 	62

症状	ここをお調べください	ページ
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。 	— 106 ~ 110
コンピューターからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルが長くありませんか。 ● ノート型コンピューターの外部映像出力が正しく設定されていますか。 	— —
HDMI 対応機器からの映像が映らない、乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。 ● 本機の電源および接続機器の電源を「切」 / 「入」してください。 ● 対応外の信号がつながっていませんか。 	28 — 106 ~ 110
HDMI 対応機器の音声がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。 ● HDMI ケーブル接続で音声がでない場合は、[HDMI 設定] の [サウンド] を [AUDIO 1] に設定して、アナログ音声信号を〈AUDIO IN 1〉端子に接続してください。 	— 59
映像がゆがむ、またははみ出る	<ul style="list-style-type: none"> ● [PC 調整] または [スクリーン] を確認して、適宜調整してください。 	46, 54
ボタンを押すと  が表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● その操作は無効です。接続、入力信号、設置状況を確認してください。 	—
シャッターが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● [シャッター] 機能の [保護] または [解除キー] を確認してください。 	62

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能はPJLink クラス1に対応しています。そのためPJLinkプロトコルを使用して、コンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態に関する問い合わせの操作ができます。

■ 対応コマンド

PJLinkプロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問い合わせ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォーミングアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11 = RGB1 12 = RGB2 13 = Scart 21 = VIDEO 1 22 = VIDEO 2 23 = S-VIDEO 24 = COMPONENT 1 25 = COMPONENT 2 31 = DIGITAL 1 32 = DIGITAL 2 33 = DIGITAL 3 46 = INPUT 1 47 = INPUT 2 48 = INPUT 3
INPT ?	入力切り換え問い合わせ	
AVMT	AVミュート制御	パラメーター 30 = AVミュートモード オフ 31 = AVミュートモード オン
AVMT ?	AVミュート状態問い合わせ	
ERST ?	エラー状態問い合わせ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: 0 固定 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問い合わせ	パラメーター 1つ目の数字 (1 ~ 5桁) : ランプ積算時間 2つ目の数字: 0 = ランプ 消灯, 1 = ランプ 点灯
INST ?	入力切り換え一覧問い合わせ	パラメーターは下記の値を応答します。 『11, 12, 13, 21, 22, 23, 24, 25, 31, 32, 33, 46, 47, 48』
NAME ?	プロジェクター名問い合わせ	[ネットワーク] の [プロジェクター名] で設定した名称を応答します。
INF1 ?	メーカー名問い合わせ	『Panasonic』と応答します。
INF2 ?	機種名問い合わせ	『EZ570』、『EW630』、『EW530』、『EX600』または『EX500』として機種名を応答します。
INFO ?	その他情報問い合わせ	バージョン番号などを応答します。
CLSS ?	クラス情報問い合わせ	『1』と応答します

■ PJLink セキュリティー認証

PJLinkを使用するパスワードは、WEB制御で設定したパスワードと同じです。(☞ 84 ページ)

認証なしで使用する場合は、WEB制御のパスワードをなしに設定してください。PJLink に関する仕様については(社)ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

PJLink に関する仕様については(社)ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

LAN 経由の制御コマンドについて

■ WEB 制御アドミニストレータ権限パスワード設定時 (プロテクトモード)

● 接続方法

- 1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値= 1 024) を取得してプロジェクターへ接続を要求してください。

IPアドレスはプロジェクター本体メニュー画面、ポート番号はWEB制御ページから取得できます。

IPアドレス: メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークステータス] から取得

ポート番号: WEB制御の [詳細設定] → [コマンドポート設定] から取得

- 2) プロジェクターからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
『NTCONTROL』 (ASCII文字列)	「 」 0x20	「1」 0x31	「 」 0x20	『zzzzzzzz』 (ASCIIコード16進数)	(CR) 0x0d
9バイト	1バイト	1バイト	1バイト	8バイト	1バイト

モード:1 =プロテクトモード

- 3) MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

『xxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz』

xxxxxx: WEB制御のアドミニストレータ権限ユーザー名 (デフォルトのユーザー名は『admin1』)

yyyyy: 上記アドミニストレータ権限ユーザーのパスワード (デフォルトのパスワードは『panasonic』)

zzzzzzzz: 手順2) で取得した8バイトの乱数

● コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部		終端記号
ハッシュ値 (上記「接続方法」参照)	'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII文字列)	(CR) 0x0d
32バイト	1バイト	1バイト	不定長	1バイト

受信データ

ヘッダー		データ部		終端記号
'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII文字列)		(CR) 0x0d
1バイト	1バイト	不定長		1バイト

エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR) 0x0d
"ERR2"	パラメーター範囲外	
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	誤ったデータの長さ	
"ERRA"	パスワード不一致	
4バイト		1バイト

■ WEB 制御アドミニストレータ権限パスワード非設定時 (非プロテクトモード)

● 接続方法

- 1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値= 1 024) を取得してプロジェクターへ接続を要求してください。

IPアドレスはプロジェクター本体メニュー画面、ポート番号はWEB制御ページから取得できます。

IPアドレス: メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークステータス] から取得

ポート番号: WEB制御の [詳細設定] → [コマンドポート設定] のページ

- 2) プロジェクターからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
『NTCONTROL』 (ASCII文字列)	『 』 0x20	『0』 0x30	(CR) 0x0d
9バイト	1バイト	1バイト	1バイト

モード:0 = 非プロテクトモード

● コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30 1バイト	'0' 0x30 1バイト	制御コマンド (ASCII文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1バイト

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30 1バイト	'0' 0x30 1バイト	制御コマンド (ASCII文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1バイト

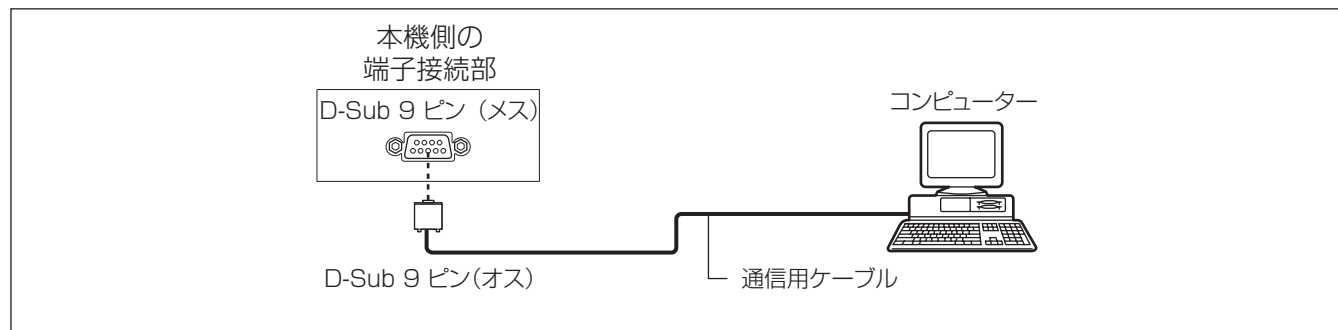
エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR) 0x0d
"ERR2"	パラメーター範囲外	
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	誤ったデータの長さ	
"ERRA"	パスワード不一致	
4バイト		1バイト

シリアル端子について

本機背面の端子接続部の〈SERIAL IN〉端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して、本機をコンピューターで制御できます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン (メス) 外観図	ピン番号	信号名	内容
	①	—	NC
	②	TXD	送信データ
	③	RXD	受信データ
	④	—	NC
	⑤	GND	グラウンド
	⑥	—	NC
	⑦	RTS	内部で接続されています
	⑧	CTS	
	⑨	—	NC

■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	19 200 bps
パリティ	なし

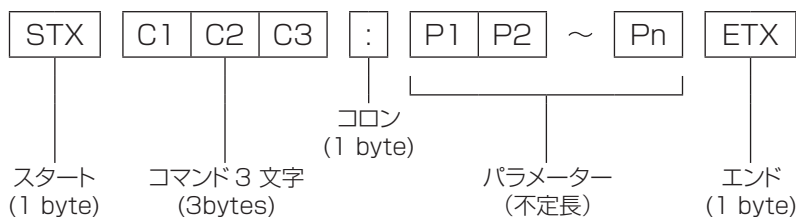
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

お知らせ

- AMX D.D. の機能が [ネットワーク] メニューで [オン] に設定されている場合、ボーレートは自動的に 9 600bps に変更されます。

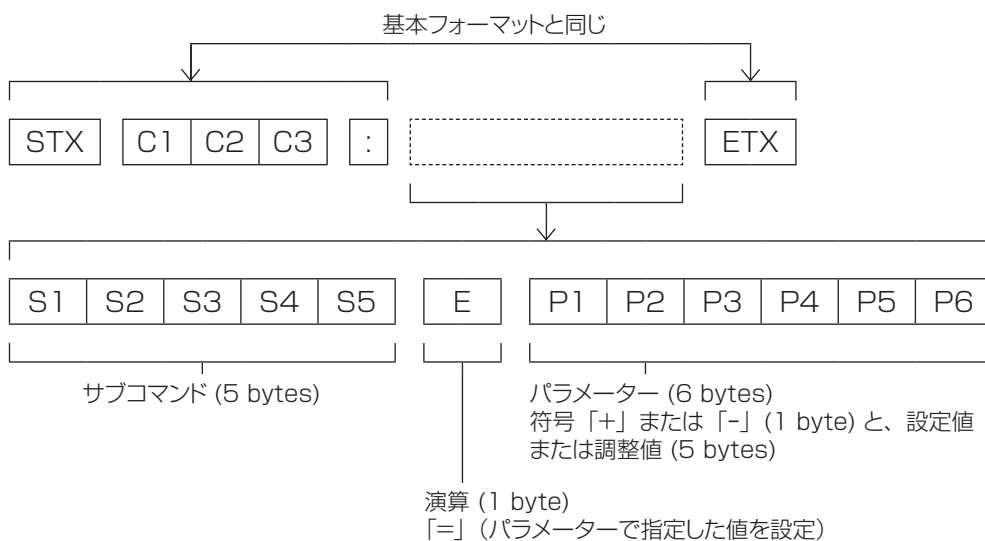
■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で始まり、続いて コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信されます。パラメーターは制御内容に応じて追加してください。



*: パラメーターなしでコマンドを送信する場合は、コロン (:) は不要です。

■基本フォーマット (サブコマンドあり)



*: パラメーター不要のコマンドを送信する場合は、演算 (E) とパラメーターは不要です。

■ ケーブル仕様

〈コンピューターと接続する場合〉

本機	1	NC	NC	1	コンピューター側 (DTE 仕様)
	2			2	
	3			3	
	4	NC	NC	4	
	5			5	
	6	NC	NC	6	
	7			7	
	8			8	
	9	NC	NC	9	

■ 制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

[操作コマンド]

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	
POF	電源「切」	
IIS	入力信号切り換え	(パラメーター) PC1 = PC1 PC2 = PC2 RG1 = コンピューター 1(RGB) RG2 = コンピューター 2(RGB) CP1 = INPUT 2 :Y, Pb/Cb, Pr/Cr CP2 = INPUT 3 :Y, Pb/Cb, Pr/Cr VD1 = INPUT 2 ビデオ VD2 = INPUT 3 ビデオ SVD = S-video DVI = DVI HD1 = HDMI SCT = コンピューター 1(Scart)
OFZ	静止機能	(パラメーター) 0 = オフ 1 = オン
AUU	音量アップ	
AUD	音量ダウン	
DZU	デジタルズームアップ	
DZD	デジタルズームダウン	
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。短時間での オン / オフ の切り換えは行わないでください。 (パラメーター) 0 = オフ 1 = オン
QPW	電源状態問い合わせ	000 = スタンバイ 001 = 電源「入」
Q\$\$	ランプ点灯状態問い合わせ	(コールバック) 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中

その他の端子について

■ 〈S-VIDEO IN〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	GND (輝度信号)
	②	GND (色信号)
	③	輝度信号
	④	色信号

■ 〈RGB〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R/P _R
	②	G/G・SYNC/Y
	③	B/P _B
	④	+5 V
	⑤	DDC データ
	⑥	HD/SYNC
	⑦	VD
	⑧	DDC クロック
	⑨	
	⑩	

④：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑪：GND 端子

■ 〈MONITOR OUT〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R
	②	G
	③	B
	④	HD/SYNC
	⑤	VD
	⑥	

④、⑨、⑪、⑫、⑮：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑬：GND 端子

■ 〈HDMI〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
	①	T.M.D.S データ 2 +	⑪	T.M.D.S クロック シールド
	②	T.M.D.S データ 2 シールド	⑫	T.M.D.S クロック -
	③	T.M.D.S データ 2 -	⑬	CEC
	④	T.M.D.S データ 1 +	⑭	—
	⑤	T.M.D.S データ 1 シールド	⑮	SCL
	⑥	T.M.D.S データ 1 -	⑯	SDA
	⑦	T.M.D.S データ 0 +	⑰	DDC/CEC GND
	⑧	T.M.D.S データ 0 シールド	⑱	+5V
	⑨	T.M.D.S データ 0 -		ホットプラグ検出
	⑩	T.M.D.S クロック+		

■ 〈DVI-D〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号		ピン番号	信号名
	1	T.M.D.S. Data2-	15	グラウンド(+5V の場合)
	2	T.M.D.S. Data2+	16	ホットプラグ検出
	3	T.M.D.S. Data2 シールド	17	T.M.D.S データ0-
	6	DDC クロック	18	T.M.D.S データ0+
	7	DDC データ	19	T.M.D.S データ0 シールド
	9	T.M.D.S. Data1-	22	T.M.D.S クロック シールド
	10	T.M.D.S. Data1+	23	T.M.D.S クロック+
	11	T.M.D.S. Data1 シールド	24	T.M.D.S クロック-
	14	+5V Power		

4, 5, 8, 12, 13, 20, 21 : は未使用です

ピクチャーインピクチャーのリスト

サブ画面 メイン画面		インプット 1					インプット 2			インプット 3		
		RGB (PC アナログ)	RGB (Scart)	DVI-D	DVI-D (HDCP)	HDMI	ビデオ	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	RGB	ビデオ	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	S-video
インプット 1	RGB(PC アナログ)	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RGB(Scart)	x	x	○	○	○	x	○	○	x	○	x
	DVI-D	○	○	x	x	x	○	○	○	○	○	○
	DVI-D(HDCP)	○	○	x	x	x	○	○	○	○	○	○
	HDMI	○	○	x	x	x	○	○	○	○	○	○
インプット 2	ビデオ	○	x	○	○	○	x	x	x	x	x	x
	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	○	○	○	○	○	x	x	x	○	○	○
	RGB	○	○	○	○	○	x	x	x	○	○	○
インプット 3	ビデオ	○	x	○	○	○	x	○	○	x	x	x
	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	○	○	○	○	○	x	○	○	x	x	○
	S-video	○	x	○	○	○	x	○	○	x	○	x

○ : P IN P機能で投写が可能な組み合わせ
 x : P IN P機能で投写が不可能な組み合わせ

お知らせ

- 入力信号に対応していない場合は、メイン/サブ画面に、**x**印が表示されます。
- 入力信号の周波数または信号の種類によって、解像度が低くなったり、メイン/サブ画面に映像が表示されないことがあります。

<解像度が低く投写される>

PCアナログ信号 : 100~162*1 MHz

<投写されず **x** マークが表示される>

- PCアナログ信号 : 162*2 MHz 以上
- PCデジタル信号 : 100 MHz 以上
- AVアナログ信号 : 1 080p

<P IN Pが機能しない>

- 信号フォーマット : SXGA 20. WUXGA 1. WUXGA 2. WSXGA+1. WXGA+2. UXGA 1. UXGA 2. UXGA 3. UXGA 4. D-1080p

*1 : 100 ~ 162 MHz (PT-EZ570 シリーズのみ)

100 ~ 140 MHz (PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズ、PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ)

*2 : 162 MHz 以上 (PT-EZ570 シリーズのみ)

140 MHz 以上 (PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズ、PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズのみ)

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

フォーマット：V = VIDEO、S = S-VIDEO、C = COMPUTER、Y = YP_BP_R、H = HDMI、D = DVI-D

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2			プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-EW630 シリーズ PT-EW530 シリーズ	PT-EX600 シリーズ PT-EX500 シリーズ	PT-EZ570 シリーズ		
NTSC/ NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.700	59.900	—	A	A	A		V/S
PAL/PAL-N/ SECAM	720 x 576i	15.600	50.000	—	A	A	A		V/S
480p	640 x 480	31.470	59.880	25.20	A	A	A		C/Y
480i	640 x 480i	15.734	60.000	12.273	A	A	A		
576p	768 x 576	31.250	50.000	29.500	A	A	A		
576i	768 x 576i	15.625	50.000	14.750	A	A	A		
720p	1 280 x 720	37.500	50.000	74.250	AA	A	A		
		45.000	60.000	74.250	AA	A	A		
1 035i	1 920 x 1 035i	33.750	60.000	74.250	A	A	AA		
1 080i	1 920 x 1 080i	28.125	50.000	74.250	A	A	AA		
		33.750	60.000	74.250	A	A	AA		
1 080p	1 920 x 1 080	33.750	30.000	74.250	A	A	AA		
		28.125	25.000	74.250	A	A	AA		
		27.000	24.000	74.250	A	A	AA		
		67.500	60.000	148.50	B	B	AA		
		56.250	50.000	148.50	B	B	AA		
1 080psf/30	1 920 x 1 080	33.750	60.000	74.250	A	A	AA		
1 080psf/25		28.125	50.000	74.250	A	A	AA		
1 080psf/24		27.000	48.000	74.250	A	A	AA		
1 920 x 1 080/60	1 920 x 1 080	67.079	60.020	172.80	B	B	B		
MAC	1 280 x 960	75.000	75.080	126.00	A	A	A		
	1 280 x 1 024	80.000	75.080	135.20	A	A	A		
MAC 13	640 x 480	35.000	66.670	30.240	A	A	A		
MAC 16	832 x 624	49.720	74.550	57.283	A	A	A		
MAC 19	1 024 x 768	60.240	75.080	80.010	A	AA	A		
MAC 21	1 152 x 870	68.680	75.060	100.000	A	A	A		
MAC LC13	640 x 480	34.970	66.600	31.330	A	A	A		
VGA	640 x 480	31.470	59.880	25.149	A	A	A	○	
		37.860	74.380	31.500	A	A	A		
		37.860	72.810	31.500	A	A	A	○	
		37.500	75.000	31.500	A	A	A	○	
	640 x 400	43.269	85.000	36.000	A	A	A		
	720 x 400	31.470	70.090	25.175	A	A	A		
SVGA	800 x 600	35.156	56.250	36.000	A	A	A	○	
		37.880	60.320	40.000	A	A	A	○	
		46.875	75.000	49.500	A	A	A	○	
		53.674	85.060	56.250	A	A	A		
		48.080	72.190	50.000	A	A	A	○	
		37.900	61.030	40.020	A	A	A		
		34.500	55.380	36.432	A	A	A		

付録 (つづき)

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2			プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-EW630 シリーズ PT-EW530 シリーズ	PT-EX600 シリーズ PT-EX500 シリーズ	PT-EZ570 シリーズ		
SVGA	800 x 600	38.000	60.510	40.128	A	A	A		C
		38.600	60.310	38.600	A	A	A		
		32.700	51.090	32.700	A	A	A		
		38.000	60.510	40.128	A	A	A		
XGA	1 024 x 768	48.360	60.000	65.000	A	AA	A	○	
		68.677	84.997	94.504	A	AA	A		
		60.023	75.030	78.750	A	AA	A	○	
		56.476	70.070	75.000	A	AA	A	○	
		60.310	74.920	79.252	A	AA	A		
		48.500	60.020	65.179	A	AA	A		
		44.000	54.580	59.129	A	AA	A		
		63.480	79.350	83.410	A	AA	A		
		62.040	77.070	84.375	A	AA	A		
		61.000	75.700	81.000	A	AA	A		
		46.900	58.200	63.030	A	AA	A		
		47.000	58.300	61.664	A	AA	A		
	58.030	72.000	74.745	A	AA	A			
	1 024 x 768i	36.000	87.170	47.300	A	A	A		
	35.522	86.960	44.900	A	A	A			
SXGA	1 152 x 864	64.200	70.400	94.560	A	A	A		
	1 152 x 900	61.200	65.200	92.000	A	A	A		
		71.400	75.600	105.100	A	A	A		
		61.850	66.000	94.500	A	A	A		
	1 280 x 1 024	62.500	58.600	108.000	A	A	A		
		63.900	60.000	107.350	A	A	A		
		63.340	59.980	108.180	A	A	A		
		63.740	60.010	109.497	A	A	A		
		71.690	67.190	117.004	A	A	A		
		81.130	76.107	135.008	A	A	A		
		63.980	60.020	108.00	A	A	A		
		79.976	75.025	135.00	A	A	A		
		63.370	60.010	111.520	A	A	A		
		76.970	72.000	130.080	A	A	A		
	63.790	60.180	108.190	A	A	A			
	91.146	85.024	157.500	B	B	A			
	1 280 x 960	60.000	60.000	108.000	A	A	A		
	1 280 x 1 024i	50.000	86.000	80.000	A	A	A		
50.000		94.000	80.000	A	A	A			
46.430		86.700	78.745	A	A	A			
WXGA	1 280 x 768	47.776	59.870	79.500	AA	A	A		
		60.289	74.893	102.250	AA	A	A		
		68.633	84.837	117.500	AA	A	A		
		55.993	69.991	94.964	AA	A	A		
		57.675	72.004	97.817	AA	A	A		

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2			プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-EW630 シリーズ PT-EW530 シリーズ	PT-EX600 シリーズ PT-EX500 シリーズ	PT-EZ570 シリーズ		
WXGA	1 280 x 800	49.600	60.050	79.360	AA	A	A		C
		41.200	50.000	68.557	AA	A	A		
		49.702	59.810	83.500	AA	A	A	○ *4	
		63.980	60.020	108.000	AA	A	A		
		58.289	69.975	98.858	AA	A	A		
		60.044	71.995	102.795	AA	A	A		
		62.790	74.928	106.492	AA	A	A		
		71.553	84.879	122.498	AA	A	A		
	1 366 x 768	48.360	60.000	86.670	A	A	A		
	1 360 x 768	47.700	60.000	86.670	A	A	A		
		56.160	72.000	100.190	A	A	A		
	1 376 x 768	48.360	60.000	86.670	A	A	A		
UXGA	1 600 x 1 200	75.000	60.000	162.000	B	B	A		
		81.250	65.000	175.500	B	B	B		
		87.500	70.000	189.000	B	B	B		
		93.750	75.000	202.500	B	B	B		
		106.250	85.000	229.500	B	B	B		
SXGA+	1 400 x 1 050	63.970	60.190	107.990	A	A	A		
		63.350	60.120	122.850	A	A	A		
		65.120	59.900	122.430	A	A	A		
		64.030	60.010	108.160	A	A	A		
		62.500	58.600	108.000	A	A	A		
		64.744	59.948	101.000	A	A	A		
		65.317	59.978	121.750	A	A	A		
WXGA+	1 400 x 900	55.935	59.887	106.500	A	A	A		
	1 400 x 900	74.918	60.000	161.850	B	B	A		
WSXGA+ 1	1 680 x 1 050	65.290	59.954	146.250	B	B	A		
WUXGA	1 920 x 1 200	74.556	59.885	193.250	B	B	B	○ *5	
		74.038	59.950	154.000	A	A	AA		
D-480p	720 x 480	31.470	60.000	27.000	A	A	A	○	
D-480i *6	720 x 480	15.734	60.000	-	A	A	A		
D-576p	720 x 576	31.205	50.000	27.000	A	A	A	○	
D-576i *6	720 x 576	15.625	50.000	-	A	A	A		
D-720p	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250	A	A	A	○	
		37.500	50.000	74.250	A	A	A	○	
D-1 035i	1 920 x 1 035i	33.750	60.000	74.250	A	A	AA		
D-1 080i	1 920 x 1 080i	33.750	60.000	74.250	A	A	AA	○	
		28.125	50.000	74.250	A	A	AA	○	
D-1 080p	1 920 x 1 080	33.750	30.000	74.250	A	A	AA		
		28.125	25.000	74.250	A	A	AA		
		27.000	24.000	74.250	A	A	AA		
		67.500	60.000	148.500	B	B	AA		
		56.250	50.000	148.500	B	B	AA		
D-1 080psf/30	1 920 x 1 080	33.750	60.000	74.250	A	A	AA		
D-1 080psf/25	1 920 x 1 080	28.125	50.000	74.250	A	A	AA		
D-1 080psf/24	1 920 x 1 080	27.000	48.000	74.250	A	A	AA		

付録 (つづき)

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2			プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-EW630 シリーズ PT-EW530 シリーズ	PT-EX600 シリーズ PT-EX500 シリーズ	PT-EZ570 シリーズ		
D-VGA	640 x 480	31.470	59.940	25.175	A	A	A	○	H/D
D-XGA	1 024 x 768	43.363	60.000	65.000	A	AA	A	○	
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.320	40.000	A	A	A	○	
D-SXGA	1 280 x 1 024	63.980	60.020	108.000	A	A	A		
		60.276	58.069	93.067	A	A	A		
D-WXGA	1 280 x 768	47.776	59.870	79.500	AA	A	A		
		60.289	74.893	102.250	AA	A	A		
		68.633	84.837	117.500	AA	A	A		
		49.600	60.050	79.360	AA	A	A		
		41.200	50.000	68.557	AA	A	A		
		49.702	59.810	83.500	AA	A	A		
		63.980	60.020	108.000	AA	A	A		
		55.993	69.991	94.964	AA	A	A		
	1 280 x 800	57.675	72.004	97.817	AA	A	A		
		49.600	60.050	79.360	AA	A	A		
		41.200	50.000	68.557	AA	A	A		
		49.702	59.810	83.500	AA	A	A		
		63.980	60.020	108.000	AA	A	A		
		58.289	69.975	98.858	AA	A	A		
		60.044	71.995	102.795	AA	A	A		
	1 360 x 768	62.790	74.928	106.492	AA	A	A		
		71.553	84.879	122.498	AA	A	A		
	1 360 x 768	47.700	60.000	86.670	A	A	A		
		56.160	72.000	100.190	A	A	A		
	1 366 x 768	48.360	60.000	86.670	A	A	A		
		46.500	50.000	67.400	A	A	A		
	1 376 x 768	48.360	60.000	86.670	A	A	A		
	D-SXGA+	1 400 x 1 050	63.970	60.190	107.990	A	A	A	
			65.350	60.120	122.850	A	A	A	
			65.120	59.900	122.430	A	A	A	
			64.030	60.010	108.160	A	A	A	
			62.500	58.600	108.000	A	A	A	
			64.744	59.948	101.000	A	A	A	
65.317			59.978	121.750	A	A	A		
D-UXGA	1 600 x 1 200	75.000	60.000	162.000	A	A	A		
D-WUXGA	1 920 x 1 200	74.038	59.950	154.000	A	A	AA		
D-WSXGA+	1 680 x 1 050	65.290	59.954	146.250	A	A	A		
D-WXGA+	1 440 x 900	55.935	59.887	106.500	A	A	A		

- *1 : 解像度の末尾にある「i」は、インターレース信号を示します。
- *2 : 画質を表す記号は下記の通りです。
 - AA : 最高画質で投写できます。
 - A : 映像処理回路で変換して投写します。
 - B : 映像処理回路で画素を間引いて投写します。
- *3 : プラグアンドプレイ対応に○がある信号は、プロジェクターの EDID(拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号は、コンピューターが対応していても解像度の選択ができないコンピューターがあります。
- *4 : PT-EW630 シリーズおよび PT-EW530 シリーズのみ。
- *5 : PT-EZ570 シリーズのみ。
- *6 : D-480i および D-576i は、HDMI 入力のみ。

お知らせ

- 表示されるドット数は以下のとおりです。
 - PT-EZ570 シリーズ : 1 920 x 1 200、
 - PT-EW630 シリーズ、PT-EW530 シリーズ : 1 280 x 800
 - PT-EX600 シリーズ、PT-EX500 シリーズ : 1 024 x 768
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

品番		PT-EW530 シリーズ	PT-EW630 シリーズ	PT-EX500 シリーズ	PT-EX600 シリーズ	PT-EZ570 シリーズ
使用電源		AC100 V 50 Hz/60 Hz				
消費電力		490 W				
		[設定]の[スタンバイモード]を[エコ]に設定時: 0.4W				
		[ネットワーク]に設定時: 11W				
液晶パネル	サイズ	0.75 型 (アスペクト比 16:10)		0.8 型 (アスペクト比 4:3)		0.76 型 (アスペクト比 16:10)
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式				
	駆動方式	アクティブマトリクス方式				
	画素数	1 024 000 画素 (1 280 × 800 ドット) × 3 枚		786 432 画素 (1 024 × 768 ドット) × 3 枚		2 304 000 画素 (1 920 × 1 200 ドット) × 3 枚
レンズ *1		電動ズーム: 1.6 ~ 2.8:1 電動フォーカス: F 1.7 ~ 2.3, f 26.9mm ~ 45.4mm				
光源ランプ		330 W UHM ランプ				
光出力 *2		4 500 lm	5 500 lm	5 000 lm	6 000 lm	5 000 lm
対応走査周 波数 *3	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 100 kHz、垂直 50 Hz ~ 100 Hz				
		ドットクロック周波数: 140 MHz 以下				
	YPbPr 信号の場合	[525i(480i)] 水平 15.75 kHz、垂直 60 Hz [525p(480p)] 水平 31.5 kHz、垂直 60 Hz [750(720)/60p] 水平 45 kHz、垂直 60 Hz [1 125(1 080)/60i] 水平 33.75 kHz、垂直 60 Hz [625i(576i)] 水平 15.63 kHz、垂直 50 Hz [625p(576p)] 水平 31.25 kHz、垂直 50 Hz [750(720)/50p] 水平 37.5 kHz、垂直 50 Hz [1 125(1 080)50i] 水平 28.13 kHz、垂直 50 Hz ●HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。				
	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50 Hz/60 Hz				
	HDMI 信号の場合	525p(480p)、625p(576p)、750(720)/60p、750(720)/50p、 1 125(1 080)/60p、1 125(1 080)/50p、1 125(1 080)/60i、1 125(1 080)/50i ●表示可能解像度: VGA ~ WUXGA (ノンインターレース)、VESA CVT-RB 準拠 ●ドットクロック周波数: 162 MHz 以下				
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)				
投写画面サイズ		40 型 ~ 400 型 (アスペクト比: 16:10 時)		40 型 ~ 400 型 (アスペクト比: 4:3 時)		40 型 ~ 400 型 (アスペクト比: 16:10 時)
画面アスペクト比		16:10		4:3		16:10
投写方式		フロント/リア/天つり/床置き (メニュー設定方式)				
スピーカー		3.7 cm 円型 1 個				
音声実用最大出力		10 W				
コントラスト比 *2		2 000 : 1 (全白/全黒)	5 000 : 1 (全白/全黒)	2 000 : 1 (全白/全黒)	5 000 : 1 (全白/全黒)	5 000 : 1 (全白/全黒)

*1: 標準投写レンズ付きプロジェクターのみ。

*2: 計量、計量条件、表記の方法はすべて ISO21118 国際規格に準拠しています。

*3: 本機で対応している映像信号については、「対応信号リスト」を参照してください。(P.107 ~ 111 ページ)

品番		PT-EW530 シリーズ	PT-EW630 シリーズ	PT-EX500 シリーズ	PT-EX600 シリーズ	PT-EZ570 シリーズ
接続端子	INPUT 1 (DVI-D) (HDMI) (RGB)	※メニューによりいずれか一つを選択 DVI-D 24 ピン (シングルリンク), DVI 1.0 互換, HDCP 互換 HDMI 19 ピン (HDCP、Deep color 対応) 高密度 D-sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応				
	INPUT 2 (VIDEO) (YPbPr) (RGB, SYNC/HD, VD)	※メニューによりいずれか一つを選択 BNC 1 本 [VIDEO 信号] 1.0 V [p-p] 75 Ω BNC 3 本 [YPbPr 信号] Y: 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr: 0.7 V [p-p] 75 Ω BNC 5 本 [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応				
	INPUT 3 (VIDEO) (YPbPr/YCbCr) (S-VIDEO)	※メニューによりいずれか一つを選択 RCA 1 本 [VIDEO 信号] 1.0 V [p-p] 75 Ω RCA 3 本 [YPbPr 信号] Y: 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr: 0.7 V [p-p] 75 Ω Mini DIN 4 p [S-VIDEO 信号] Y: 1.0 V [p-p]、C: 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応				
	(MONITOR OUT)	1 系統 高密度 D-sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω)				
	(AUDIO IN)	2 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω 以上 1 系統 RCA ピンジャック × 2 (L-R) 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω 以上				
	(VARIABLE AUDIO OUT)	1 系統 M3 ステレオミニジャック (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)、出力インピーダンス 2.2 k Ω 以下				
	(SERIAL IN)	1 系統 D-sub 9 p (メス) RS-232C 準拠 外部制御用				
	(LAN)	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用、PjLink 対応				
電源コードの長さ		3.0 m				
外装ケース		樹脂成型品				
外形寸法		横幅: 489.5 mm 高さ: 164 mm (アジャスター脚最小時) 奥行: 370.1 mm*3 (突起部含まず) 433.8 mm*4 (突起部含まず)				
質量		約 9.5 kg *5 約 10.2 kg *6	約 9.6 kg *5 約 10.3 kg *6	約 9.5 kg *5 約 10.2 kg *6	約 9.6 kg *5 約 10.3 kg *6	
使用環境条件		使用環境温度: 0 °C ~ 40 °C *7 使用環境湿度: 20 % ~ 80 % (結露のないこと)				
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 4 乾電池 2 個)				
	操作距離	約 5 m (受光部正面)				
	質量	102 g (乾電池含む)				
	外形寸法	横幅: 48 mm 高さ: 145 mm, 奥行: 27 mm				

*3: 投写レンズなしプロジェクターの奥行です。

*4: 標準投写レンズ付きプロジェクターの奥行です。

*5: これは平均値です。製品ごとの質量は異なることがあります。投写レンズなしプロジェクターの質量です。

*6: これは平均値です。製品ごとの質量は異なることがあります。標準投写レンズ付きプロジェクターの質量です。

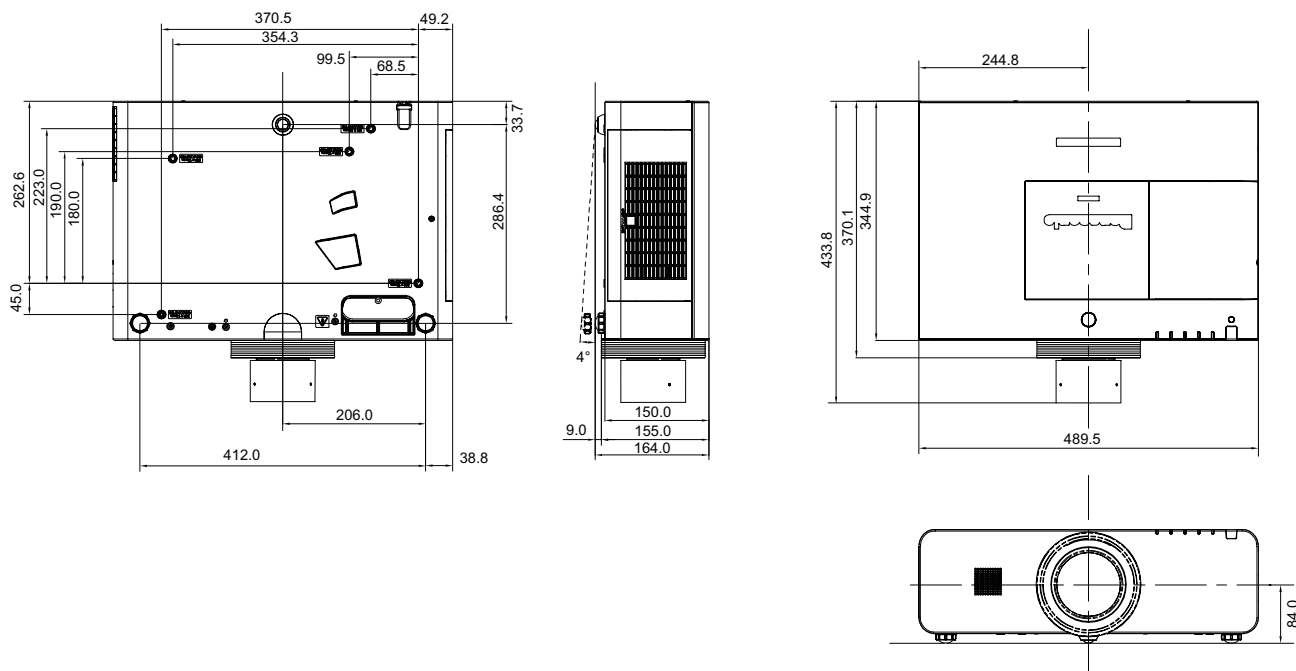
*7: 高地 (1 000 m ~ 2 700 m) で使用する場合、使用環境温度は 0 °C ~ 30 °C になります。

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

仕様 (つづき)

外形寸法図

(単位 : mm)

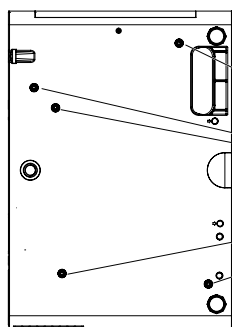


- 各製品で寸法は異なる場合があります。
- 標準投写レンズを装着したときの寸法図です。
- レンズの位置の寸法は、レンズシフト中央位置のときの寸法です。

天つり金具取り付け時の注意事項

- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーを使用してください。電動ドライバー、インパクトドライバーは使用しないでください。
- 詳しくは天つり金具の施工説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。

本体底面

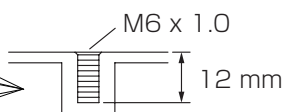


天つり金具品番：

ET-PKE200H (高天井用)

ET-PKE200S (低天井用)

ET-PKE200B (取付け用ベース金具)



ねじの締めつけトルク : $4 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
 などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、
 当社（下記、プロジェクターサポートセン
 ター）までご連絡ください。
 * 内容により、お近くの窓口をご紹介させ
 ていただく場合がございますのでご了承
 ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの
 うえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
 内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
 万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記
 載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 ヶ月またはランプ使用時間
 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間 8 年

当社では、プロジェクターの補修用性能部品の、製造
 打ち切り後、8 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するた
 めに必要な部品です。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの
 販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。
 詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、
 ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	液晶プロジェクター	
品番	PT-EZ570	PT-EZ570L
	PT-EW630	PT-EW630L
	PT-EW530	PT-EW530L
	PT-EX600	PT-EX600L
	PT-EX500	PT-EX500L
製造番号		
お買い上げ日		
故障の状況		

パナソニック プロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
 なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872-601**

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
 9:00～12:00 13:00～17:00

URL : <http://panasonic.biz/projector/>

※お問い合わせ内容によりましては、回答までにお時間をいただく場合もございます。
 ※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、
 その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、
 ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託す
 る場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡く
 ださい。

さくいん

アルファベット

C

CD-ROM..... 15

D

DVI 信号レベル 63

E

ECO..... 41

ECO マネージメント 64

F

FREEZE 41

H

HDMI 設定..... 63

L

LAN 経由の制御コマンドについて ... 99

O

ON(G)/STANDBY(R) インジケータ
34

P

PJLink プロトコルを使用する 98

S

SHUTTER/AV MUTE 39

W

WEB ブラウザからのアクセス方法... 73

かな

あ

アイリス 53

明るさ..... 53

アジャスター脚の調整..... 31

暗証番号 36

安全上のご注意..... 6

い

色合い..... 53

色温度..... 54

色の濃さ 53

インジケータが点灯したら 87

インフォメーション..... 69

インプットボタン 60

え

映像遅延制御 67

映像の映り具合を調整する..... 38

お

お手入れ 91

オフセット..... 54

オンスクリーンメニューについて..... 44

オンスクリーン表示 61

音量..... 59

か

各部の名称とはたらき 16

画質 55

画質調整 53

画質モード 52

カスタム 56

カスタム調整 57

ガンマ補正 55

く

クローズドキャプション 67

け

言語 60

こ

故障かな!?..... 96

ご使用になる前に 10

コントラスト 53

コンピューターシステムの選択 47

さ

サウンド..... 59

サブメニュー 45

し

自動 PC 調整 49

シネマ 52

シャッター 66

手動 PC 調整 50

仕様 112

消音 59

初期設定 68

シリアル端子 101

シンプルモード 64

す

ズーム 56

スクリーン 56

スクリーンアспект 58

スタンバイモード..... 65

せ

セキュリティ 12, 66

接続 32

接続する 32

接続端子部 20

設置する 22

設置に関する留意点..... 10

設定 60

設定方法 21

そ

その他の端子 104

た

対応信号リスト..... 107

台形補正 42, 57

ダイナミック 52

ダイレクトオン 65

ダイレクトパワーオフ機能..... 37

て

デイトレビュー 54

デジタルズーム 57

テストパターン 68

電源コードの接続 33

電源コードを接続する 23

電源を入れる 35

電源を切る 37

電池を入れる、取り出す 21

天つり 58

と

投写関係 24

投写距離 24, 26, 29, 28, 29, 30

投写する 38

投写する映像を選択する 38

投写方式 22

な

内蔵 SP 59

ナチュラル 52

に

入力信号を切り換える 39

「入力」について 47

ね

ネットワーク 70

ネットワーク接続..... 72

の

ノーマル..... 56

ノイズリダクション 55

は

廃棄について 12

バックグラウンド 61

パワーマネージメント..... 65

ひ

ピクチャーインピクチャー 62

ピクチャーインピクチャーのリスト... 106

ピットリワイド 56

ビデオシステムの選択 47

標準 52

ふ

ファン制御 63

フィルターカウンター 68

付属品の確認 14

部品交換 93

フル 56

プレゼンテーションタイマー 65

プログレッシブ 55

へ

別売品 15

ほ

保証とアフターサービス..... 115

本機の運搬について 10

本機の設置について 10

本機の取り扱いについて 12

本体 18

本体操作部 19

め

メインメニュー 45

メニュー / メニュー位置 60

も

モニター 19

ら

ランプパワー..... 63

ランプユニット 94

ランプユニットの交換 95

り

リアル 52, 56

リア投映 58

リモコン 16, 64

リモコンコード 21

リモコン受光部 64

リモコンで操作する 39

ろ

ロゴ 61

わ

ワイド (16:9)..... 56

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお
問い合わせください。



■ 中国域内での環境に関する情報



このシンボルマークは中国国内のみ有効です。

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 電話 ☎ 0120-872-601